

豊橋市  
男女共同参画に関する市民意識調査  
調査結果報告書

平成 29 年 3 月

豊 橋 市



# 目次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
7	標本誤差.....	2
<b>II</b>	<b>調査結果</b> .....	<b>4</b>
1	調査回答者の属性.....	4
1-1	性別.....	4
1-2	年齢.....	4
1-3	職業.....	5
1-4	配偶者の有無.....	6
1-5	共働きの有無.....	6
1-6	家族構成.....	7
2	男女の平等感について.....	8
2-1	各場面及び分野の男女の地位評価.....	8
2-2	社会全体の男女の地位評価.....	20
3	男女の意思決定について.....	23
3-1	各場面の意見の反映度.....	23
3-2	政策や方針決定の場への女性の参画状況が男性よりも低い理由.....	30
4	家庭・仕事・地域活動のバランスについて.....	33
4-1	参加している地域活動.....	33
4-2	平日・休日の活動時間.....	36
4-3	望ましい家庭・仕事・地域活動の関係.....	39
4-4	現状における家庭・仕事・地域活動の関係.....	42

5	男女の働き方について	46
5-1	性別役割分担意識	46
5-2	性別役割分担意識の理由	50
5-3	男性が育児や介護で休みをとることについての考え方	52
5-4	男性が育児・介護で休みをとったほうがよい理由	56
5-5	男性が育児・介護で休みをとらないほうがよい理由	58
5-6	女性の就労についての考え方	61
5-7	女性の就労継続に必要な事項	64
5-8	女性の再就職における基準	68
5-9	女性が結婚や出産を機に仕事をやめる理由	70
6	生涯を通じた生活について	75
6-1	生涯安心して暮らすための必要事項	75
6-2	困難を抱える方が安心して生活するための必要事項	77
7	子どもへの男女共同参画教育について	79
7-1	子育てについての考え方	79
7-2	男女平等のための学校教育のあり方	83
8	配偶者等からの暴力について	87
8-1	配偶者または恋人から暴力を受けた経験	87
8-2	暴力行為についての相談相手	92
8-3	相談をしなかった理由	97
8-4	男女間の暴力を防止するために必要なこと	100
8-5	豊橋市DV相談窓口の認知度	104
9	豊橋市男女共同参画センター「パルモ」について	106
9-1	男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無	106
9-2	充実してほしい内容	108
9-3	参加してみたいと思う講座のテーマ	110
10	男女共同参画社会について	113
10-1	用語の周知	113
10-2	男女共同参画社会実現のために行政に望むこと	123

### Ⅲ 自由意見..... 127

●	調査票	151
---	-----	-----

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

社会情勢の変化に対応した効果的な施策を展開するため、市民の男女共同参画に関する意識やニーズを把握する目的で実施した。

## 2 調査対象

豊橋市内に住む 20 歳以上の男女各 1,500 人を年代別・地域別で無作為抽出

## 3 調査期間

平成 28 年 8 月 1 日から平成 28 年 8 月 31 日

## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回答率
3,000 通	1,002 通	33.4%	989 通	33.0%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・他の項目と比較して、差異がみられる場合、グラフにおいては破線で示しており、表においては、下線で表示しています。

## 7 標本誤差

標本誤差については、下記算出式より算出する。

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

$\sigma$  : 標本誤差  
 $N$  : 母集団  
 $n$  : 標本数  
 $p$  : 回答比率  
 $\kappa$  : 信頼率による変数

標本数は、平成 28 年 10 月 1 日現在の市内在住満 20 歳以上の男女（全体）305,582 人、男性 152,559 人、女性 153,023 人で算出する。

信頼率による変数  $\kappa$  は、信頼率 95% では 1.96、信頼率 99% では 2.58 と定義されており、今回の市民意識調査における信頼率を 95% とすると、各回答比率別の標本誤差は以下のとおりとなる。

標本数	回答比率 (%)				
	10% or 90%	20% or 80%	30% or 70%	40% or 60%	50%
全体 989	±1.87%	±2.49%	±2.85%	±3.05%	±3.11%
女性 555	±2.87%	±3.83%	±4.39%	±4.69%	±4.79%
男性 418	±2.49%	±3.32%	±3.81%	±4.07%	±4.15%

これは、ある質問において「A」という回答の割合が 50% であれば、20 歳以上の豊橋市民に同じ質問をしても、統計学的には「A」という回答の割合は、95% の確率で ±3.11% の範囲内 (3.11% ~ -3.11%) にあることを示す。

<各比較調査の詳細>

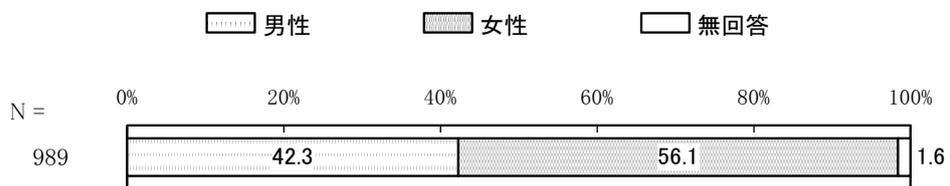
調査主体	調査名	調査時期
国（内閣府）	男女共同参画社会に関する世論調査	平成 28 年 9 月
国（内閣府）	女性の活躍推進に関する世論調査	平成 26 年 8 月
愛知県	男女共同参画意識に関する調査	平成 26 年 11 月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成 26 年 9 月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成 23 年 6 月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成 20 年 5 月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成 17 年 5 月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成 13 年 8 月

No.	調査項目	国	県	市
問 1	各場面および分野の男女の地位評価	○	○	○
問 2	社会全体の男女の地位評価	○	○	○
問 3	各場面における男女の意見の反映のされ方			○
問 4	政策などの場への女性の参画状況が低い理由			○
問 5	参加している地域活動			○
問 6	各場面にどのくらいの時間をあてているか			○
問 7	望ましい家庭生活・仕事・地域活動の関係	○	○	○
問 8	現状における家庭生活・仕事・地域活動の関係	○	○	○
問 9	性別役割分担意識	○	○	○
問 10	男性が育児や介護で休みをとることについての考え方			○
問 10-2	男性が育児や介護で休みをとらない理由			○
問 11	女性が仕事をすることについて			○
問 12	女性が働き続けるために、必要と思うこと	○		
問 13	離職した女性が、再就職を考えたときに基準にすること	○		
問 14	女性が結婚や出産を機に仕事をやめる理由			○
問 17	子育てについての考え方			○
問 18	男女平等のための学校教育のあり方			○
問 19	夫または妻や恋人から暴力を受けた経験			○
問 19-1	暴力行為についての相談相手			○
問 19-2	相談をしなかった理由			○
問 20	男女間における暴力を防止するために必要なこと			○
問 21	DV 相談窓口の認知度			○
問 22	男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無			○
問 22-1	充実してほしい内容			○
問 23	参加してみたいと思う講座			○
問 24	用語の周知			○
問 25	男女共同参画社会実現のために行政に望むこと			○

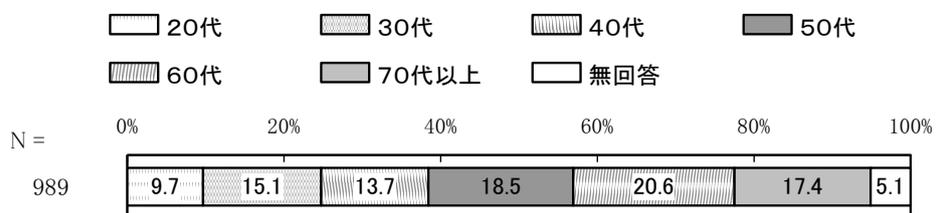
## II 調査結果

### 1 調査回答者の属性

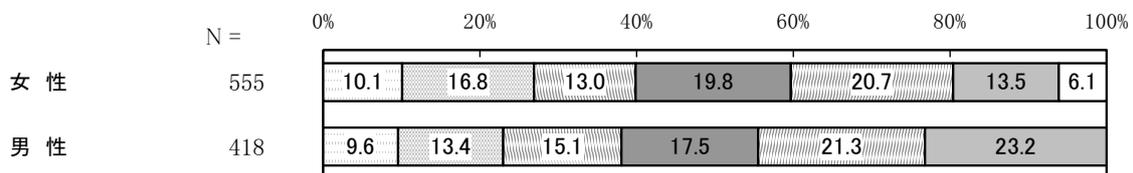
#### 1-1 性別



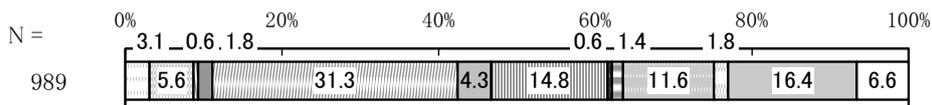
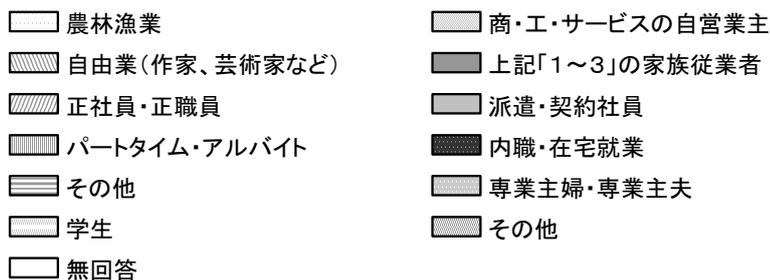
#### 1-2 年齢



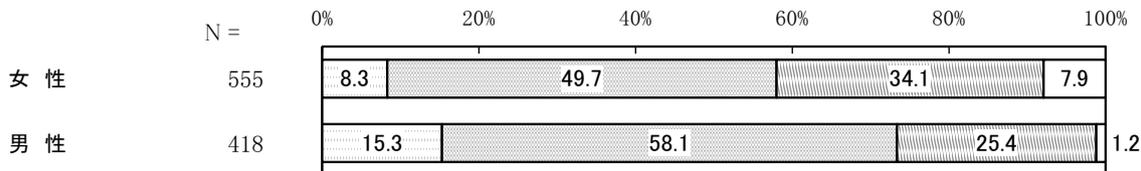
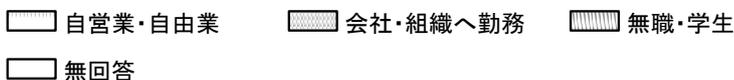
#### 【性別】



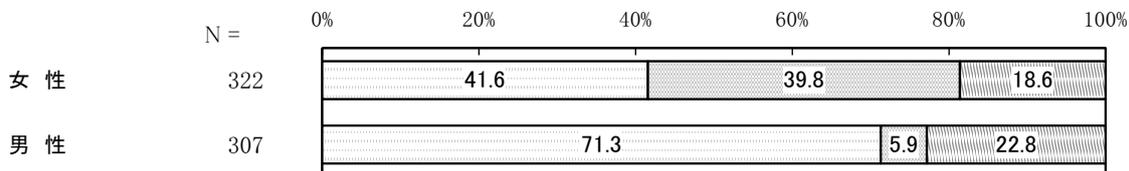
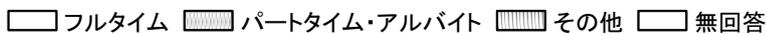
### 1-3 職業



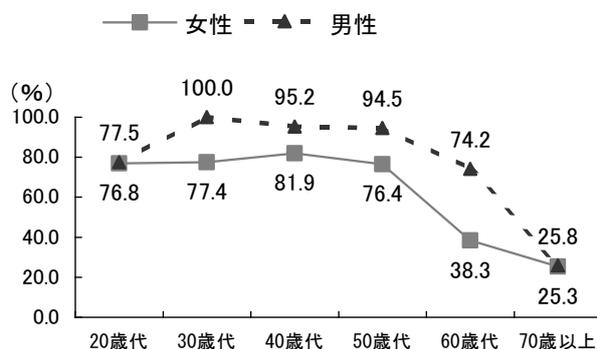
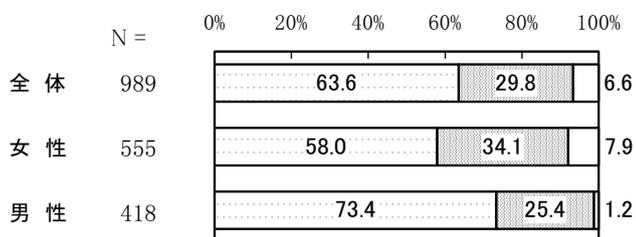
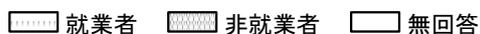
#### 【性別】



#### 【就労形態】

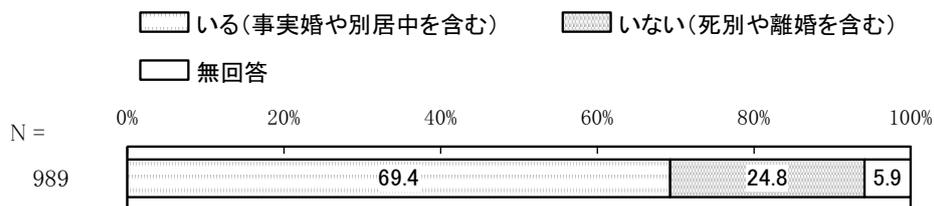


#### 【就労の有無】

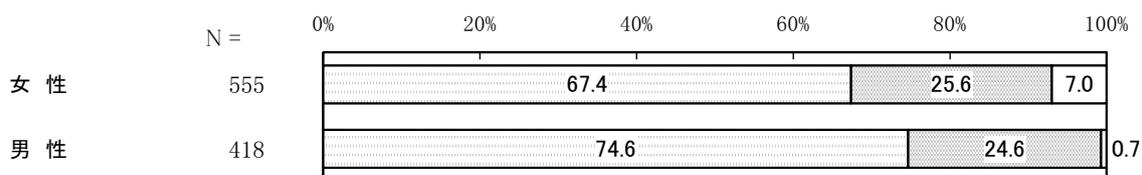


就労の有無について性別で見ると、女性に比べ、男性で「就業者」の割合が高くなっている。性別・年代別で見ると、いずれの年代でも女性に比べ、男性で「就業者」の割合が高く、特に60歳代では約36ポイントの差がみられる。

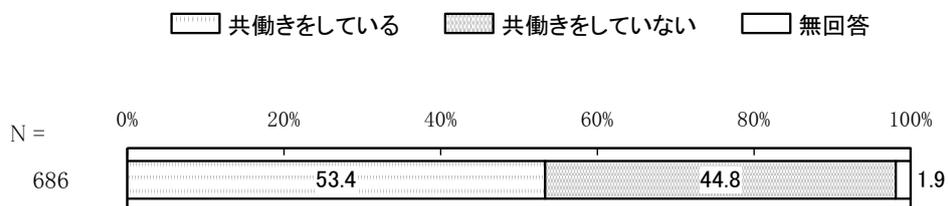
## 1-4 配偶者の有無



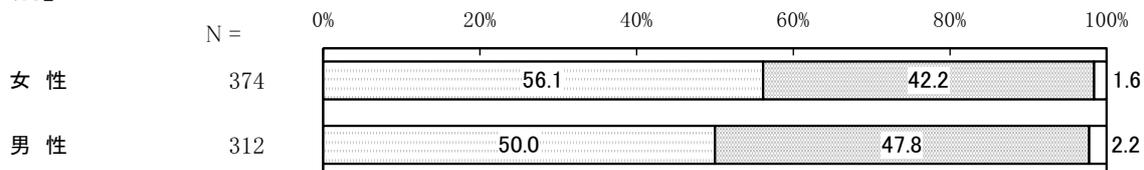
### 【性別】



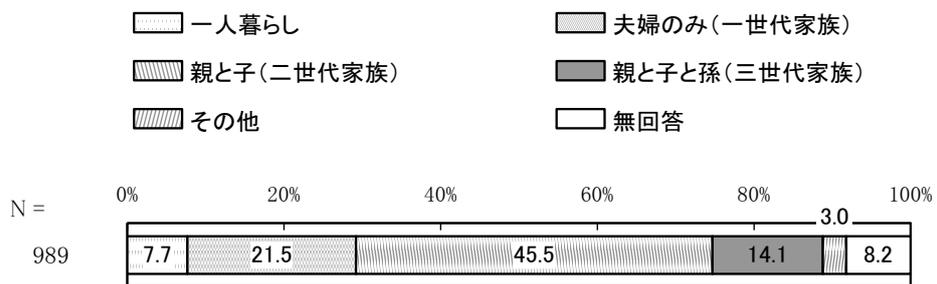
## 1-5 共働きの有無



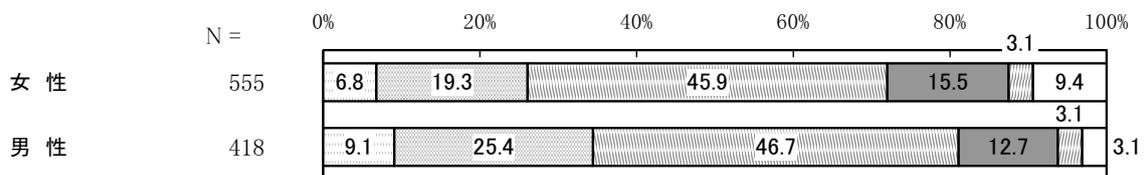
### 【性別】



## 1-6 家族構成



### 【性別】

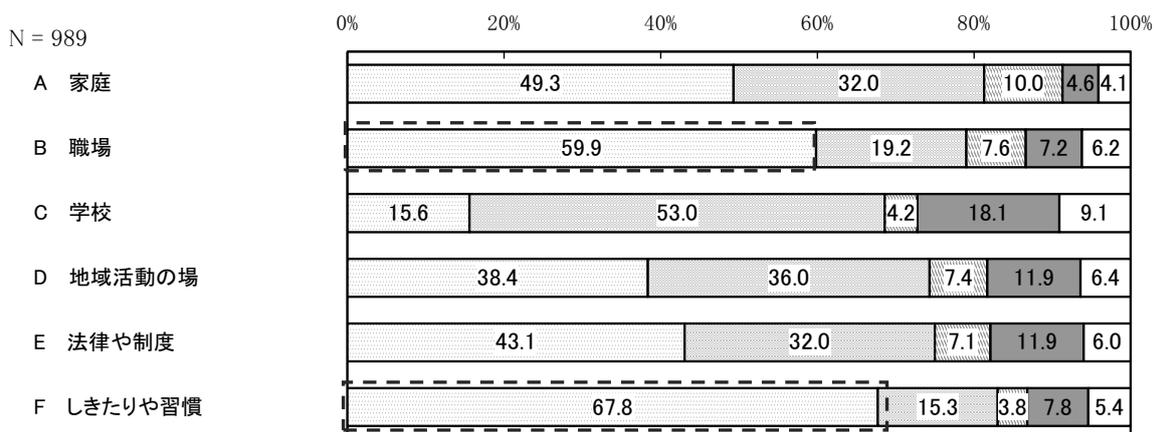
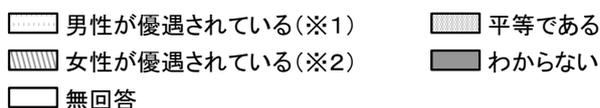
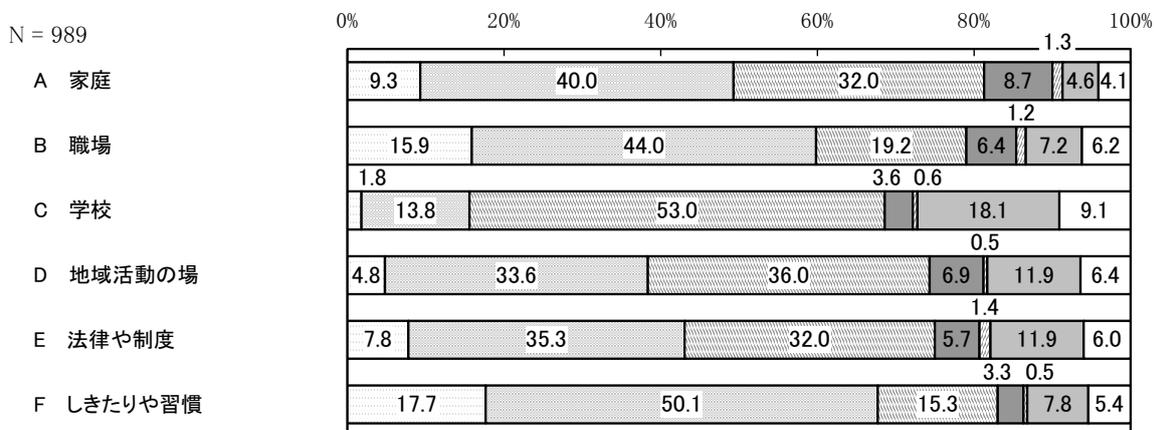
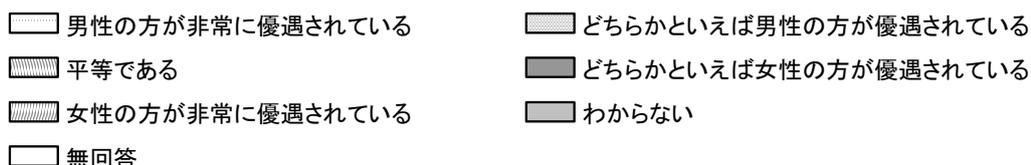


## 2 男女の平等感について

### 2-1 各場面及び分野の男女の地位評価

問1. 次の各場面および分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。A～Fの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

『B 職場』、『F しきたりや習慣』において、“男性が優遇されている（※1）”の割合が高くなっている。また、『C 学校』において「平等である」の割合が高く、約5割となっている。

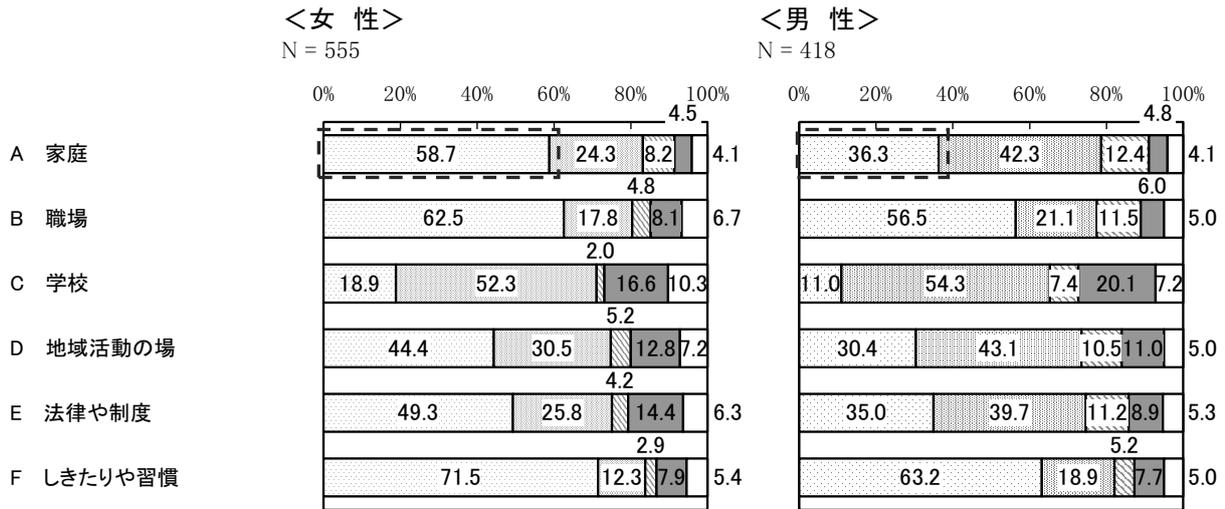
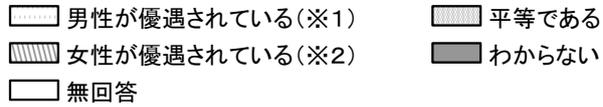


※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

性別でみると、いずれの項目においても、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が高く、特に『A 家庭』では約22ポイント高くなっている。

【性別】



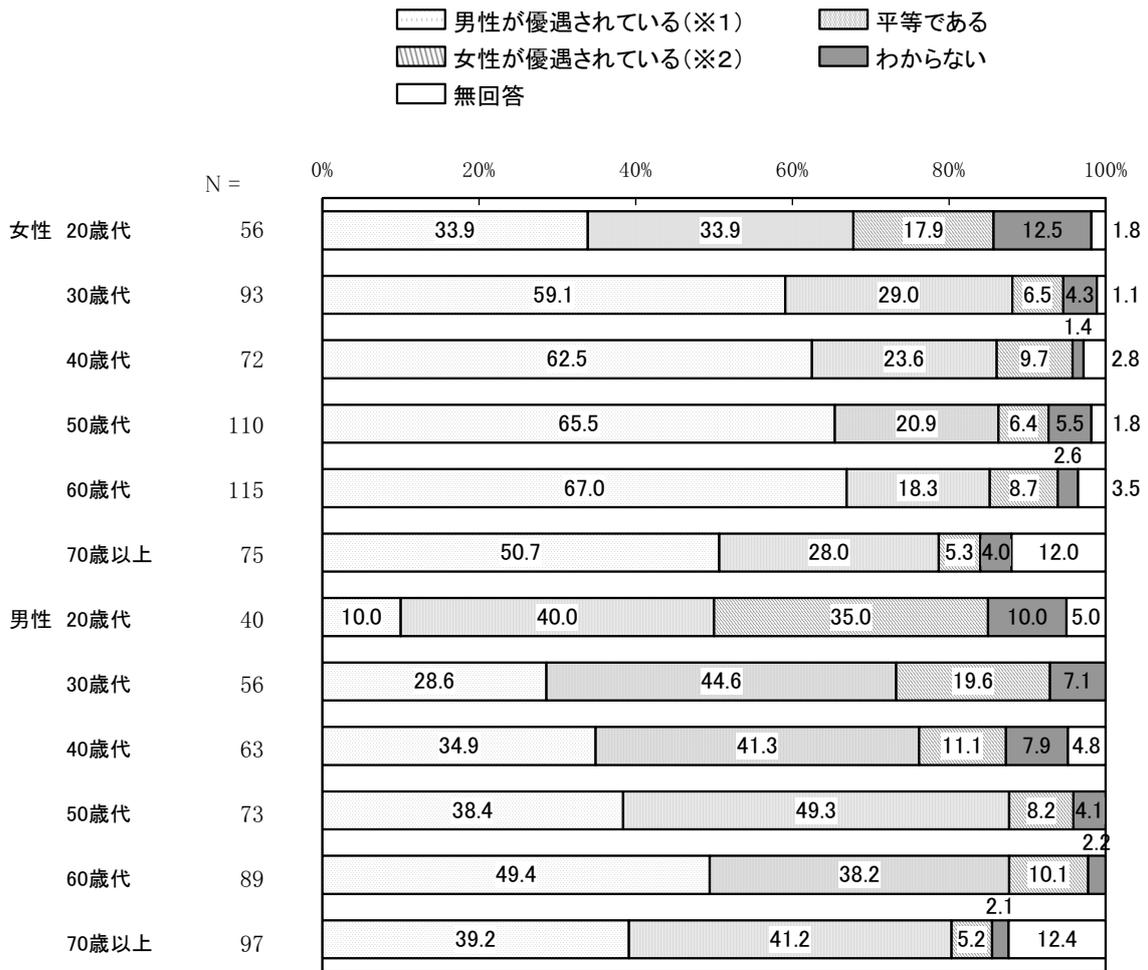
※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

性・年代別でみると、“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が高いのは、『B 職場』における女性30歳代、『F しきたりや習慣』の女性30歳代、50歳代となっている。一方、“女性の方が優遇されている（※2）”と評価する人は、いずれの場面・分野においても男性20歳代・30歳代のどちらかが最も高くなっている。

A 家庭

【性・年代別】

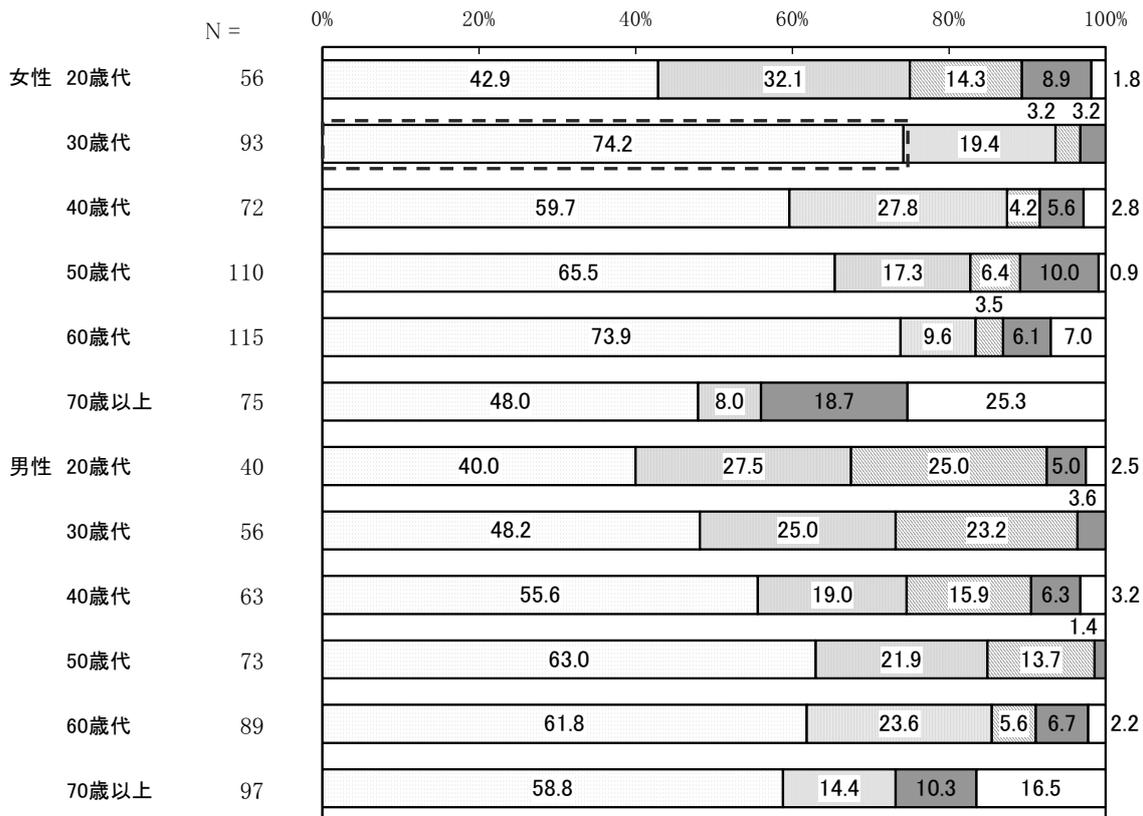
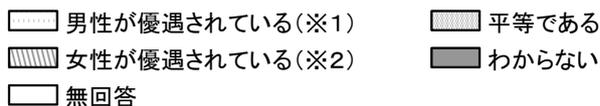


※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

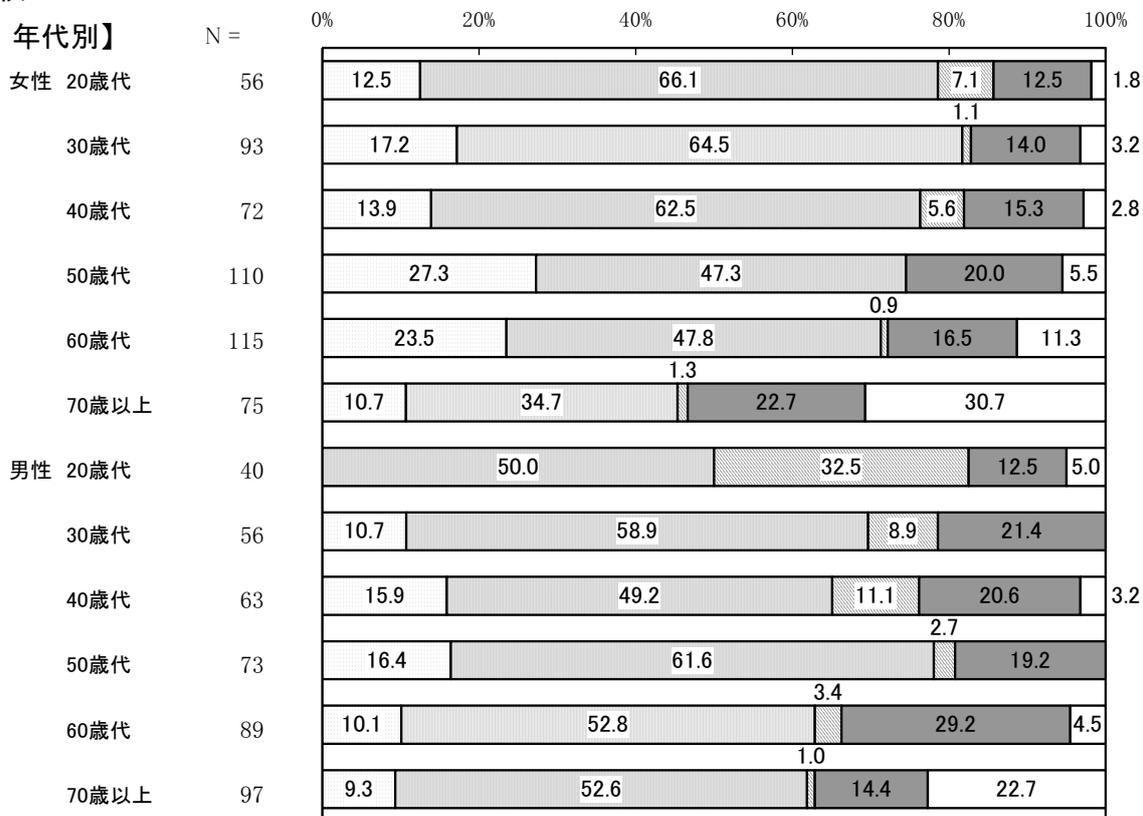
B 職場

【性・年代別】



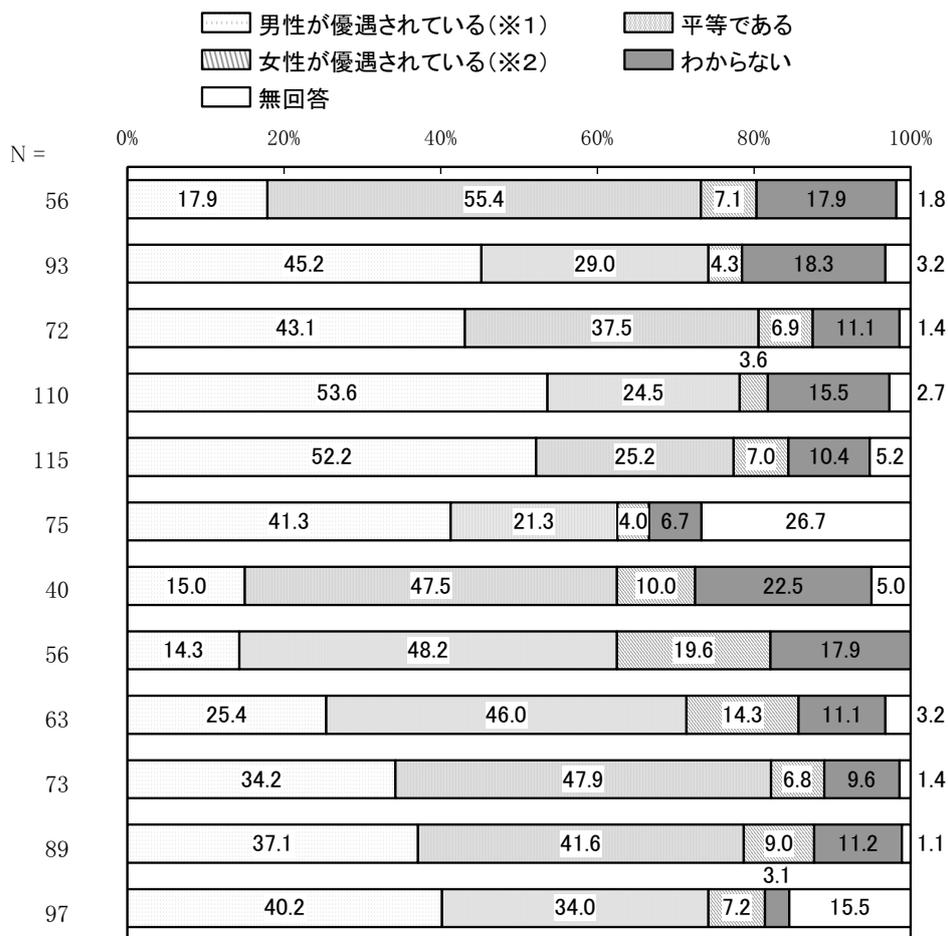
C 学校

【性・年代別】

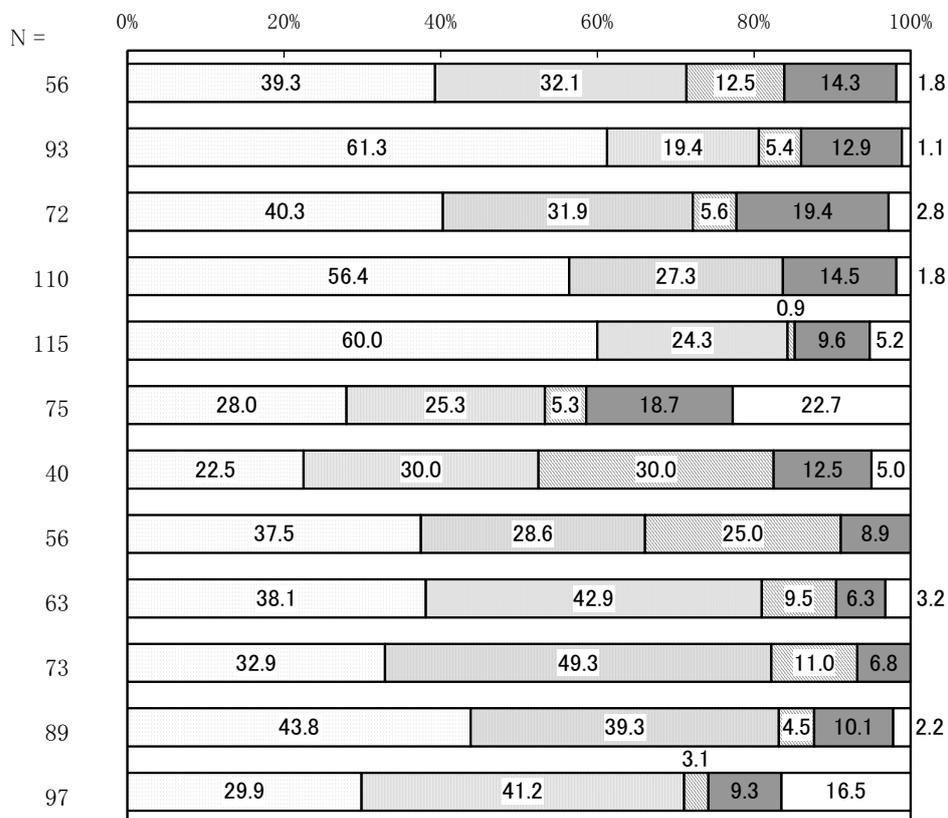


※1 : 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 ※2 : 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

D 地域活動の場  
【性・年代別】

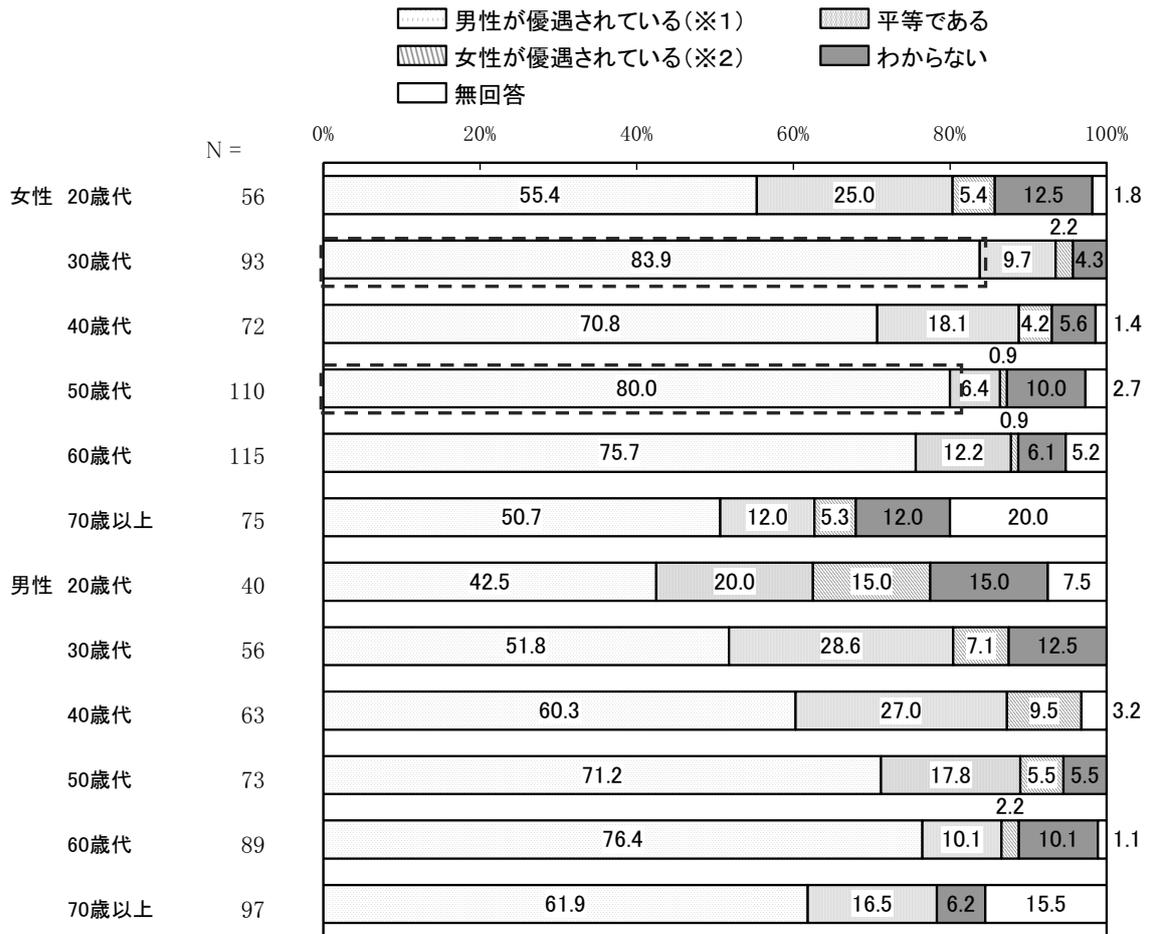


E 法律や制度  
【性・年代別】



※1 : 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 ※2 : 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

F しきたりや習慣  
【性・年代別】



※1 : 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 ※2 : 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

国・愛知県との比較でみると、「平等である」の割合は、各項目で愛知県と同程度の数値となっているが、国より低い数値となっている。

豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成26年と比べて『A 家庭』『B 職場』『F しきたりや習慣』で“男性の方が優遇されている”の割合が減少している。

【国・愛知県との比較・経年比較】

A 家庭

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている(A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている(B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている(C)	女性の方が非常に優遇されている(D)	わからない(H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている(A+B)	女性の方が優遇されている(C+D)
国 (H28.9)	7.8	35.7	47.4	5.9	0.8	2.4	—	43.5	6.7
女性	9.6	40.7	41.9	5.0	0.4	2.5	—	50.3	5.4
男性	5.6	29.8	53.8	7.1	1.4	2.3	—	35.4	8.5
愛知県 (H26.11)	12.6	36.0	29.4	8.9	3.6	7.6	1.9	48.6	12.5
女性	17.0	41.3	22.8	7.2	2.0	8.2	1.5	58.3	9.2
男性	8.2	30.4	36.2	11.1	5.4	7.4	1.4	38.6	16.5
豊橋市 (H28.8)	9.3	40.0	32.0	8.7	1.3	4.6	4.1	49.3	10.0
女性	12.8	45.9	24.3	6.8	1.4	4.5	4.1	58.7	8.2
男性	5.0	31.3	42.3	11.2	1.2	4.8	4.1	36.3	12.4
豊橋市 (H26.9)	9.4	41.0	31.3	7.3	1.5	5.9	3.5	50.4	8.8
女性	13.6	44.4	23.4	6.5	1.2	6.8	4.1	58.0	7.7
男性	4.5	36.7	40.6	8.3	1.9	5.0	2.9	41.2	10.2
豊橋市 (H23.6)	9.7	41.4	30.4	9.3	1.5	5.1	2.5	51.1	10.8
女性	13.1	47.3	23.2	8.6	1.2	4.3	2.3	60.4	9.8
男性	5.2	34.1	39.3	10.6	1.9	6.3	2.6	39.3	12.5
豊橋市 (H20.5)	14.5	42.8	27.9	7.8	0.9	4.6	1.6	57.2	8.7
女性	18.6	47.3	21.7	5.5	0.6	5.0	1.4	65.8	6.1
男性	9.7	36.9	36.1	10.9	1.2	4.0	1.2	46.6	12.1
豊橋市 (H17.5)	14.2	47.0	23.3	6.2	0.5	4.4	4.4	61.2	6.7
女性	20.0	48.4	18.1	4.9	0.5	4.2	3.9	68.4	5.4
男性	5.6	45.1	31.3	7.9	0.5	4.7	4.9	50.7	8.4
豊橋市 (H13.8)	22.2	38.4	21.6	5.5	1.8	7.7	2.7	60.6	7.3
女性	28.4	37.3	17.0	4.5	1.4	8.5	3.0	65.7	5.9
男性	15.2	40.6	28.2	5.7	2.3	6.2	1.8	55.8	8.0

B 職場

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている(A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている(B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている(C)	女性の方が非常に優遇されている(D)	わからない(H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている(A+B)	女性の方が優遇されている(C+D)
国 (H28.9)	15.1	41.5	29.7	4.1	0.6	9.0	—	56.6	4.7
女性	16.7	41.0	28.2	3.0	0.4	10.8	—	57.7	3.4
男性	13.3	42.0	31.6	5.3	0.9	6.8	—	55.3	6.2
愛知県 (H26.11)	25.6	41.6	15.0	5.2	1.9	7.6	3.0	67.2	7.1
女性	31.6	40.1	13.1	2.6	0.8	9.1	2.7	71.7	3.4
男性	18.5	43.3	18.0	8.5	3.1	6.3	2.3	61.8	11.6
豊橋市 (H28.8)	15.9	44.0	19.2	6.4	1.2	7.2	6.2	59.9	7.6
女性	18.9	43.6	17.8	4.1	0.7	8.1	6.7	62.5	4.8
男性	12.0	44.5	21.1	9.6	1.9	6.0	5.0	56.5	11.5
豊橋市 (H26.9)	16.0	44.5	17.4	5.8	1.6	8.8	5.9	60.5	7.4
女性	20.2	43.3	13.8	3.8	0.7	11.9	6.3	63.5	4.5
男性	11.1	45.8	21.7	8.0	2.7	5.2	5.4	56.9	10.7
豊橋市 (H23.6)	14.6	50.1	17.7	6.5	0.4	7.2	3.5	64.7	6.9
女性	18.7	51.6	13.8	4.5	0.0	8.1	3.3	70.3	4.5
男性	9.1	48.6	22.9	9.1	0.9	6.3	3.2	57.7	10.0
豊橋市 (H20.5)	16.5	52.7	14.7	5.3	0.5	6.9	3.4	69.2	5.8
女性	19.5	52.0	12.0	3.4	0.5	9.4	3.3	71.5	3.9
男性	13.1	53.4	18.5	7.3	0.6	4.2	3.0	66.5	7.9
豊橋市 (H17.5)	15.9	50.3	13.5	5.1	0.6	7.0	7.7	66.2	5.7
女性	19.4	51.6	9.8	3.3	0.0	9.0	7.0	71.0	3.3
男性	11.2	48.6	19.2	7.7	1.2	4.2	7.9	59.8	8.9
豊橋市 (H13.8)	26.6	43.3	12.2	3.5	1.4	6.2	6.8	69.9	4.9
女性	32.3	43.0	9.1	2.2	1.4	6.3	5.7	75.3	3.6
男性	19.1	44.4	16.8	4.9	1.6	5.7	7.5	63.5	6.5

C 学校

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている(A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている(B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている(C)	女性の方が非常に優遇されている(D)	わからない(H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている(A+B)	女性の方が優遇されている(C+D)
国(H28.9)	2.5	13.5	66.4	2.9	0.3	14.4	—	16.0	3.2
女性	3.1	15.6	63.3	2.7	0.2	15.0	—	18.7	2.9
男性	1.6	11.0	70.1	3.1	0.4	13.7	—	12.6	3.5
愛知県(H26.11)	2.4	13.2	57.7	3.9	1.2	18.5	3.0	15.6	5.1
女性	2.6	15.0	58.2	2.9	0.4	18.8	2.2	17.6	3.3
男性	2.2	10.6	58.4	5.2	2.0	19.0	2.6	12.8	7.2
豊橋市(H28.8)	1.8	13.8	53.0	3.6	0.6	18.1	9.1	15.6	4.2
女性	2.0	16.9	52.3	1.8	0.2	16.6	10.3	18.9	2.0
男性	1.7	9.3	54.3	6.2	1.2	20.1	7.2	11.0	7.4
豊橋市(H26.9)	1.6	13.0	52.6	2.8	1.0	19.8	9.2	14.6	3.8
女性	2.3	16.7	48.6	1.8	0.0	21.2	9.3	19.0	1.8
男性	0.8	8.5	57.7	4.1	2.1	18.1	8.7	9.3	6.2
豊橋市(H23.6)	2.4	11.6	58.4	5.4	0.2	16.7	5.5	14.0	5.6
女性	2.8	14.1	57.4	4.0	0.0	16.6	5.1	16.9	4.0
男性	1.9	7.8	59.8	7.3	0.4	17.3	5.4	9.7	7.7
豊橋市(H20.5)	2.2	13.6	59.1	4.6	0.6	16.0	3.9	15.8	5.2
女性	3.1	17.2	55.5	3.4	0.3	16.8	3.6	20.3	3.7
男性	1.2	9.3	64.3	6.0	1.0	14.7	3.6	10.5	6.9
豊橋市(H17.5)	2.1	12.2	56.0	3.2	0.7	17.7	8.1	14.3	3.9
女性	2.4	14.8	52.9	2.1	0.3	20.2	7.2	17.3	2.4
男性	1.4	8.4	61.9	4.4	1.2	13.8	8.9	9.8	5.6
豊橋市(H13.8)	3.7	15.9	54.8	3.2	1.5	13.2	7.7	19.6	4.7
女性	5.7	19.9	49.1	2.4	0.8	15.8	6.3	25.6	3.2
男性	1.3	10.9	62.3	4.7	1.8	10.6	8.5	12.2	6.5

D 地域活動の場

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない (H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている (A+B)	女性の方が優遇されている (C+D)
国 (H28.9)	6.8	26.7	47.2	10.5	1.3	7.5	—	33.5	11.8
女性	7.4	29.3	44.8	9.8	1.3	7.4	—	36.7	11.1
男性	6.1	23.7	50.0	11.3	1.4	7.5	—	29.8	12.7
愛知県 (H26.11)	6.5	27.7	39.0	8.2	1.5	14.7	2.4	34.2	9.7
女性	8.0	33.9	32.8	6.9	1.0	15.5	1.8	41.9	7.9
男性	4.6	21.0	46.8	9.6	2.0	14.5	1.5	25.6	11.6
豊橋市 (H28.8)	4.8	33.6	36.0	6.9	0.5	11.9	6.4	38.4	7.4
女性	6.7	37.7	30.5	4.7	0.5	12.8	7.2	44.4	5.2
男性	2.4	28.0	43.1	10.0	0.5	11.0	5.0	30.4	10.5
豊橋市 (H26.9)	5.2	30.1	34.0	7.7	0.9	16.2	5.9	35.3	8.6
女性	6.6	33.3	27.9	5.8	0.2	20.4	5.8	39.9	6.0
男性	3.5	26.4	41.0	10.1	1.7	11.7	5.6	29.9	11.8
豊橋市 (H23.6)	7.0	35.1	33.4	5.9	0.1	14.5	4.0	42.1	6.0
女性	8.5	39.5	25.9	5.0	0.2	17.1	4.0	48.0	5.2
男性	5.2	28.5	44.1	7.1	0.0	11.7	3.5	33.7	7.1
豊橋市 (H20.5)	5.5	28.2	39.3	9.0	0.9	13.1	3.9	33.8	9.9
女性	7.2	34.9	33.7	5.9	0.6	14.4	3.3	42.1	6.6
男性	3.6	20.6	46.2	12.7	1.0	11.9	4.0	24.2	13.7
豊橋市 (H17.5)	5.4	30.3	37.3	7.3	0.2	12.3	7.2	35.7	7.5
女性	6.4	33.9	32.6	6.4	0.0	14.0	6.8	40.2	6.4
男性	4.0	24.8	45.3	8.9	0.5	9.6	7.0	28.7	9.3
豊橋市 (H13.8)	10.5	33.9	30.1	7.3	1.2	12.1	5.0	44.4	8.5
女性	13.2	36.9	24.3	4.3	1.0	15.2	5.1	50.1	5.3
男性	7.5	30.5	37.2	10.9	1.3	8.5	4.1	38.0	12.2

E 法律や制度

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない (H13 調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている (A+B)	女性の方が優遇されている (C+D)
国 (H28.9)	10.6	34.7	40.8	5.0	0.7	8.3	—	45.3	5.7
女性	12.3	39.3	34.0	4.2	0.3	10.0	—	51.6	4.5
男性	8.6	29.2	48.9	5.9	1.1	6.3	—	37.8	7.0
豊橋市 (H28.8)	7.8	35.3	32.0	5.7	1.4	11.9	6.0	43.1	7.1
女性	10.6	38.7	25.8	4.0	0.2	14.4	6.3	49.3	4.2
男性	4.1	30.9	39.7	8.1	3.1	8.9	5.3	35.0	11.2
豊橋市 (H26.9)	7.3	31.9	33.5	7.1	1.4	13.2	5.6	39.2	8.5
女性	10.0	35.8	25.4	5.6	0.2	17.2	5.8	45.8	5.8
男性	4.1	27.4	42.7	8.9	2.9	8.7	5.2	31.5	11.8
豊橋市 (H23.6)	7.3	31.5	32.7	8.8	0.9	14.7	4.1	38.8	9.7
女性	10.3	36.0	24.7	6.3	0.3	18.4	4.0	46.3	6.6
男性	3.0	25.7	43.2	12.3	1.7	10.4	3.7	28.7	14.0
豊橋市 (H20.5)	6.7	32.5	34.5	7.9	0.9	13.9	3.6	39.2	8.8
女性	9.5	40.6	25.4	3.9	0.3	17.0	3.3	50.1	4.2
男性	3.4	23.4	45.4	12.9	1.4	10.1	3.4	26.8	14.3
豊橋市 (H17.5)	6.5	35.8	30.2	7.7	0.8	12.4	6.6	42.3	8.4
女性	9.4	42.3	21.8	5.7	0.3	14.5	5.9	51.8	6.0
男性	2.6	26.4	42.5	10.7	1.4	9.3	7.0	29.0	12.1
豊橋市 (H13.8)	13.1	34.6	29.8	5.0	1.4	11.4	4.8	47.7	6.4
女性	18.7	39.6	18.3	3.6	0.6	14.4	4.7	58.3	4.2
男性	6.2	29.2	44.4	7.0	2.3	7.0	3.9	35.4	9.3

F しきたりや習慣

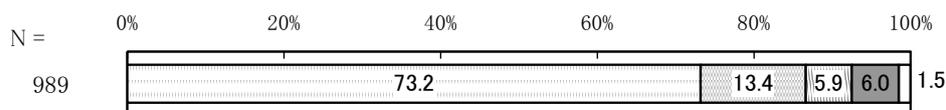
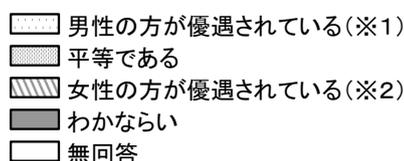
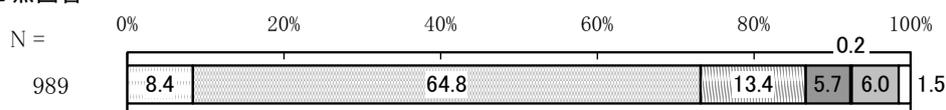
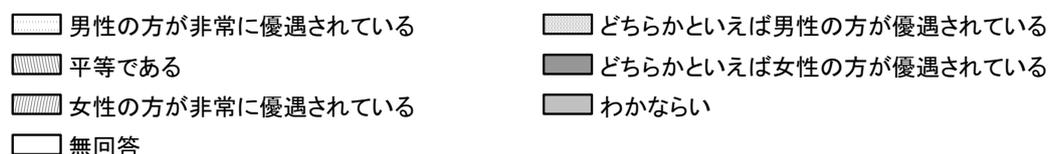
単位：%

	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない (H13 調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている (A+B)	女性の方が優遇されている (C+D)
国 (H28.9)	17.6	52.8	21.8	2.8	0.4	4.6	—	70.4	3.2
女性	18.4	53.5	19.8	2.5	0.4	5.4	—	71.9	2.9
男性	16.7	51.9	24.2	3.1	0.4	3.7	—	68.6	3.5
愛知県 (H26.11)	28.3	45.6	13.2	2.5	0.7	7.5	2.3	73.9	3.2
女性	34.2	44.6	10.1	1.0	0.3	8.0	1.9	78.8	1.3
男性	21.4	47.6	16.9	4.5	1.1	7.1	1.4	69.0	5.6
豊橋市 (H28.8)	17.7	50.1	15.3	3.3	0.5	7.8	5.4	67.8	3.8
女性	22.3	49.2	12.3	2.5	0.4	7.9	5.4	71.5	2.9
男性	11.5	51.7	18.9	4.5	0.7	7.7	5.0	63.2	5.2
豊橋市 (H26.9)	18.6	49.7	13.8	2.7	0.7	9.4	5.1	68.3	3.4
女性	23.2	47.6	10.3	1.8	0.2	10.8	6.1	70.8	2.0
男性	13.4	51.5	18.3	3.7	1.4	8.0	3.9	64.9	5.1
豊橋市 (H23.6)	18.8	50.0	14.4	2.3	0.4	10.7	3.4	68.8	2.7
女性	24.4	49.6	10.3	1.3	0.0	11.1	3.3	74.0	1.3
男性	11.0	51.0	20.1	3.7	0.9	10.4	3.0	62.0	4.6
豊橋市 (H20.5)	21.0	49.9	14.5	2.7	0.7	8.3	2.8	70.9	3.4
女性	26.2	50.2	9.7	1.6	0.5	9.5	2.3	76.4	2.0
男性	14.9	50.2	20.4	4.2	0.8	6.7	2.8	65.1	5.0
豊橋市 (H17.5)	22.6	49.2	12.0	2.6	0.0	7.8	5.9	71.8	2.6
女性	28.8	47.1	9.4	1.5	0.0	8.0	5.2	75.9	1.5
男性	13.6	53.3	15.9	4.0	0.0	7.2	6.1	66.8	4.0
豊橋市 (H13.8)	39.0	41.2	7.7	1.6	0.6	6.7	3.1	80.2	2.2
女性	46.7	35.5	5.3	1.2	0.2	8.3	2.8	82.2	1.4
男性	28.9	49.6	10.6	2.1	1.0	4.4	3.4	78.5	3.1

## 2-2 社会全体の男女の地位評価

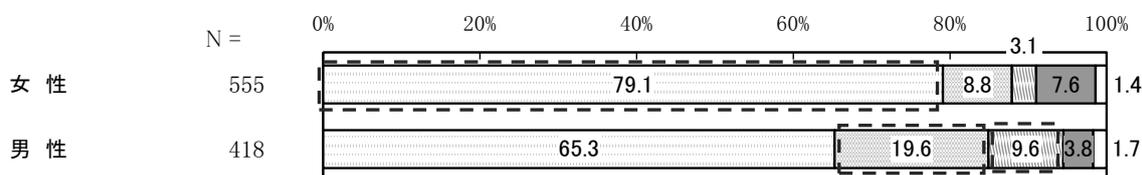
問2. 社会全体でみた場合は、男女の地位は平等になっていると思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が73.2%、“女性の方が優遇されている（※2）”の割合が5.9%、「平等である」の割合が13.4%となっている。



### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「平等である」「女性の方が優遇されている（※2）」の割合が高くなっている。



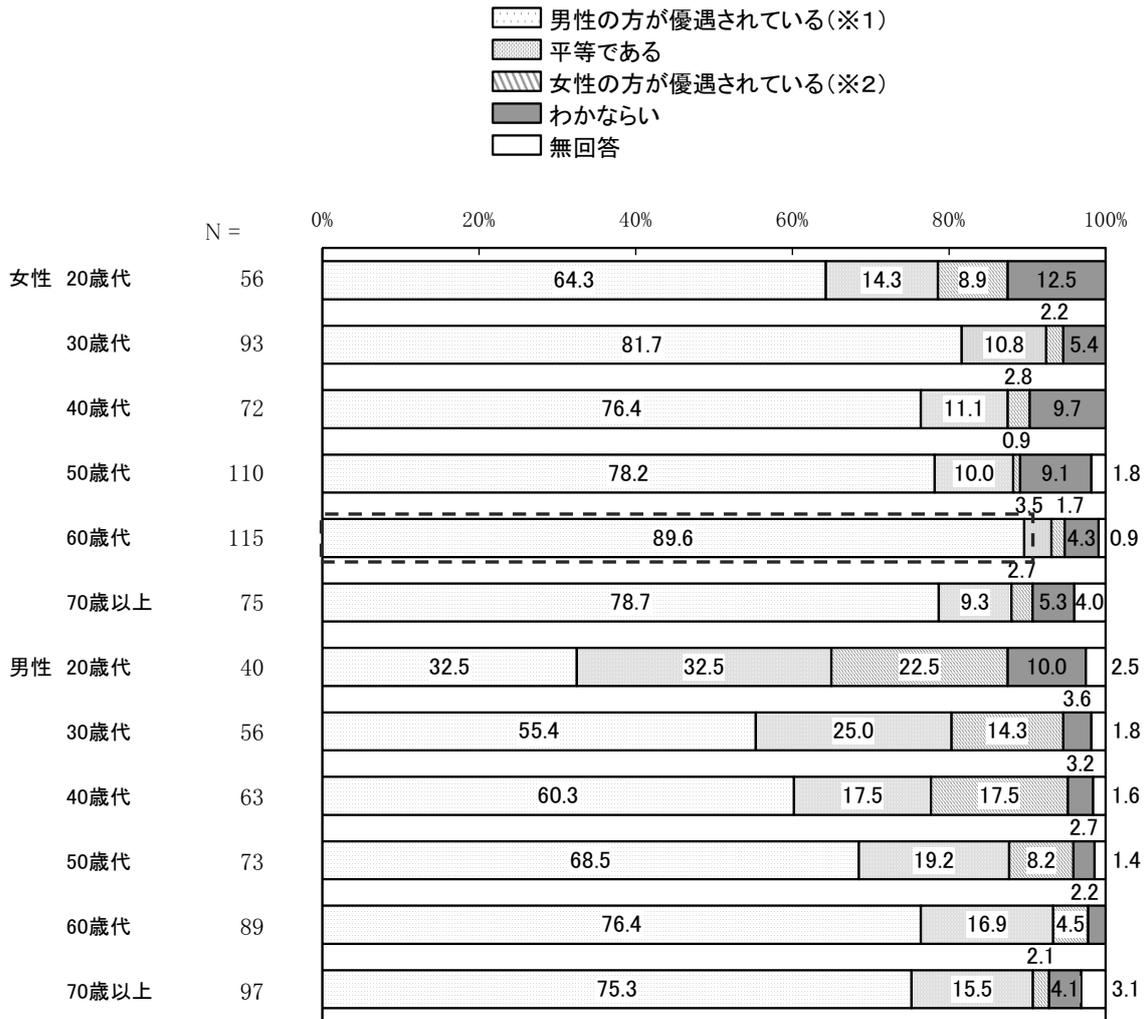
※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

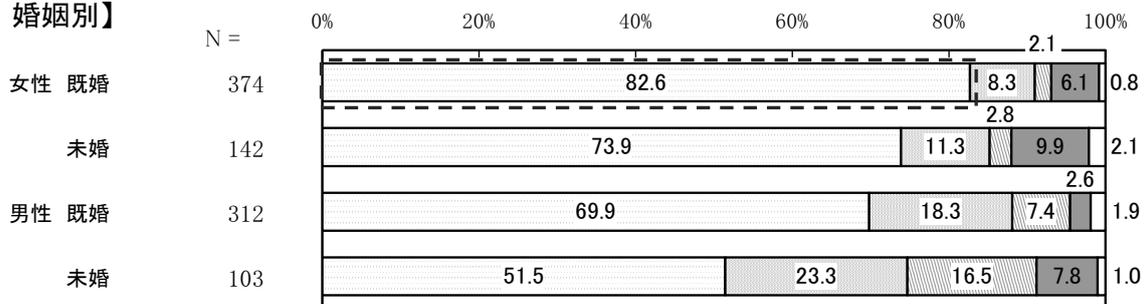
性・年代別で見ると、男性で年齢が高くなるにつれ“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が高くなる傾向となっている。また、他に比べ、女性 60 歳代で“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が高くなっている。

性・婚姻別で見ると、他に比べ、女性既婚で“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が高くなっている。

【性・年代別】



【性・婚姻別】



※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 ※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

国・愛知県との比較でみると、「平等である」の割合は、愛知県と同程度の数値となっているが、国より低い数値となっている。

豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成 26 年と比べて“男性の方が優遇されている”の割合が増加している。

【国・愛知県との比較・経年比較】

単位：%

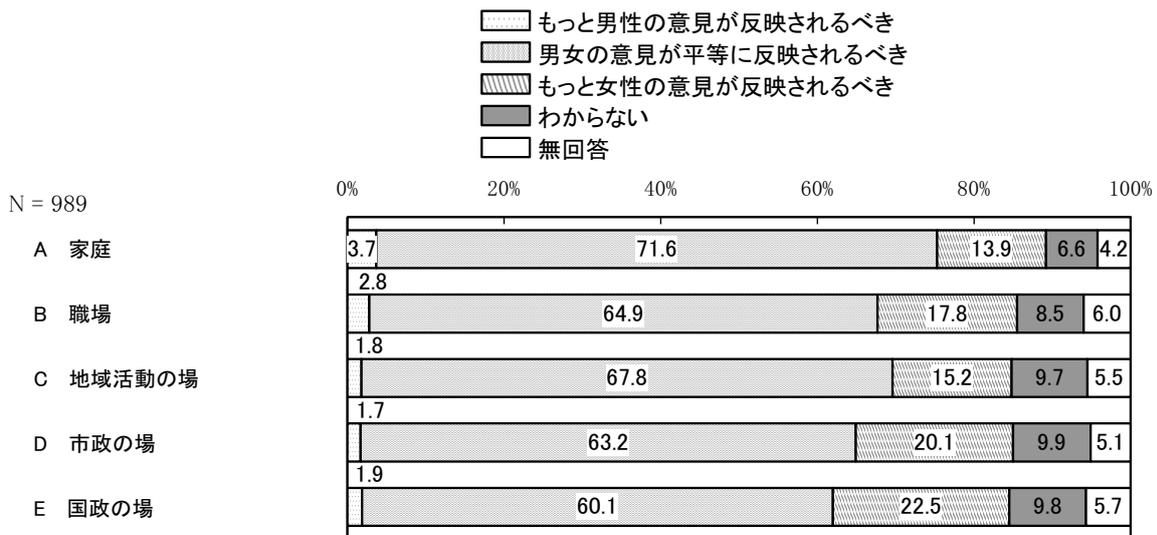
	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない (H13 調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている (A+B)	女性の方が優遇されている (C+D)
国 (H28.9)	9.7	64.5	21.1	2.8	0.2	1.7	—	74.2	3.0
女性	11.7	67.5	17.1	1.8	0.2	1.8	—	79.2	2.0
男性	7.3	60.9	25.7	4.1	0.3	1.7	—	68.2	4.4
愛知県 (H26.11)	19.8	54.6	12.8	3.6	1.2	6.4	1.7	74.4	4.8
女性	25.2	56.1	9.5	1.5	0.5	6.0	1.1	81.3	2.0
男性	13.3	53.3	17.1	6.2	2.0	7.1	1.1	66.6	8.2
豊橋市 (H28.8)	8.4	64.8	13.4	5.7	0.2	6.0	1.5	73.2	5.9
女性	10.8	68.3	8.8	2.9	0.2	7.6	1.4	79.1	3.1
男性	5.3	60.0	19.6	9.3	0.2	3.8	1.7	65.3	9.5
豊橋市 (H26.9)	8.6	60.2	11.3	6.1	0.9	7.4	5.6	68.8	7.0
女性	11.3	61.9	7.0	4.5	0.3	9.3	5.8	73.2	4.8
男性	5.0	58.1	16.5	8.2	1.6	5.2	5.4	63.1	9.8
豊橋市 (H23.6)	8.1	59.3	15.0	6.8	0.5	9.0	1.3	67.4	7.3
女性	10.9	63.3	9.6	4.3	0.3	10.1	1.3	74.2	4.6
男性	4.1	54.2	22.0	10.4	0.6	7.6	1.1	58.3	11.0
豊橋市 (H20.5)	10.5	62.3	12.1	5.4	0.7	7.1	2.0	72.8	6.0
女性	11.4	66.0	8.3	3.7	0.5	8.7	1.4	77.4	4.2
男性	9.5	57.9	17.3	7.3	1.0	5.6	1.4	67.5	8.3
豊橋市 (H17.5)	10.6	60.6	11.1	7.1	0.6	8.8	1.3	71.2	7.7
女性	13.5	64.5	6.2	3.6	0.2	10.6	1.5	78.0	3.7
男性	6.8	54.9	18.0	11.9	1.2	6.3	0.9	61.7	13.1
豊橋市 (H13.8)	19.8	55.4	7.7	4.3	0.4	10.9	1.4	75.2	4.7
女性	25.6	55.4	3.9	4.1	0.0	9.7	1.2	81.0	4.1
男性	12.4	56.1	12.7	4.4	1.0	12.1	1.3	68.5	5.4

### 3 男女の意思決定について

#### 3-1 各場面の意見の反映度

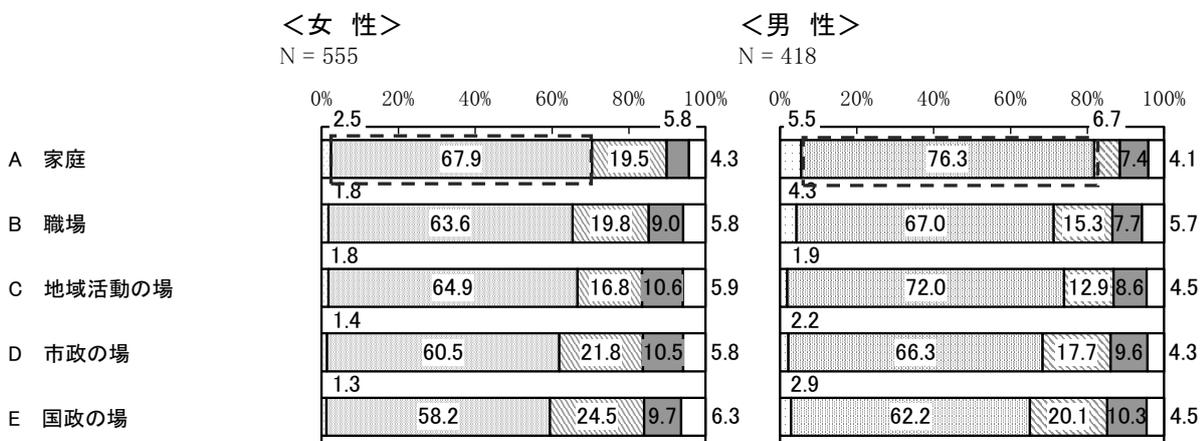
問3. 次の各場面における男女の意見の反映のされ方について、どのように思いますか。  
A~Eの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

『A 家庭』で「男女の意見が平等に反映されるべき」の割合が高く、約7割となっている。一方、『D 市政の場』、『E 国政の場』で「もっと女性の意見が反映されるべき」の割合が高く、2割を超えている。



#### 【性別】

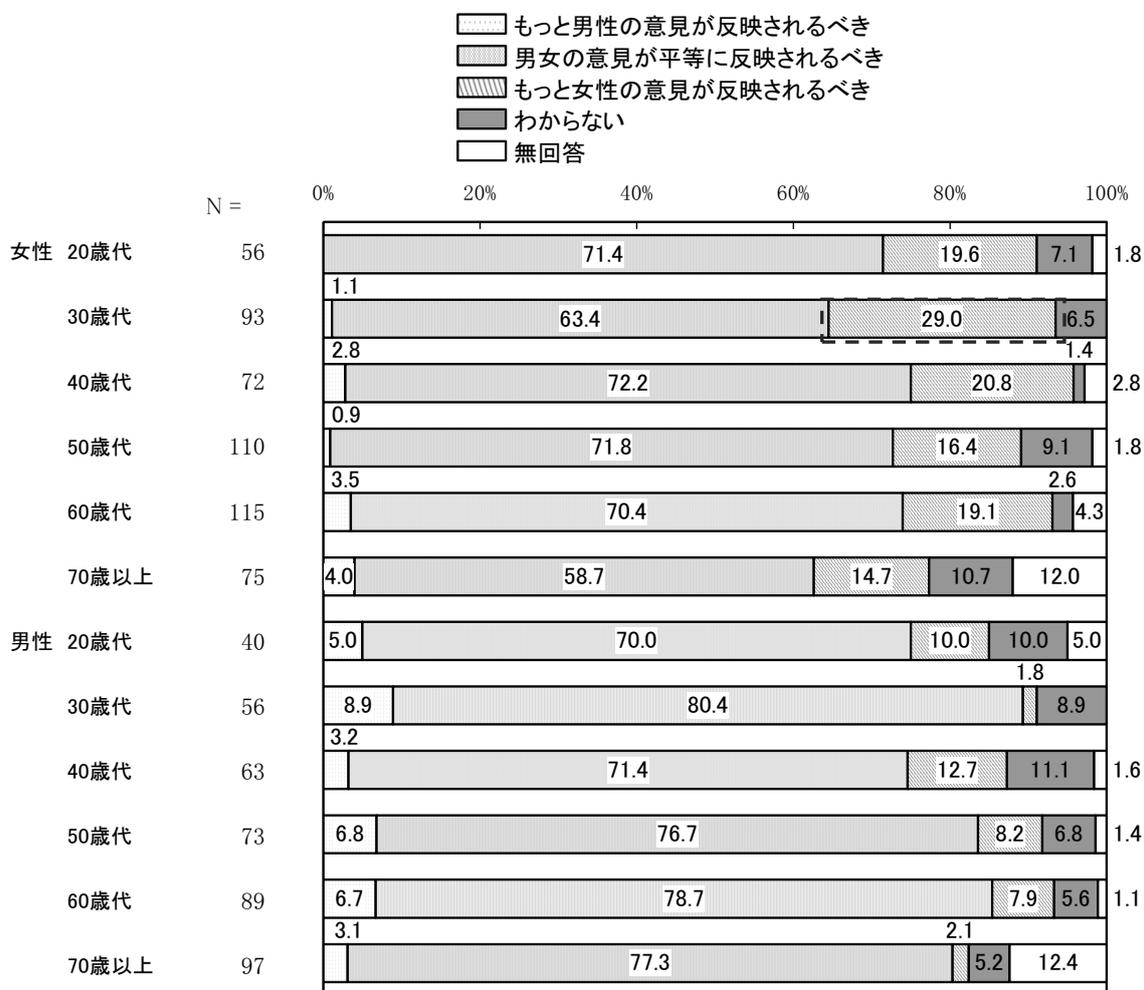
性別でみると、すべての項目で、女性に比べ男性で「男女の意見が平等に反映されるべき」の割合が高く、女性で「もっと女性の意見が反映されるべき」の割合が高くなっている。特に、『A 家庭』で男女の差が大きくなっている。



性・年代別でみると、『A 家庭』『B 職場』における女性 30 歳代、『E 国政の場』における女性 20 歳代、30 歳代で「もっと女性の意見が反映されるべき」の割合が高くなっている。

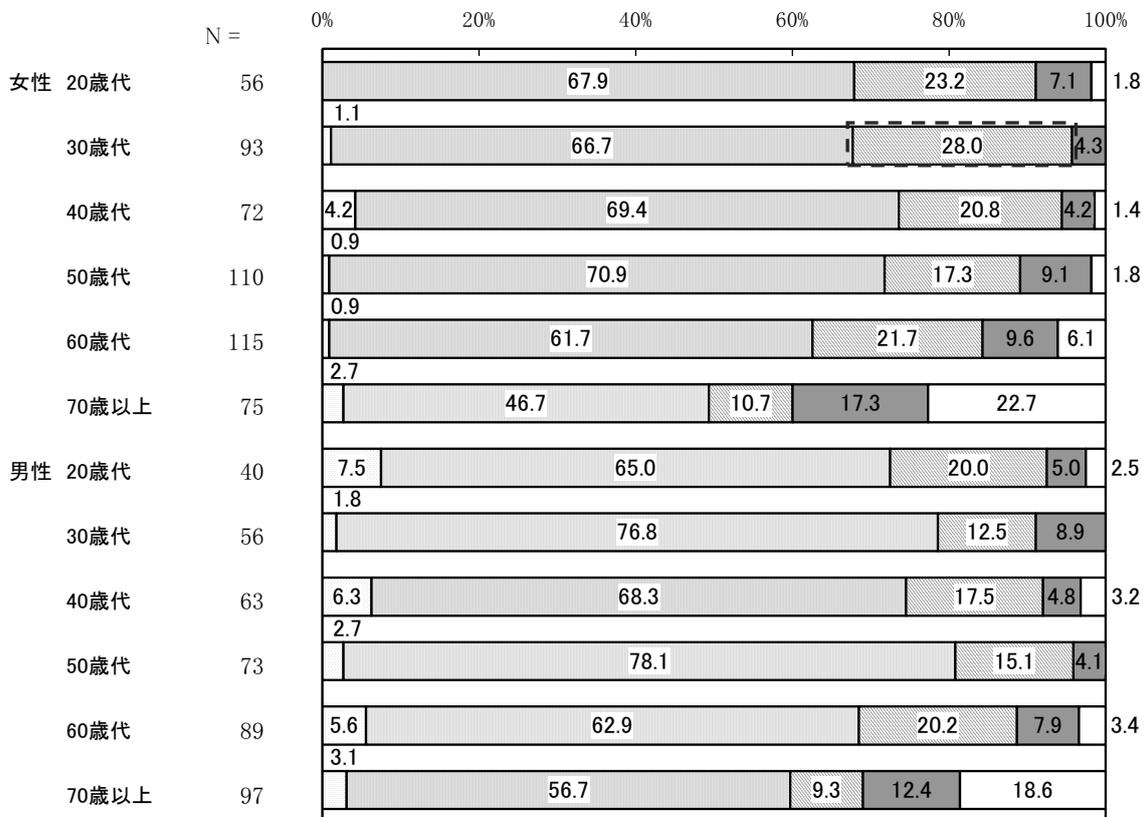
【性・年代別】

A 家庭

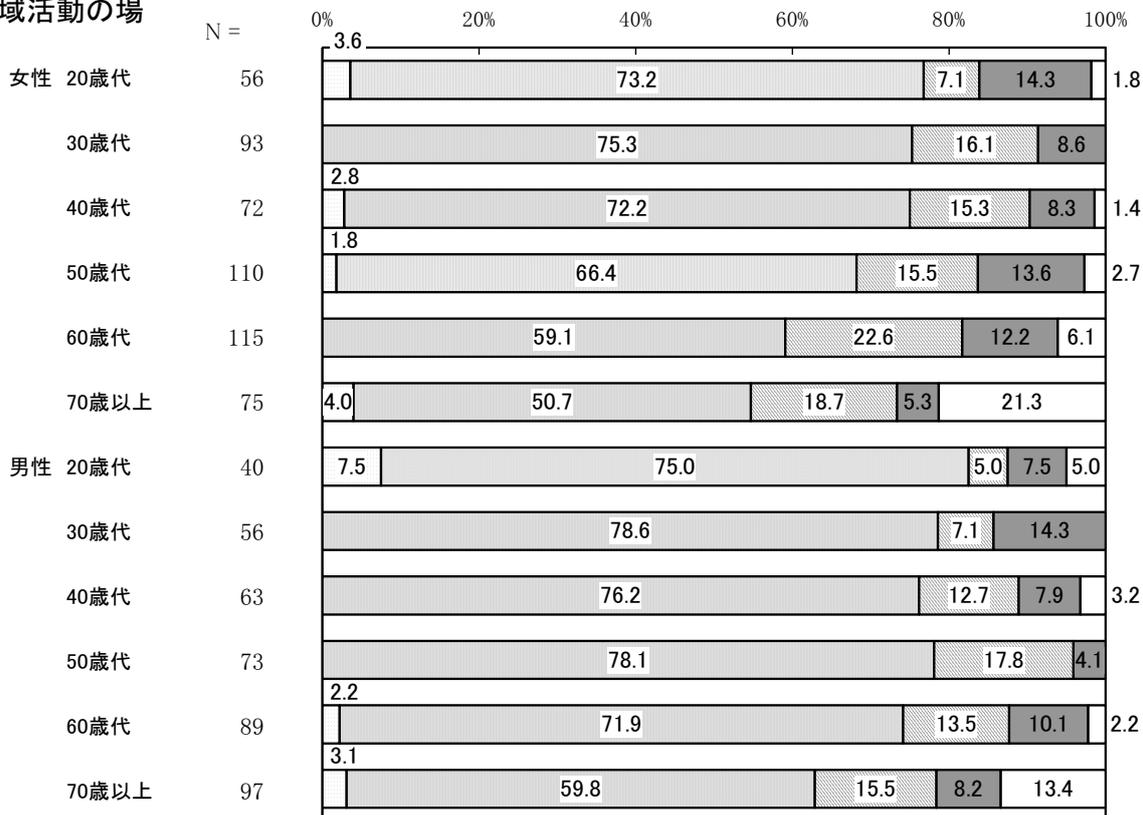


B 職場

- もっと男性の見解が反映されるべき
- 男女の見解が平等に反映されるべき
- もっと女性の見解が反映されるべき
- わからない
- 無回答

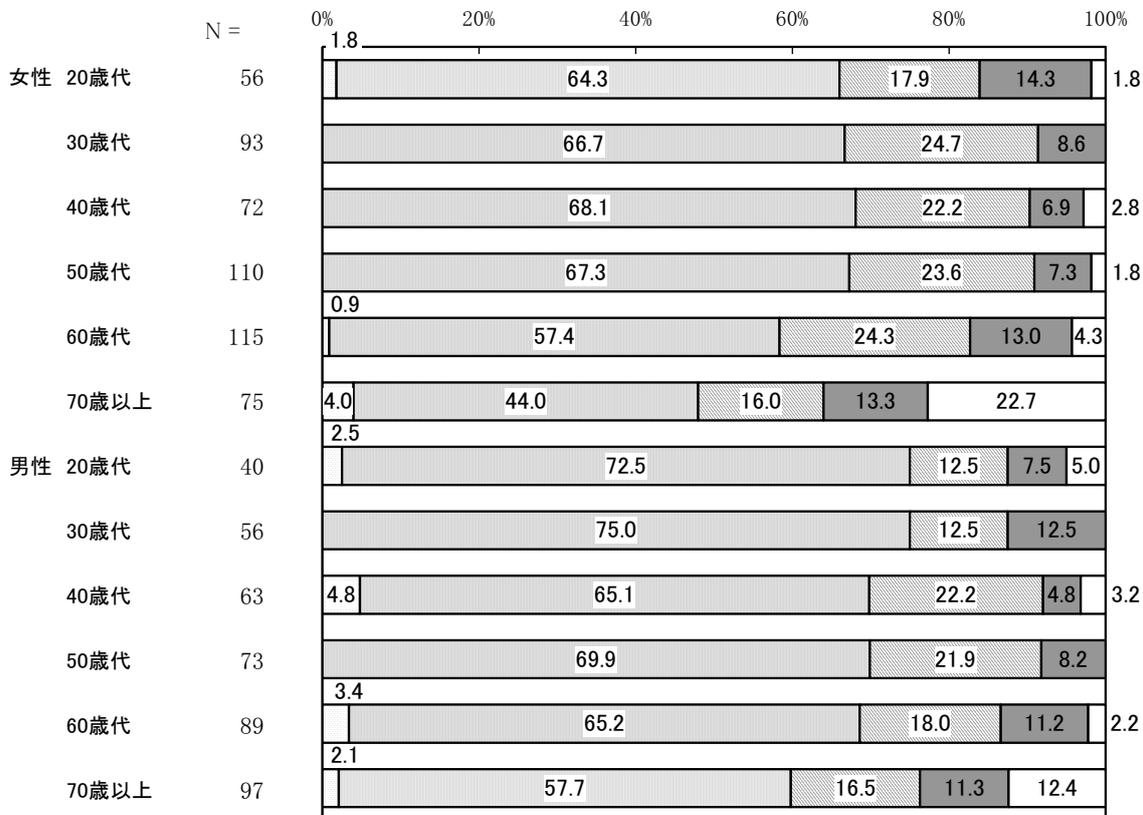


C 地域活動の場

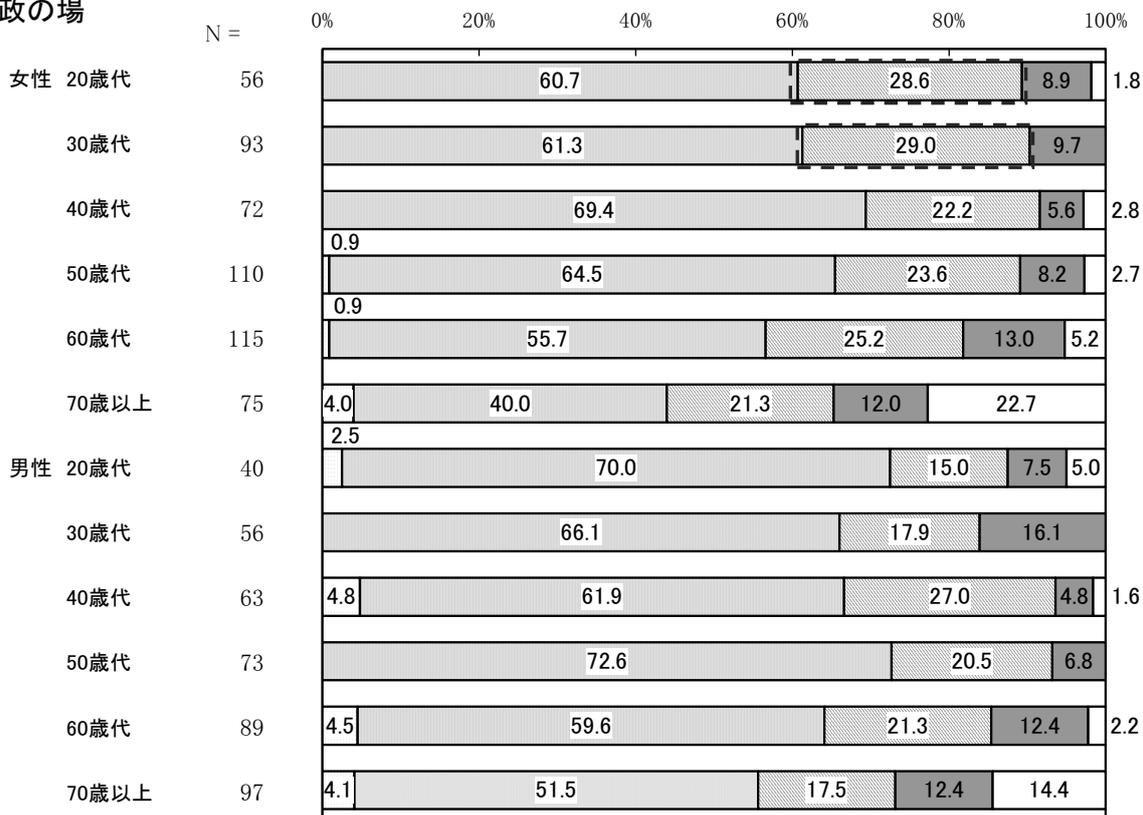


### D 市政の場

- もっと男性の意見が反映されるべき
- 男女の意見が平等に反映されるべき
- もっと女性の意見が反映されるべき
- わからない
- 無回答



### E 国政の場



豊橋市の平成 26 年の調査との比較でみると、すべての場面において「平等に反映されるべき」の割合が増加している。

【経年比較】

A 家庭

単位：%

	もっと男性の意見が反映されるべき	男女の意見が平等に反映されるべき	もっと女性の意見が反映されるべき	わからない	無回答
豊橋市（H28.8）	3.7	71.6	13.9	6.6	4.2
女性	2.5	67.9	19.5	5.8	4.3
男性	5.5	76.3	6.7	7.4	4.1
豊橋市（H26.9）	6.0	51.0	27.2	11.6	4.1
女性	3.3	42.5	35.8	13.4	5.0
男性	9.3	60.6	17.3	9.7	3.1

B 職場

単位：%

	もっと男性の意見が反映されるべき	男女の意見が平等に反映されるべき	もっと女性の意見が反映されるべき	わからない	無回答
豊橋市（H28.8）	2.8	64.9	17.8	8.5	6.0
女性	1.8	63.6	19.8	9.0	5.8
男性	4.3	67.0	15.3	7.7	5.7
豊橋市（H26.9）	4.7	31.7	39.0	18.8	5.8
女性	3.3	26.7	41.1	23.1	5.8
男性	6.4	37.7	36.1	14.0	5.8

C 地域活動の場

単位：％

	もっと男性の意見が反 映されるべき	男女の意見が平等に反 映されるべき	もっと女性の意見が反 映されるべき	わからない	無回答
豊橋市（H28.8）	1.8	67.8	15.2	9.7	5.5
女性	1.8	64.9	16.8	10.6	5.9
男性	1.9	72.0	12.9	8.6	4.5
豊橋市（H26.9）	3.4	39.9	28.5	23.0	5.2
女性	2.5	33.5	30.3	28.0	5.6
男性	4.5	47.4	26.2	17.5	4.5

D 市政の場

単位：％

	もっと男性の意見が反 映されるべき	男女の意見が平等に反 映されるべき	もっと女性の意見が反 映されるべき	わからない	無回答
豊橋市（H28.8）	1.7	63.2	20.1	9.9	5.1
女性	1.4	60.5	21.8	10.5	5.8
男性	2.2	66.3	17.7	9.6	4.3
豊橋市（H26.9）	3.1	19.3	45.0	27.7	4.9
女性	3.3	14.8	46.3	30.5	5.1
男性	2.9	25.0	43.1	24.5	4.5

E 国政の場

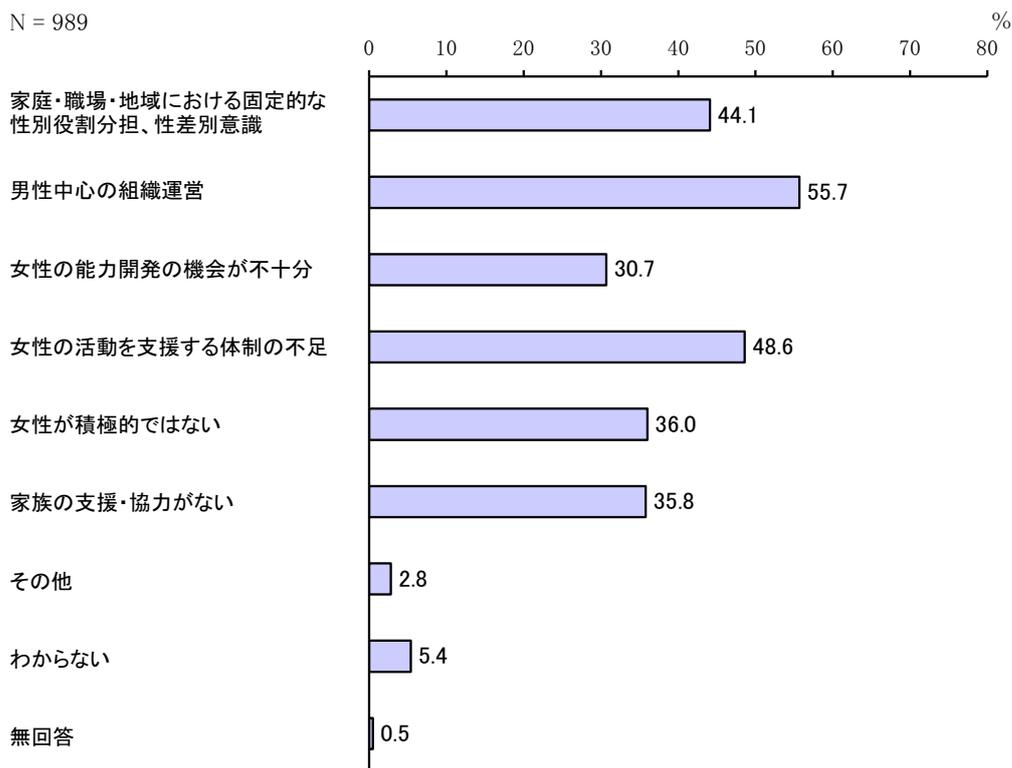
単位：％

	もっと男性の意見が反 映されるべき	男女の意見が平等に反 映されるべき	もっと女性の意見が反 映されるべき	わからない	無回答
豊橋市（H28.8）	1.9	60.1	22.5	9.8	5.7
女性	1.3	58.2	24.5	9.7	6.3
男性	2.9	62.2	20.1	10.3	4.5
豊橋市（H26.9）	3.6	17.7	48.9	25.3	4.5
女性	3.2	13.3	49.6	29.0	5.0
男性	4.3	23.1	47.8	21.0	3.9

### 3-2 政策や方針決定の場への女性の参画状況が男性よりも低い理由

問4. 豊橋市では、現在、政策や方針決定の場への女性の参画状況が男性よりも低い状況にあります。その理由について次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「男性中心の組織運営」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「女性の活動を支援する体制の不足」の割合が 48.6%、「家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識」の割合が 44.1%となっている。



#### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識」「女性の能力開発の機会が不十分」「女性の活動を支援する体制の不足」「家族の支援・協力がない」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	有効回答数(件)	家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識	男性中心の組織運営	女性の能力開発の機会が不十分	女性の活動を支援する体制の不足	女性が積極的ではない	家族の支援・協力がない	その他	わからない	無回答
女性	555	48.8	54.1	33.2	51.5	34.8	46.1	2.9	4.9	0.4
男性	418	38.8	57.9	27.3	44.7	37.6	22.5	2.9	6.0	0.5

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、女性 30 歳代、男性 60 歳代で「男性中心の組織運営」の割合が高く、女性 20 歳代で「女性の活動を支援する体制の不足」の割合が高く、6 割を超えている。また、女性 20 歳代から 50 歳代で「家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識」の割合が高くなっている。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家庭・職場・地域における 固定的な性別役割分担、性 差別意識	男性中心の組織運営	女性の能力開発の機会が 不十分	女性の活動を支援する体 制の不足	女性が積極的ではない	家族の支援・協力が ない	その他	わからない	無回答
女性 20 歳代	56	57.1	48.2	25.0	66.1	23.2	33.9	0.0	1.8	0.0
30 歳代	93	54.8	65.6	32.3	49.5	39.8	48.4	4.3	3.2	0.0
40 歳代	72	54.2	56.9	29.2	59.7	37.5	55.6	1.4	5.6	0.0
50 歳代	110	58.2	58.2	30.9	50.9	26.4	50.9	3.6	4.5	0.0
60 歳代	115	44.3	53.9	40.0	51.3	43.5	47.0	4.3	3.5	0.0
70 歳以上	75	29.3	40.0	41.3	42.7	30.7	33.3	1.3	8.0	1.3
男性 20 歳代	40	30.0	57.5	15.0	32.5	42.5	15.0	5.0	5.0	2.5
30 歳代	56	30.4	51.8	26.8	44.6	26.8	19.6	3.6	5.4	0.0
40 歳代	63	30.2	58.7	31.7	30.2	27.0	22.2	4.8	7.9	0.0
50 歳代	73	35.6	57.5	20.5	43.8	38.4	20.5	2.7	5.5	0.0
60 歳代	89	48.3	66.3	30.3	52.8	44.9	30.3	0.0	4.5	0.0
70 歳以上	97	46.4	53.6	32.0	52.6	41.2	21.6	3.1	7.2	1.0

豊橋市の平成26年の調査との比較でみると、女性で「女性の活動を支援する体制の不足」「家族の支援・協力が無い」の割合が高くなっています。また、男性で「女性が積極的ではない」の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：%

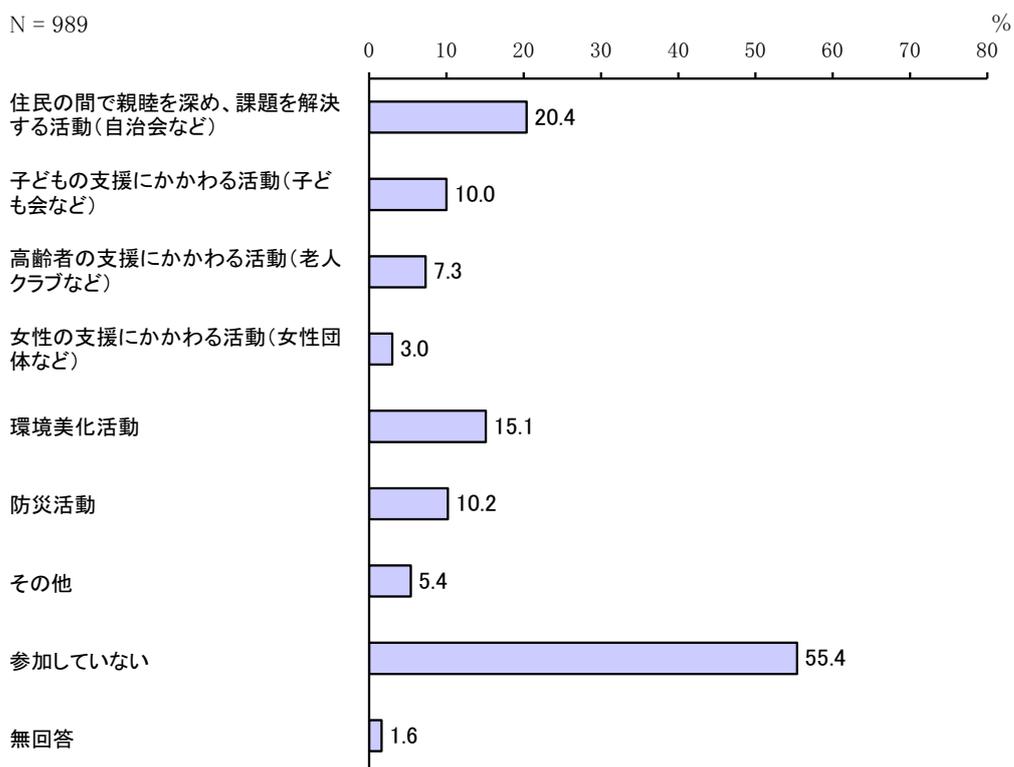
	家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識	男性中心の組織運営	女性の能力開発の機会が不十分	女性の活動を支援する体制の不足	女性が積極的ではない	家族の支援・協力が無い	その他	わからない	無回答
豊橋市（H28.8）	44.1	55.7	30.7	48.6	36.0	35.8	2.8	5.4	0.5
女性	48.8	54.1	33.2	51.5	34.8	46.1	2.9	4.9	0.4
男性	38.8	57.9	27.3	44.7	37.6	22.5	2.9	6.0	0.5
豊橋市（H26.9）	45.2	52.8	25.1	45.9	31.1	31.8	3.4	5.9	2.9
女性	48.3	51.1	26.2	45.3	32.3	36.5	2.7	5.6	4.0
男性	41.6	54.6	23.9	47.0	28.9	26.2	4.1	6.2	1.7

## 4 家庭・仕事・地域活動のバランスについて

### 4-1 参加している地域活動

問5. 現在、地域のどのような活動に参加していますか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「参加していない」の割合が55.4%と最も高く、次いで「住民の間で親睦を深め、課題を解決する活動（自治会など）」の割合が20.4%、「環境美化活動」の割合が15.1%となっている。



性別でみると、女性に比べ、男性で「住民の間で親睦を深め、課題を解決する活動（自治会など）」の割合が高くなっている。

性・年代別でみると、他に比べ、女性 40 歳代で「子どもの支援にかかわる活動（子ども会など）」の割合が高くなっている。また、男女とも 20 歳代で「参加していない」の割合が高く、8 割を超えている。

### 【性別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	住民の間で親睦を深め、課題を解決する活動（自治会など）	子どもの支援にかかわる活動（子ども会など）	高齢者の支援にかかわる活動（老人クラブなど）	女性の支援にかかわる活動（女性団体など）	環境美化活動	防災活動	その他	参加していない	無回答
女性	555	17.7	11.4	7.4	5.2	13.2	8.1	4.5	57.1	2.0
男性	418	23.0	7.9	6.9	0.2	17.0	12.9	6.2	53.8	1.0

### 【性・年代別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	住民の間で親睦を深め、課題を解決する活動（自治会など）	子どもの支援にかかわる活動（子ども会など）	高齢者の支援にかかわる活動（老人クラブなど）	女性の支援にかかわる活動（女性団体など）	環境美化活動	防災活動	その他	参加していない	無回答
女性 20 歳代	56	3.6	3.6	1.8	0.0	3.6	0.0	1.8	85.7	1.8
30 歳代	93	9.7	19.4	0.0	3.2	6.5	6.5	1.1	65.6	0.0
40 歳代	72	25.0	36.1	1.4	2.8	13.9	12.5	2.8	43.1	0.0
50 歳代	110	20.9	5.5	2.7	3.6	11.8	7.3	7.3	56.4	1.8
60 歳代	115	20.0	4.3	9.6	8.7	20.0	7.8	6.1	54.8	2.6
70 歳以上	75	21.3	2.7	24.0	8.0	21.3	12.0	6.7	49.3	1.3
男性 20 歳代	40	5.0	0.0	0.0	0.0	7.5	7.5	0.0	82.5	2.5
30 歳代	56	19.6	17.9	1.8	0.0	10.7	5.4	3.6	60.7	0.0
40 歳代	63	14.3	22.2	1.6	1.6	20.6	15.9	6.3	50.8	0.0
50 歳代	73	30.1	5.5	1.4	0.0	13.7	16.4	6.8	52.1	0.0
60 歳代	89	29.2	3.4	4.5	0.0	18.0	14.6	12.4	48.3	0.0
70 歳以上	97	26.8	2.1	22.7	0.0	23.7	13.4	4.1	46.4	3.1

豊橋市の平成26年の調査との比較でみると、大きな差異はみられません。

【経年比較】

単位：%

	住民の間で親睦を深め、課題を解決する活動（自治会など）	子どもの支援にかかわる活動（子ども会など）	高齢者の支援にかかわる活動（老人クラブなど）	女性の支援にかかわる活動（女性団体など）	環境美化活動	防災活動	その他	参加していない	無回答
豊橋市（H28.8）	20.4	10.0	7.3	3.0	15.1	10.2	5.4	55.4	1.6
女性	17.7	11.4	7.4	5.2	13.2	8.1	4.5	57.1	2.0
男性	23.0	7.9	6.9	0.2	17.0	12.9	6.2	53.8	1.0
豊橋市（H26.9）	17.5	10.0	7.8	2.0	14.1	8.8	4.3	56.3	3.5
女性	14.9	11.1	7.5	2.7	11.8	7.8	3.2	57.9	4.5
男性	20.6	8.9	8.3	1.2	16.9	9.9	5.8	54.6	2.1

## 4-2 平日・休日の活動時間

問6. 次のA~Gの項目について、1日平均でどのくらいの時間をあてていますか。平日と休日、それぞれについて数字を記入してください。

平日では、男女とも『A 仕事（収入の得られる労働）』の時間が最も長くなっている。

休日では、男性では『G 趣味・レジャーなどの余暇活動』が最も長いに対し、女性では『B 家事（掃除・洗濯・炊事など）』が最も長くなっている。

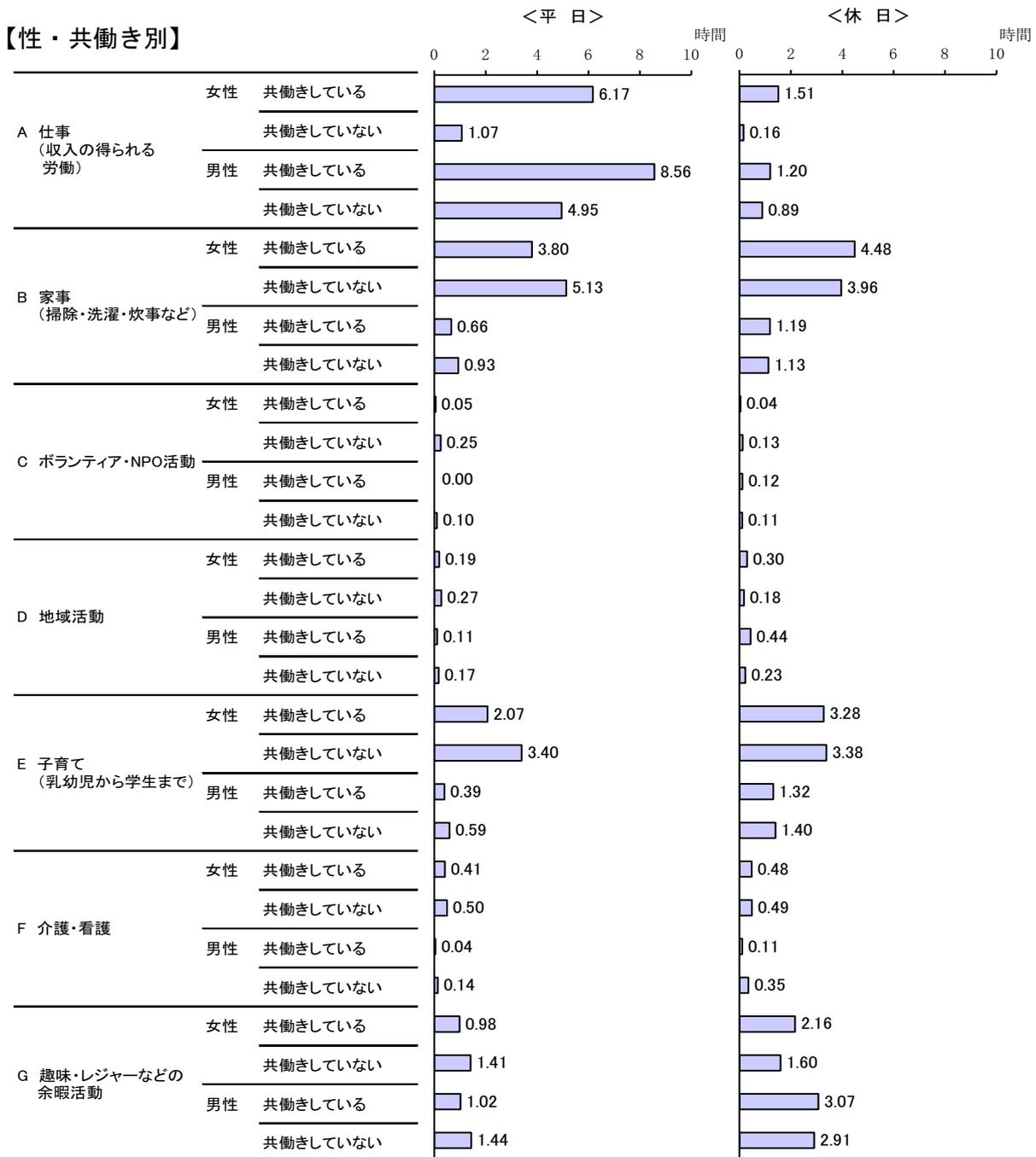
単位：時間

	平日			休日		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
A 仕事(収入の得られる労働)	5.56	4.56	6.83	1.19	1.18	1.18
B 家事(掃除・洗濯・炊事など)	2.54	3.78	0.87	2.74	3.87	1.27
C ボランティア・NPO活動	0.12	0.14	0.04	0.09	0.09	0.09
D 地域活動(問5で挙げられている活動など)	0.18	0.21	0.13	0.32	0.30	0.32
E 子育て(乳幼児から学生まで)	1.32	2.04	0.41	1.89	2.58	1.04
F 介護・看護	0.36	0.52	0.17	0.42	0.54	0.28
G 趣味・レジャーなどの余暇活動	1.27	1.24	1.31	2.76	2.37	3.25

性・共働き別でみると、『B 家事（掃除・洗濯・炊事など）』については、女性の共働きしている人は平日 3.80 時間、休日 4.48 時間で休日の方が長い。男性の共働きしている人は平日 0.66 時間、休日 1.19 時間で女性に比べ短い。また、女性の共働きしていない人では、平日 5.13 時間、休日 3.96 時間で休日の方が短い。

『E 子育て（乳幼児から学生まで）』については、男性の共働きしている人は平日 0.39 時間、休日 1.32 時間で、共働きしていない人の平日 0.59 時間、休日 1.40 時間と比べ、短い。

『G 趣味・レジャーなどの余暇活動』については、男性の共働きしている人の休日 3.07 時間と、共働きしていない人の 2.91 時間でほとんど差がない。



※ 女性 共働きしている N =210 :共働きしていない N =158  
 ※ 男性 共働きしている N =156 :共働きしていない N =149

豊橋市の平成26年調査との比較でみると、平日では『A 仕事（収入の得られる労働）』の時間が長くなっている。休日では『E 子育て（乳幼児から学生まで）』の時間が短くなっている。

【経年比較】

単位：時間

平日	A 仕事 (収入の得られる労働)	B 家事 (掃除・洗濯・炊事等)	C ボランティア・NPO活動	D 地域活動 (問5で挙げられている活動など)	E 子育て (乳幼児から学生まで)	F 介護・看護	G 趣味・レジャーなどの余暇活動
豊橋市 (H28.8)	5.56	2.54	0.12	0.18	1.32	0.36	1.27
女性	4.56	3.78	0.14	0.21	2.04	0.52	1.24
男性	6.83	0.87	0.04	0.13	0.41	0.17	1.31
豊橋市 (H26.9)	5.35	2.34	0.06	0.17	1.70	0.31	1.26
女性	4.34	3.67	0.07	0.17	2.87	0.40	1.23
男性	6.45	0.74	0.05	0.17	0.39	0.17	1.31

単位：時間

休日	A 仕事 (収入の得られる労働)	B 家事 (掃除・洗濯・炊事等)	C ボランティア・NPO活動	D 地域活動 (問5で挙げられている活動など)	E 子育て (乳幼児から学生まで)	F 介護・看護	G 趣味・レジャーなどの余暇活動
豊橋市 (H28.8)	1.19	2.74	0.09	0.32	1.89	0.42	2.76
女性	1.18	3.87	0.09	0.30	2.58	0.54	2.37
男性	1.18	1.27	0.09	0.32	1.04	0.28	3.25
豊橋市 (H26.9)	1.06	2.66	0.05	0.27	2.31	0.35	2.81
女性	0.96	3.99	0.04	0.22	3.49	0.49	2.55
男性	1.20	1.06	0.06	0.34	1.00	0.14	3.06

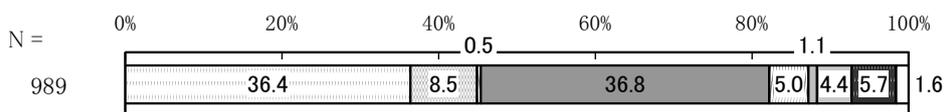
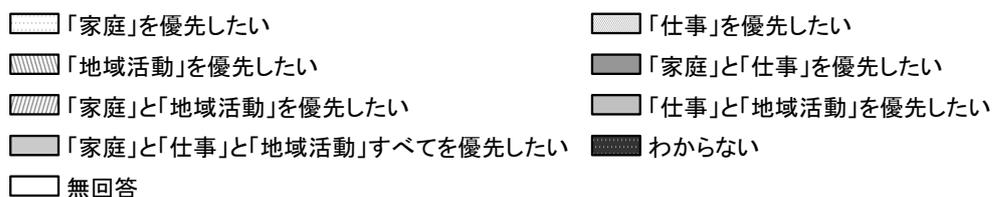
### 4-3 望ましい家庭・仕事・地域活動の関係

問7. 生活の中での「家庭」「仕事」「地域活動」の優先度について、希望に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

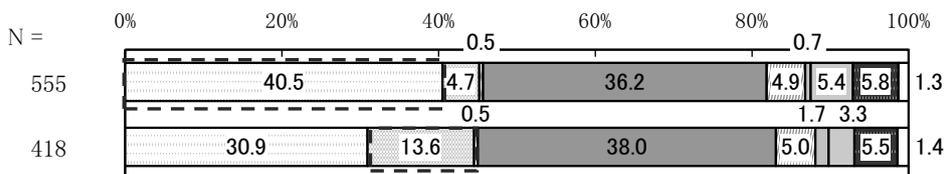
『家庭』と『仕事』を優先したい」の割合が36.8%と最も高く、次いで『家庭』を優先したい」の割合が36.4%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で『家庭』を優先したい」の割合が高く、女性に比べ、男性で『仕事』を優先したい」の割合が高くなっている。

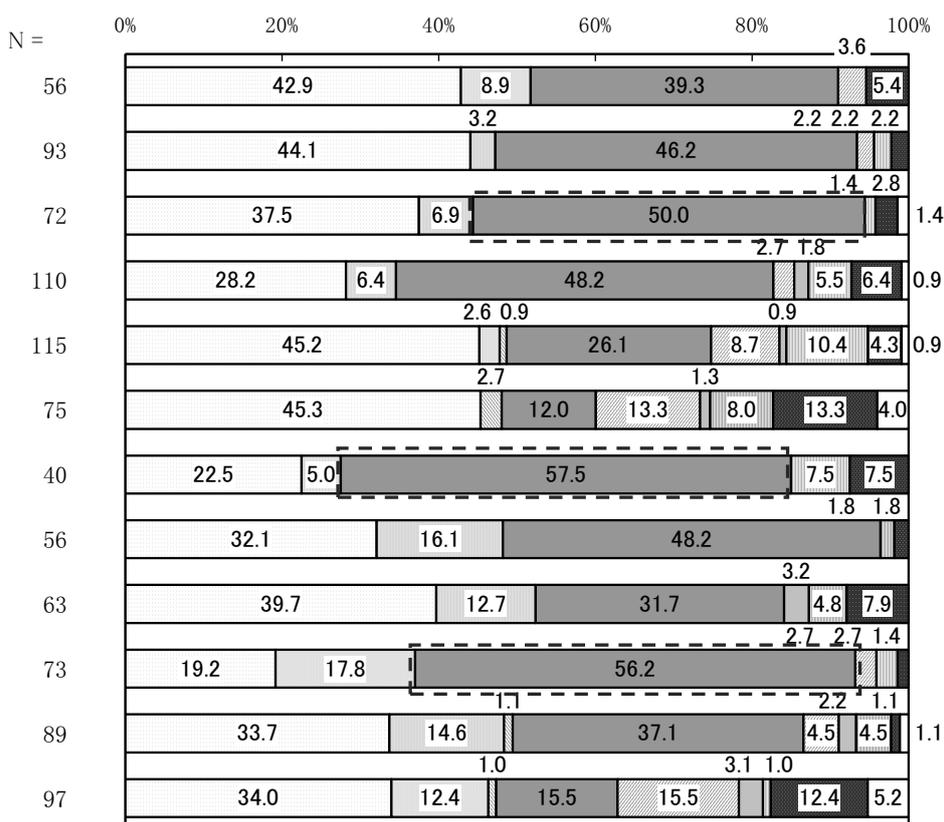
性・年代別でみると、他に比べ、女性40歳代、男性20歳代、50歳代で『家庭』と『仕事』をともに優先したい」の割合が高くなっている。



#### 【性別】

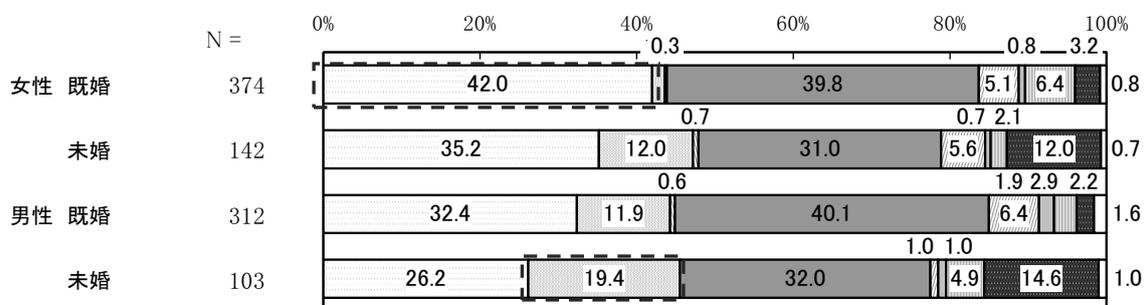


#### 【性・年代別】



性・婚姻別で見ると、女性既婚で『家庭』を優先したい」の割合が高くなっている。  
 また、男性未婚で『仕事』を優先したい」の割合が高くなっている。

【性・婚姻別】



国・愛知県との比較でみると、国、県に比べ、豊橋市で「『家庭』を優先したい」「『家庭』と『仕事』をともに優先したい」の割合が高く、「『家庭』と『仕事』と『地域活動』をすべて優先したい」の割合が低くなっている。

豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成 26 年に比べ、「『家庭』と『仕事』をともに優先したい」の割合が高くなっている。

【国・愛知県との比較・経年比較】

単位：%

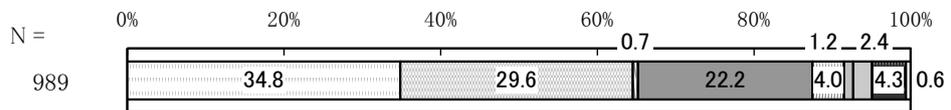
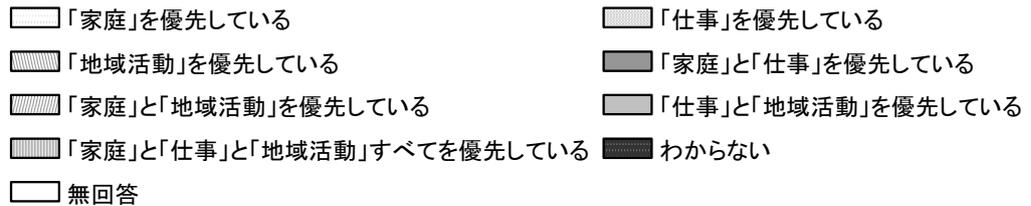
	「家庭」を優先したい	「仕事」を優先したい	「地域活動」を優先したい	「家庭」と「仕事」をともに優先したい	「家庭」と「地域活動」をともに優先したい	「仕事」と「地域活動」をともに優先したい	「家庭」と「仕事」と「地域活動」をすべて優先したい	その他	わからない	無回答
国（H28.9）	25.5	8.9	3.8	30.5	9.7	4.7	15.4	—	1.4	—
女性	30.6	4.2	3.3	30.6	11.2	4.0	14.7	—	1.4	—
男性	19.5	14.3	4.5	30.4	8.0	5.6	16.2	—	1.5	—
愛知県（H26.11）	25.9	7.2	3.0	31.3	10.3	2.6	14.6	1.1	1.9	2.1
女性	32.2	3.1	2.2	26.6	13.1	2.2	15.7	1.5	2.2	1.4
男性	19.0	11.6	4.0	36.8	7.7	2.8	13.6	0.8	1.7	2.2
豊橋市（H28.8）	36.4	8.5	0.5	36.8	5.0	1.1	4.4	—	5.7	1.6
女性	40.5	4.7	0.5	36.2	4.9	0.7	5.4	—	5.8	1.3
男性	30.9	13.6	0.5	38.0	5.0	1.7	3.3	—	5.5	1.4
豊橋市（H26.9）	40.1	7.1	0.3	33.8	3.7	1.0	4.1	—	6.2	3.7
女性	44.1	4.0	0.2	33.3	3.5	0.3	3.8	—	5.8	5.0
男性	35.5	10.9	0.4	33.8	4.1	1.7	4.5	—	6.8	2.3
豊橋市（H23.6）	31.5	6.2	0.6	35.6	7.5	1.2	10.7	—	5.2	1.6
女性	36.7	3.8	0.2	34.8	7.3	0.0	10.4	—	5.3	1.5
男性	24.8	9.1	1.1	36.3	8.0	2.8	11.4	—	5.2	1.3

#### 4-4 現状における家庭・仕事・地域活動の関係

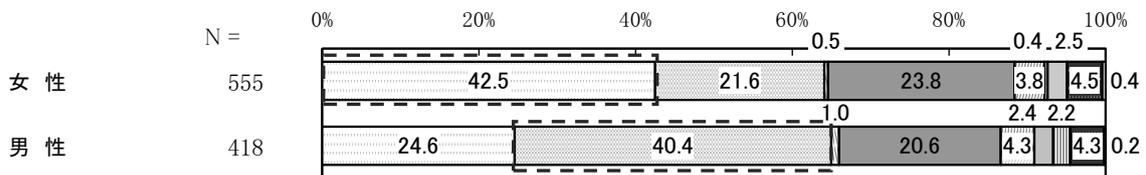
問8. 生活の中での「家庭」「仕事」「地域活動」の優先度について、現在の状況に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

『家庭』を優先している」の割合が34.8%と最も高く、次いで『仕事』を優先している」の割合が29.6%、『家庭』と『仕事』を優先している」の割合が22.2%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で『家庭』を優先している」の割合が高く、女性に比べ、男性で『仕事』を優先している」の割合が高くなっている。



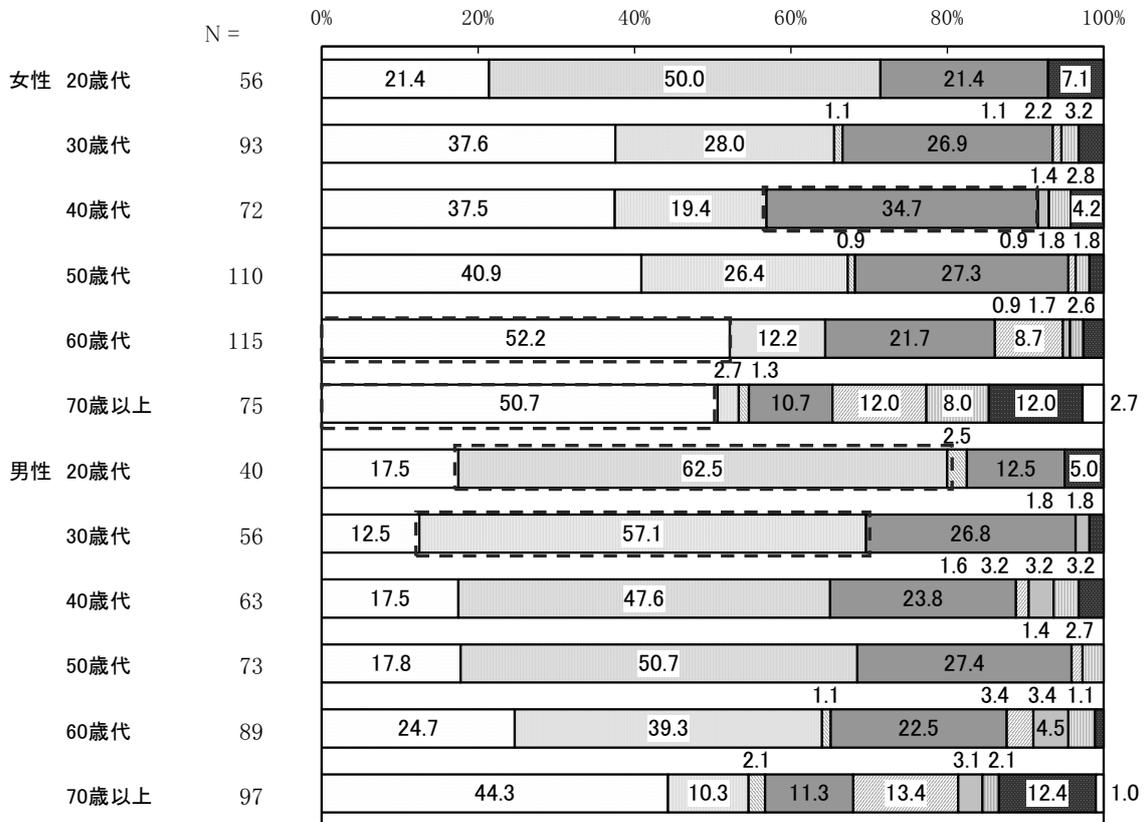
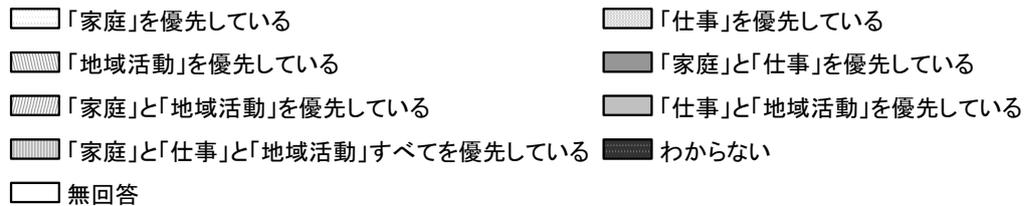
#### 【性別】



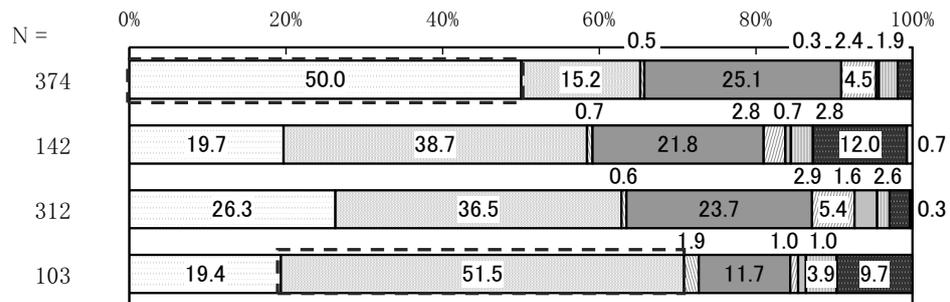
性・年代別でみると、女性 60 歳以上で『家庭』を優先している」の割合が、男性 20 歳代、30 歳代で『仕事』を優先している」の割合が高くなっている。一方、女性 40 歳代で『家庭』と『仕事』をともに優先している」の割合が高く、3 割台半ばとなっている。

性・婚姻別でみると、女性既婚で『家庭』を優先している」の割合が高くなっている。また、男性未婚で『仕事』を優先している」の割合が高くなっている。

【性・年代別】



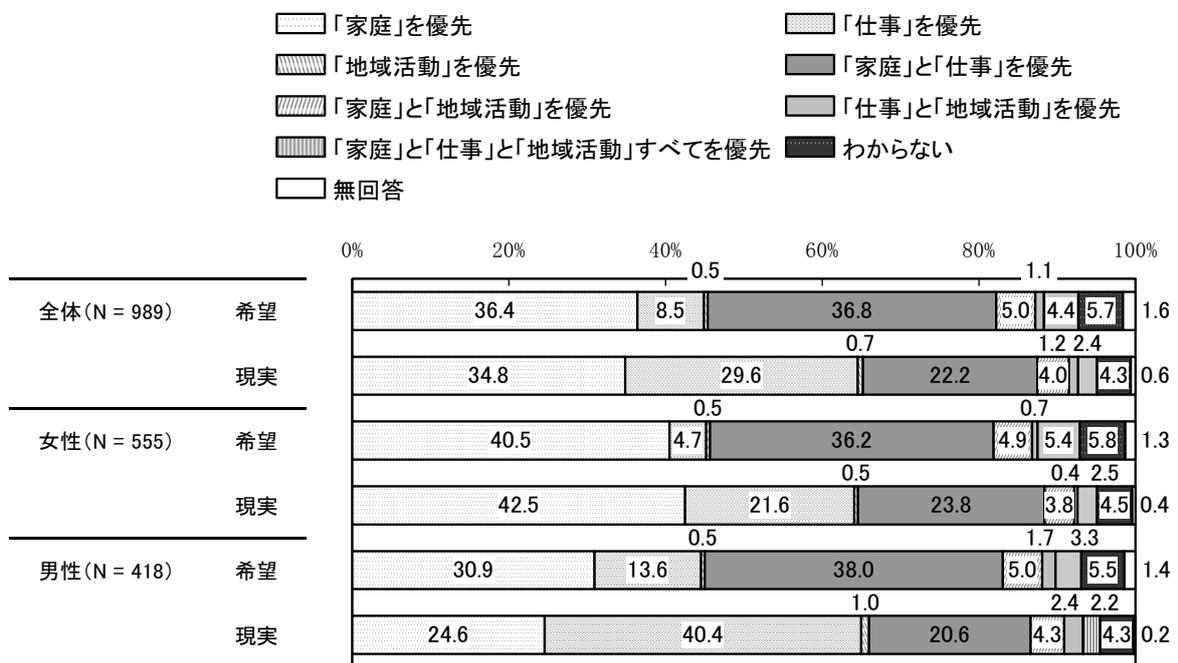
【性・婚姻別】



「家庭」、「仕事」、「地域活動」との優先順位の希望と現実について比較すると、全体では、「『仕事』を優先」の割合が希望の8.5%に対し、現実には29.6%と増加しており、「『家庭』を優先」「『家庭』と『仕事』を優先」と「『家庭』と『仕事』と『地域活動』すべてを優先」において、現実には希望に対し減少している。

性別で見ると、男女ともに希望に対し現実の「『仕事』を優先」の割合が増加しており、「『家庭』と『仕事』を優先」の割合が減少する傾向は、全体と同様になっているが、女性の「『家庭』を優先」の割合については、希望が40.5%に対して現実が42.5%と増加している。

【「家庭」、「仕事」、「地域活動」の関わり方（希望と現実） 性別】



国・愛知県との比較でみると、国、県に比べ、豊橋市で「『家庭』を優先している」の割合が高くなっている。

豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成 26 年に比べ、平成 28 年で「『仕事』を優先している」の割合が高く、「『家庭』を優先している」の割合が低くなっている。

【国・愛知県との比較・経年比較】

単位：%

	「家庭」を優先している	「仕事」を優先している	「地域活動」を優先している	「家庭」と「仕事」をともに優先している	「家庭」と「地域活動」をともに優先している	「仕事」と「地域活動」をともに優先している	「家庭」と「仕事」と「地域活動」をすべて優先している	その他	わからない	無回答
国（H28.9）	30.5	25.5	4.6	21.6	8.0	3.2	5.3	—	1.3	—
女性	41.5	15.8	3.4	21.3	9.3	2.5	5.0	—	1.1	—
男性	17.5	37.0	6.1	21.9	6.5	4.0	5.6	—	1.4	—
愛知県（H26.11）	22.3	39.2	2.3	18.2	5.3	3.0	3.5	1.2	3.1	1.8
女性	35.1	24.7	2.3	18.4	7.5	2.7	3.7	1.2	3.0	1.4
男性	7.4	55.9	2.3	18.3	2.8	3.7	3.2	1.2	3.5	1.5
豊橋市（H28.8）	34.8	29.6	0.7	22.2	4.0	1.2	2.4	—	4.3	0.6
女性	42.5	21.6	0.5	23.8	3.8	0.4	2.5	—	4.5	0.4
男性	24.6	40.4	1.0	20.6	4.3	2.4	2.2	—	4.3	0.2
豊橋市（H26.9）	38.3	26.7	0.5	20.6	2.7	0.8	1.8	—	5.3	3.3
女性	45.9	18.9	0.3	21.7	2.8	—	1.3	—	4.5	4.5
男性	29.7	35.5	0.8	19.0	2.5	1.7	2.3	—	6.4	1.9
豊橋市（H23.6）	32.5	21.7	0.6	30.3	4.3	1.0	4.1	—	3.6	1.8
女性	42.6	14.6	0.0	29.9	5.5	0.3	2.7	—	3.0	1.5
男性	19.2	31.1	1.5	31.3	3.0	1.9	5.8	—	4.3	1.7

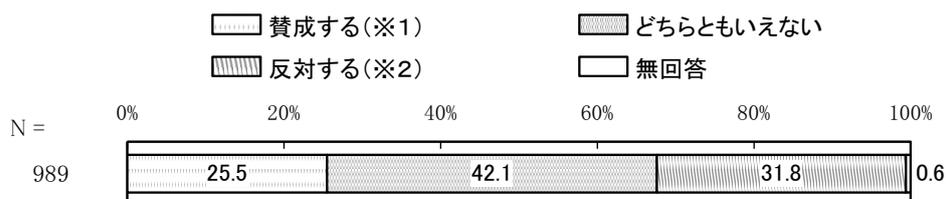
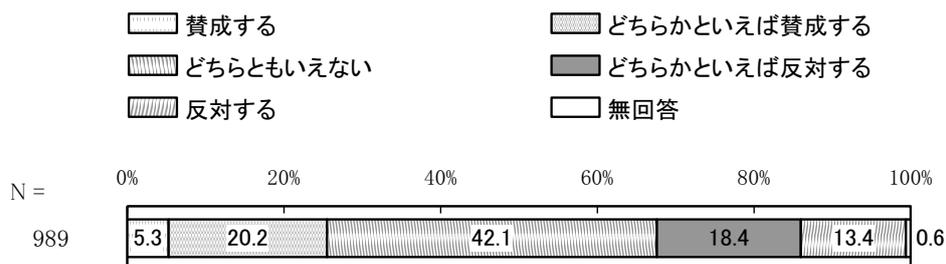
## 5 男女の働き方について

### 5-1 性別役割分担意識

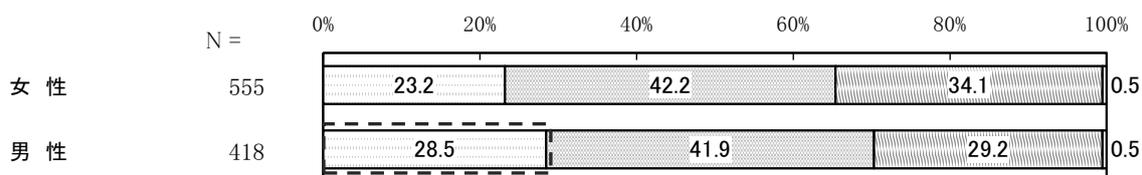
問9. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

“賛成する（※1）”の割合が25.5%、“反対する（※2）”の割合が31.8%、「どちらともいえない」の割合が42.1%となっている。

性別でみると、女性に比べ、男性で“賛成する（※1）”の割合が高くなっている。



#### 【性別】

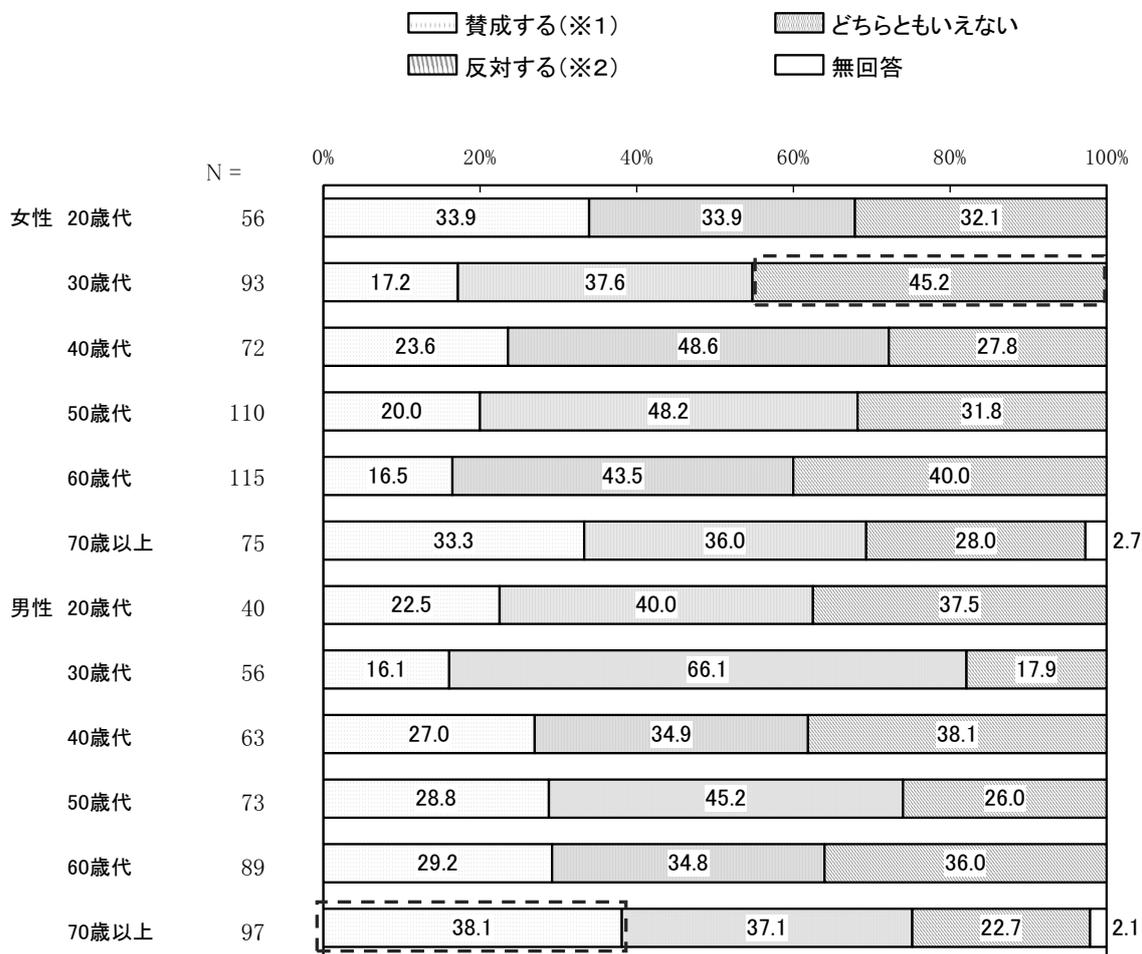


※1：「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計

※2：「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

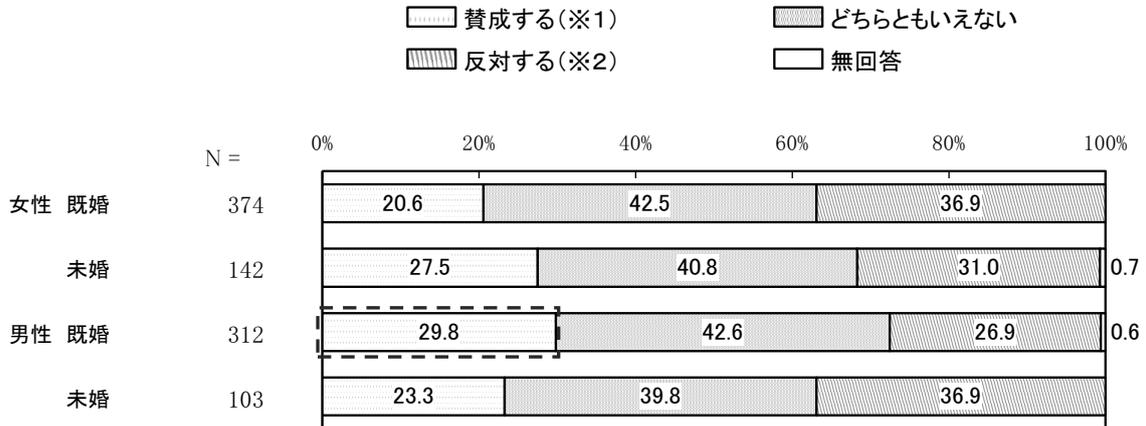
性・年代別で見ると、他に比べ、男性 70 歳以上で“賛成する（※1）”の割合が高く、女性 30 代で“反対する（※2）”の割合が高くなっている。

【性・年代別】



性・婚姻別で見ると、他に比べ、男性既婚で“賛成する（※1）”の割合が高くなっている。  
 性・共働き別で見ると、他に比べ、男性共働きしていないで“賛成する（※1）”の割合が高くなっている。また、女性共働きしているで“反対する（※2）”の割合が高くなっている。

【性・婚姻別】



【性・共働き別】



※1：「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計  
 ※2：「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

豊橋市の過去の調査との比較でみると、過去の調査に比べ、平成 28 年で“賛成する”の割合が最も低くなっている。

【国・愛知県との比較・経年比較】

単位：％

	賛成する そう思う (A)	どちらかといえば賛成する どちらかといえばそう思う (B)	どちらともいえない	どちらかといえば反対する どちらかといえばそうは思わない (C)	反対する そうは思わない (D)	わからない	無回答	賛成する 肯定的 (A+B)	反対する 否定的 (C+D)
国 (H28.9)	8.8	31.7	—	34.8	19.5	5.1	—	40.5	54.3
女性	8.3	28.7	—	37.0	21.5	4.5	—	37.0	58.5
男性	9.4	35.3	—	32.2	17.2	5.8	—	44.7	49.4
愛知県 (H26.11)	7.4	38.5	—	26.7	13.6	11.9	1.9	45.9	40.3
女性	6.1	35.4	—	28.2	15.8	12.9	1.5	41.5	44.0
男性	8.5	42.5	—	25.4	10.8	11.1	1.7	51.0	36.2
豊橋市 (H28.8)	5.3	20.2	42.1	18.4	13.4	—	0.6	25.5	31.8
女性	5.6	17.7	42.2	18.7	15.3	—	0.5	23.3	34.0
男性	4.8	23.7	41.9	17.9	11.2	—	0.5	28.5	29.1
豊橋市 (H26.9)	5.9	23.0	39.2	17.1	12.6	—	2.2	28.9	29.7
女性	4.5	19.4	39.1	20.2	13.9	—	2.8	23.9	34.1
男性	7.4	27.2	39.8	13.4	10.9	—	1.4	34.6	24.3
豊橋市 (H23.6)	7.2	31.3	26.4	12.6	20.7	—	1.9	38.5	33.3
女性	5.1	27.9	27.7	13.3	24.9	—	1.2	33.0	38.2
男性	9.9	35.9	24.8	11.4	15.6	—	2.4	45.8	27.0
豊橋市 (H20.5)	6.4	28.2	28.3	15.1	21.4	—	0.6	34.6	36.5
女性	5.1	23.6	29.6	17.5	24.0	—	0.2	28.7	41.5
男性	8.3	34.5	27.2	11.9	17.5	—	0.6	42.9	29.4
豊橋市 (H17.5)	7.4	31.0	28.3	11.7	19.1	—	2.6	38.4	30.8
女性	5.9	28.7	29.5	13.7	20.0	—	2.3	34.5	33.7
男性	9.8	33.4	26.9	9.1	18.0	—	2.8	43.2	27.1
豊橋市 (H13.8)	9.4	30.8	27.5	13.3	18.3	—	0.6	40.2	31.6
女性	6.7	27.8	27.4	17.0	20.5	—	0.6	34.5	37.5
男性	12.7	33.9	28.7	9.3	15.0	—	0.5	46.6	24.3

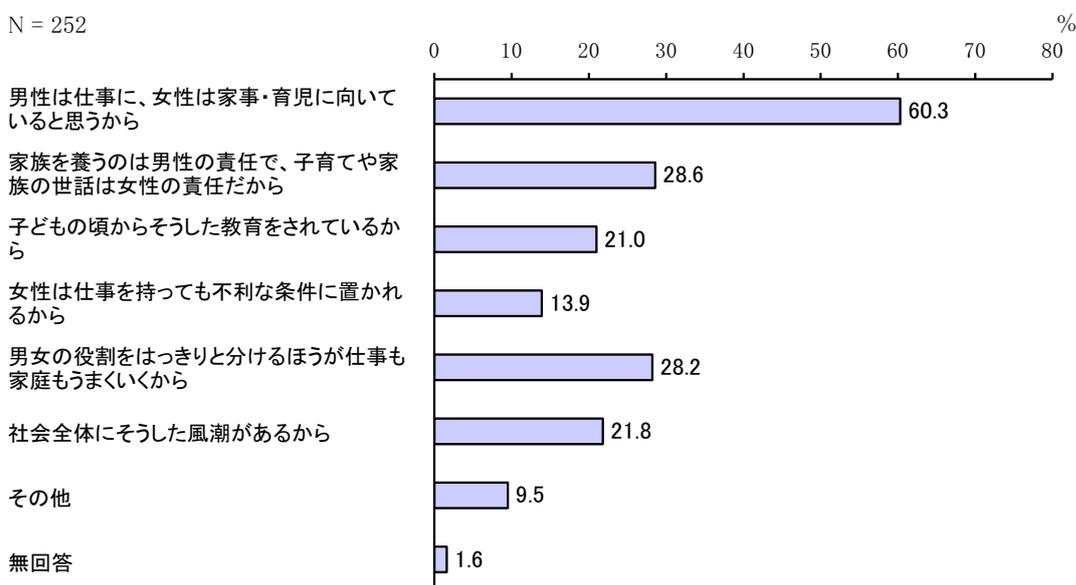
## 5-2 性別役割分担意識の理由

《問9で「1. 賛成する」、「2. どちらかといえば賛成する」と回答した方にお聞きします》

問9-1. そう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから」の割合が60.3%と最も高く、次いで「家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから」の割合が28.6%、「男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから」の割合が28.2%となっている。

性別でみると、女性に比べ、男性で「家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから」「男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから」「社会全体にそうした風潮があるから」の割合が高くなっている。



### 【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから	家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから	子どもの頃からそうした教育をされているから	女性は仕事を持っても不利な条件に置かれるから	男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから	社会全体にそうした風潮があるから	その他	無回答
女性	129	60.5	24.8	21.7	15.5	20.9	17.8	12.4	2.3
男性	119	60.5	32.8	19.3	12.6	35.3	26.1	6.7	0.8

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 40 歳代から 60 歳代で「男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから」の割合が高くなっている。また、男性 60 歳代で「家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

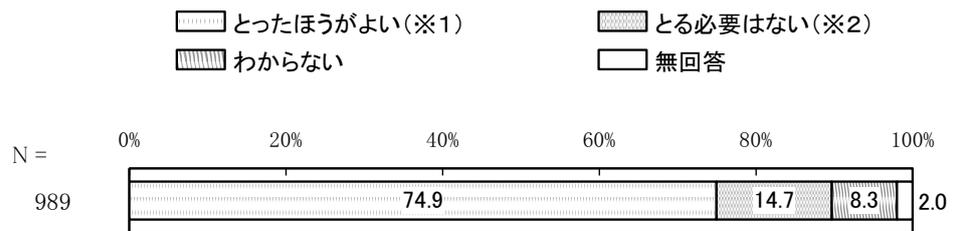
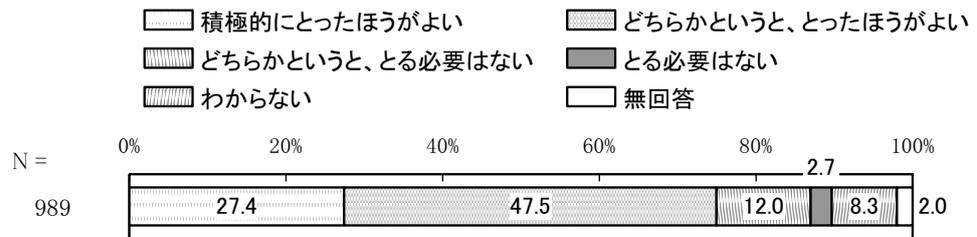
区分	有効回答数(件)	男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから	家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから	子どもの頃からそうした教育をされているから	女性は仕事を持つても不利な条件に置かれるから	男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから	社会全体にそうした風潮があるから	その他	無回答
女性 20 歳代	19	57.9	10.5	5.3	31.6	15.8	26.3	15.8	0.0
30 歳代	16	50.0	25.0	12.5	12.5	37.5	12.5	31.3	6.3
40 歳代	17	70.6	11.8	23.5	11.8	29.4	17.6	5.9	5.9
50 歳代	22	77.3	31.8	22.7	13.6	4.5	9.1	27.3	0.0
60 歳代	19	73.7	31.6	21.1	15.8	47.4	31.6	0.0	0.0
70 歳以上	25	44.0	36.0	40.0	16.0	4.0	16.0	0.0	0.0
男性 20 歳代	9	66.7	11.1	22.2	0.0	44.4	44.4	11.1	0.0
30 歳代	9	66.7	22.2	0.0	11.1	33.3	22.2	0.0	0.0
40 歳代	17	58.8	17.6	17.6	23.5	41.2	35.3	11.8	0.0
50 歳代	21	57.1	19.0	23.8	19.0	38.1	19.0	9.5	0.0
60 歳代	26	61.5	53.8	15.4	11.5	38.5	19.2	3.8	0.0
70 歳以上	37	59.5	40.5	24.3	8.1	27.0	27.0	5.4	2.7

### 5-3 男性が育児や介護で休みをとることについての考え方

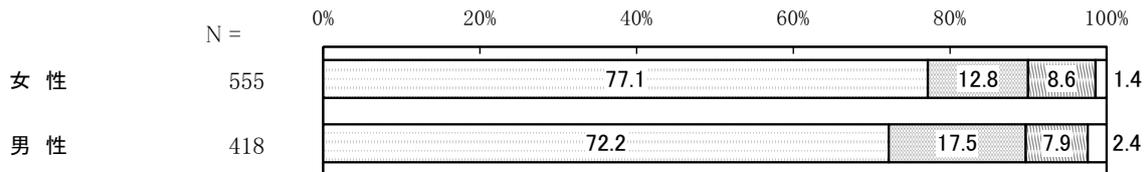
問10. 男性が育児や介護で休みをとることについて、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

“とったほうがよい(※1)”の割合が74.9%、“とる必要はない(※2)”の割合が14.7%となっている。

性別でみると、大きな差異はみられない。



#### 【性別】



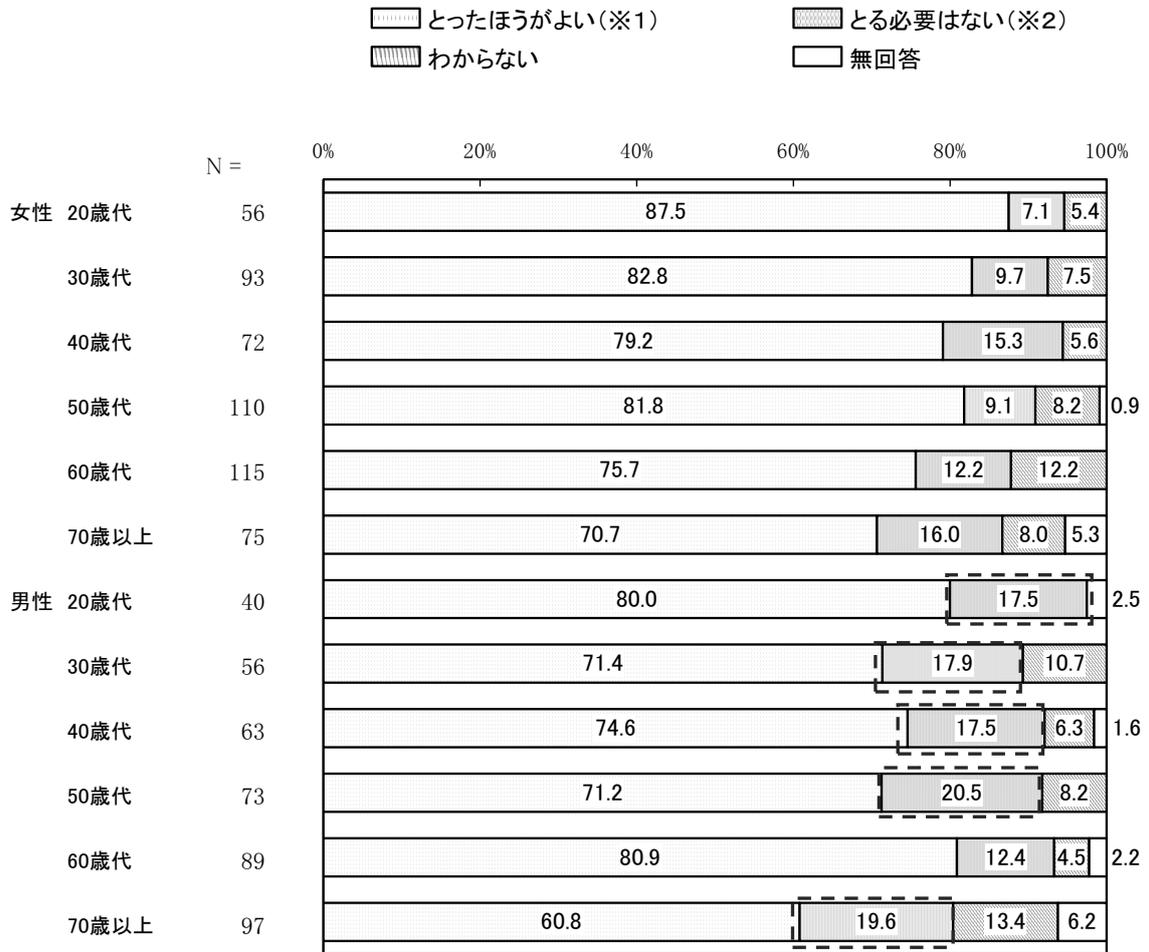
※1:「積極的にとったほうがよい」と「どちらかという、とったほうがよい」の計

※2:「どちらかという、とる必要はない」と「とる必要はない」の計

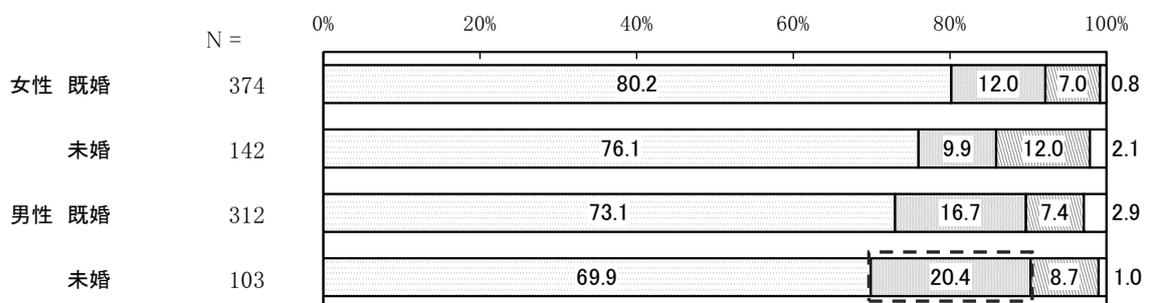
性・年代別で見ると、60歳代を除く男性のすべての年代で“とる必要はない（※2）”の割合が高くなっている。

性・婚姻別で見ると、他に比べ、男性未婚で“とる必要はない（※2）”の割合が高くなっている。

【性・年代別】



【性・婚姻別】



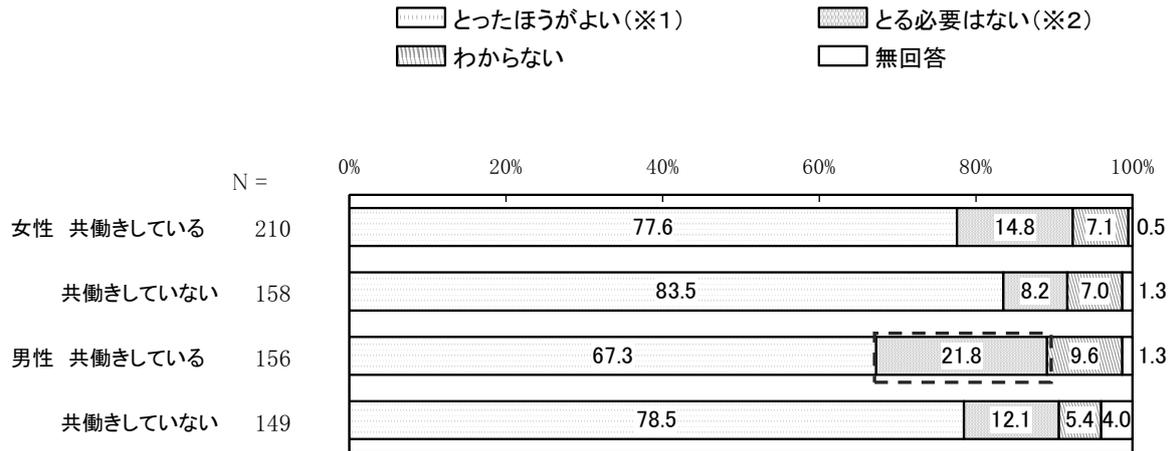
※1：「積極的にとったほうがよい」と「どちらかという、とったほうがよい」の計

※2：「どちらかという、とる必要はない」と「とる必要はない」の計

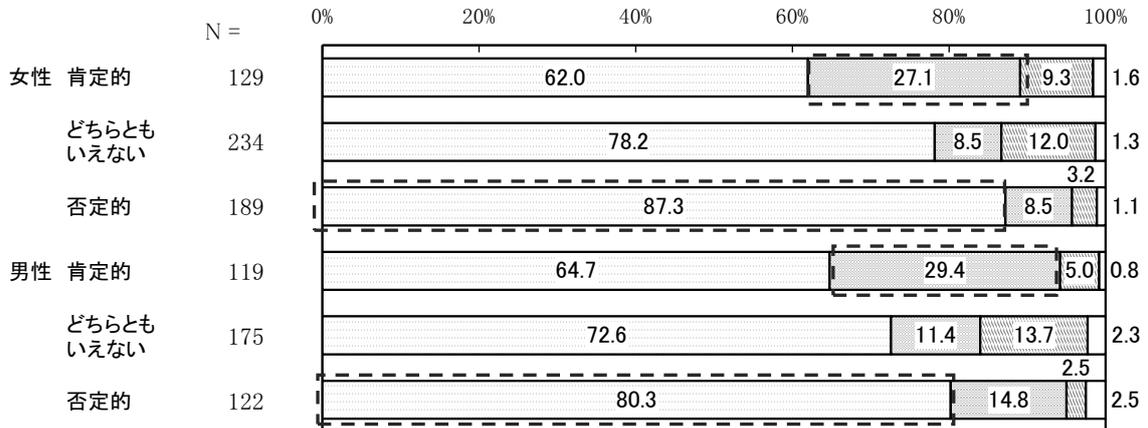
性・共働き別でみると、他に比べ、男性共働きをしているで“とる必要はない(※2)”の割合が高くなっている。

性別役割分担意識別でみると、男女とも肯定的で“とる必要はない(※2)”の割合が高く、否定的で“とったほうがよい(※1)”の割合が高くなっている。

【性・共働き別】



【性別役割分担意識別】



※1 : 「積極的にとったほうがよい」と「どちらかという、とったほうがよい」の計

※2 : 「どちらかという、とる必要はない」と「とる必要はない」の計

豊橋市の過去の調査との比較で見ると、平成 26 年に比べ、平成 28 年で「どちらかというのと、とる必要はない」の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：％

	積極的にとったほうがよい	どちらかというのと、とったほうがよい	どちらかというのと、とる必要はない	とる必要はない	わからない	無回答	とったほうがよい※1	とる必要はない※2
豊橋市 (H28.8)	27.4	47.5	12.0	2.7	8.3	2.0	74.9	14.7
女性	30.6	46.5	10.3	2.5	8.6	1.4	77.1	12.8
男性	23.4	48.8	14.8	2.6	7.9	2.4	72.2	17.4
豊橋市 (H26.9)	29.2	47.5	7.5	2.3	10.5	3.1	76.7	9.8
女性	34.8	43.1	6.3	1.5	10.3	4.0	77.9	7.8
男性	22.7	52.6	8.5	3.3	10.9	1.9	75.3	11.8
豊橋市 (H23.6)	27.3	43.9	14.4	2.7	10.0	1.7	71.2	17.1
女性	29.4	44.8	13.4	1.8	9.0	1.7	74.1	15.3
男性	24.8	42.3	16.0	3.5	11.7	1.7	67.2	19.4

※1：「積極的にとったほうがよい」と「どちらかというのと、とったほうがよい」の計

※2：「どちらかというのと、とる必要はない」と「とる必要はない」の計

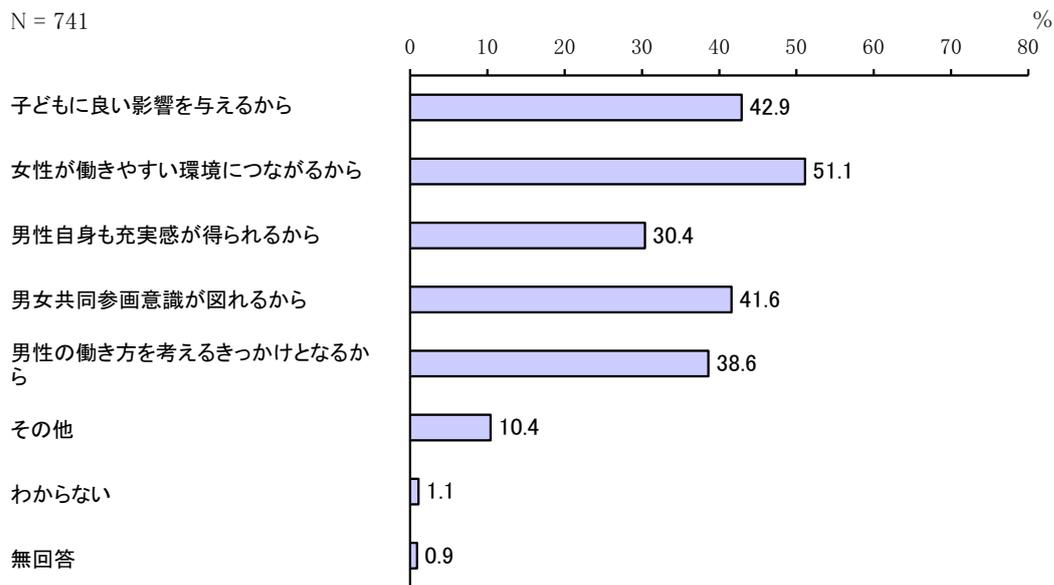
## 5-4 男性が育児・介護で休みをとったほうがよい理由

《問 10 で「1. 積極的にとったほうがよい」、「2. どちらかという、とったほうがよい」と回答した方にお聞きします。》

問 10-1. そう思われる理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。

「女性が働きやすい環境につながるから」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「子どもに良い影響を与えるから」の割合が 42.9%、「男女共同参画意識が図れるから」の割合が 41.6%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で「女性が働きやすい環境につながるから」「男性自身も充実感が得られるから」の割合が高くなっている。



### 【性別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	子どもに良い影響を与えるから	女性が働きやすい環境につながるから	男性自身も充実感が得られるから	男女共同参画意識が図れるから	男性の働き方を考えるきっかけとなるから	その他	わからない	無回答
女性	428	41.8	55.4	33.4	39.3	37.4	12.4	1.2	0.7
男性	302	45.0	45.7	26.5	43.7	40.7	7.3	1.0	1.3

性・年代別でみると、他に比べ、女性 60 歳代で「女性が働きやすい環境につながるから」の割合が、男性 30 歳代で「男性の働き方を考えるきっかけとなるから」の割合が高くなっている。また、男女とも 20 歳代、30 歳代で「子どもに良い影響を与えるから」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	子どもに良い影響を与えるから	女性が働きやすい環境につながるから	男性自身も充実感が得られるから	男女共同参画意識が図れるから	男性の働き方を考えるきっかけとなるから	その他	わからない	無回答
女性 20 歳代	49	57.1	55.1	32.7	28.6	44.9	14.3	0.0	0.0
30 歳代	77	53.2	50.6	28.6	35.1	40.3	27.3	1.3	0.0
40 歳代	57	43.9	52.6	40.4	54.4	42.1	12.3	3.5	0.0
50 歳代	90	31.1	48.9	31.1	33.3	42.2	11.1	0.0	1.1
60 歳代	87	36.8	69.0	33.3	42.5	28.7	6.9	1.1	0.0
70 歳以上	53	35.8	56.6	37.7	45.3	30.2	1.9	0.0	3.8
男性 20 歳代	32	59.4	40.6	40.6	18.8	43.8	15.6	3.1	0.0
30 歳代	40	55.0	50.0	27.5	37.5	60.0	2.5	0.0	0.0
40 歳代	47	48.9	38.3	27.7	42.6	31.9	19.1	4.3	2.1
50 歳代	52	28.8	42.3	19.2	55.8	46.2	5.8	0.0	0.0
60 歳代	72	43.1	48.6	26.4	44.4	38.9	4.2	0.0	1.4
70 歳以上	59	44.1	50.8	23.7	50.8	30.5	1.7	0.0	3.4

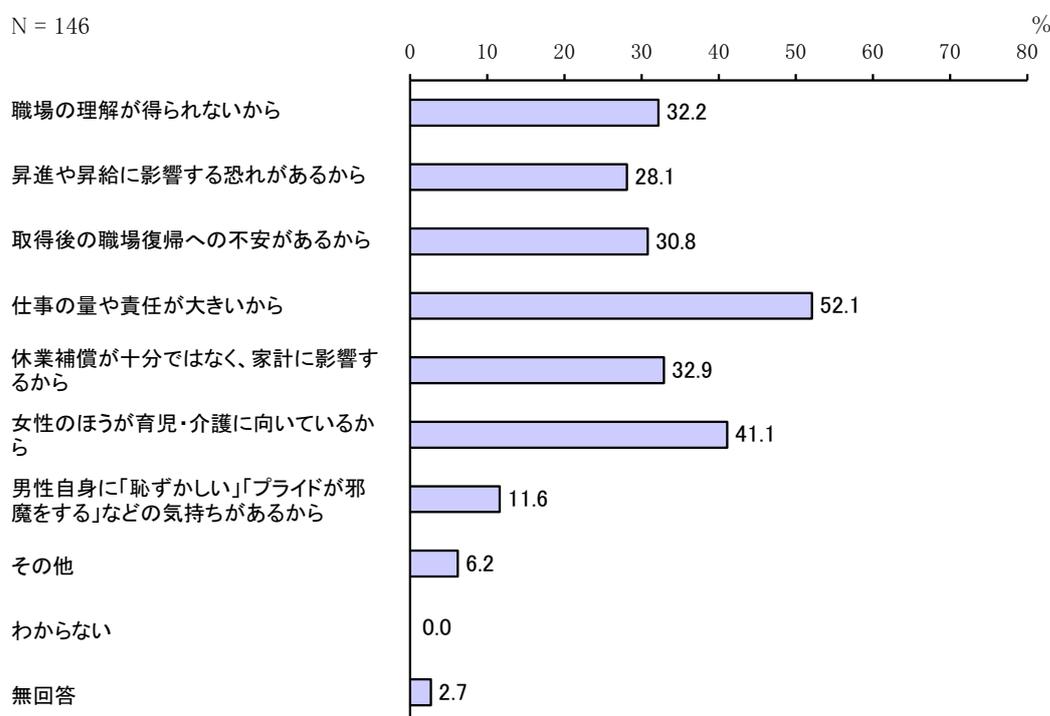
## 5-5 男性が育児・介護で休みをとらないほうがよい理由

《問10で「3どちらかという、とる必要はない」、「4とる必要はない」と回答した方にお聞きします。》

問10-2. そう思われる理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。

「仕事の量や責任が大きいから」の割合が52.1%と最も高く、次いで「女性のほうが育児・介護に向いているから」の割合が41.1%、「休業補償が十分ではなく、家計に影響するから」の割合が32.9%となっている。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「女性のほうが育児・介護に向いているから」の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「職場の理解が得られないから」「仕事の量や責任が大きいから」「休業補償が十分ではなく、家計に影響するから」の割合が高くなっている。



### 【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	職場の理解が得られないから	昇進や昇給に影響する恐れがあるから	取得後の職場復帰への不安があるから	仕事の量や責任が大きいから	休業補償が十分ではなく、家計に影響するから	女性のほうが育児・介護に向いているから	男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから	その他	わからない	無回答
女性	71	28.2	29.6	32.4	45.1	28.2	46.5	14.1	7.0	0.0	2.8
男性	73	37.0	27.4	30.1	57.5	38.4	35.6	9.6	5.5	0.0	2.7

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 50 歳代、男性 30 歳代から 50 歳代で「仕事の量や責任が大きいから」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	職場の理解が得られないから	昇進や昇給に影響する恐れがあるから	取得後の職場復帰への不安があるから	仕事の量や責任が大きいから	休業補償が十分ではなく、家計に影響するから	女性のほうが育児・介護に向いているから	男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから	その他	わからない	無回答
女性 20 歳代	4	75.0	50.0	75.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
30 歳代	9	44.4	44.4	44.4	44.4	22.2	55.6	22.2	22.2	0.0	0.0
40 歳代	11	18.2	36.4	18.2	45.5	9.1	63.6	0.0	9.1	0.0	0.0
50 歳代	10	40.0	40.0	60.0	90.0	30.0	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0
60 歳代	14	35.7	14.3	35.7	35.7	42.9	35.7	21.4	0.0	0.0	0.0
70 歳以上	12	16.7	25.0	16.7	16.7	16.7	50.0	8.3	0.0	0.0	16.7
男性 20 歳代	7	14.3	14.3	42.9	57.1	28.6	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0
30 歳代	10	60.0	50.0	30.0	80.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40 歳代	11	54.5	27.3	36.4	72.7	27.3	36.4	18.2	0.0	0.0	0.0
50 歳代	15	33.3	26.7	33.3	80.0	33.3	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0
60 歳代	11	36.4	36.4	36.4	36.4	54.5	36.4	18.2	0.0	0.0	0.0
70 歳以上	19	26.3	15.8	15.8	31.6	36.8	47.4	10.5	5.3	0.0	10.5

豊橋市の平成 26 年の調査との比較でみると、「仕事の量や責任が大きいから」「女性のほうが育児・介護に向いているから」の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：%

	職場の理解が得られないから	昇進や昇給に影響する恐れがあるから	取得後の職場復帰への不安があるから	仕事の量や責任が大きいから	休業補償が十分ではなく、家計に影響するから	女性のほうが育児・介護に向いているから	男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから	その他	わからない	無回答
豊橋市（H28.8）	32.2	28.1	30.8	52.1	32.9	41.1	11.6	6.2	0.0	2.7
女性	28.2	29.6	32.4	45.1	28.2	46.5	14.1	7.0	0.0	2.8
男性	37.0	27.4	30.1	57.5	38.4	35.6	9.6	5.5	0.0	2.7
豊橋市（H26.9）	66.1	46.3	46.5	46.5	41.4	16.5	27.2	2.9	5.0	3.0
女性	73.5	50.1	49.1	47.3	46.8	15.9	33.3	3.3	3.2	3.8
男性	57.7	41.9	43.5	45.4	35.1	17.1	19.8	2.5	7.2	1.9
豊橋市（H23.6）	63.9	42.6	44.4	46.3	43.4	17.5	30.9	3.9	2.2	1.4
女性	68.3	45.8	46.4	43.8	47.3	16.1	37.5	3.8	2.0	1.3
男性	58.3	38.4	42.3	50.1	38.2	19.2	21.8	4.1	2.6	1.5

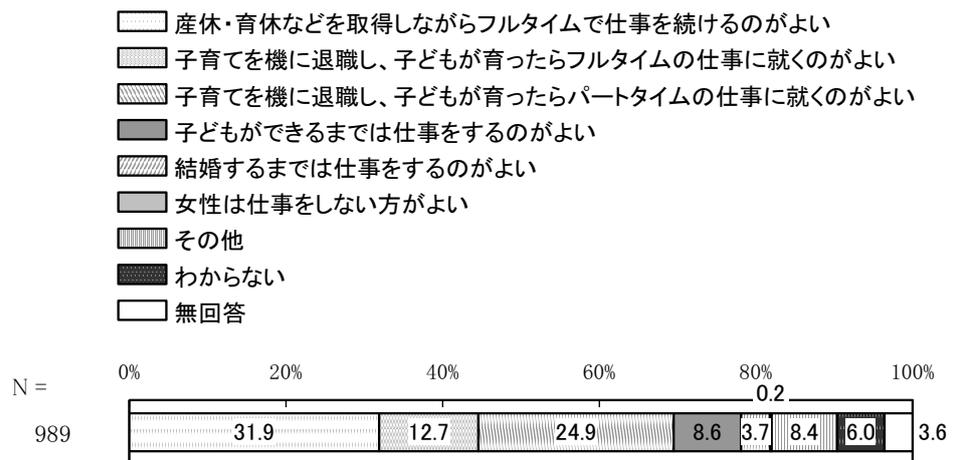
※平成 28 年調査では、「どちらかというと、とる必要はない」「とる必要はない」と回答した人が答えています。

## 5-6 女性の就労についての考え方

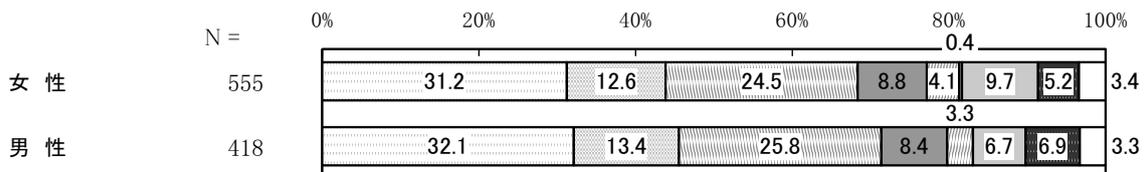
問 11. 女性が仕事をする事について、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「産休・育休などを取得しながらフルタイムで仕事を続けるのがよい」の割合が31.9%と最も高く、次いで「子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい」の割合が24.9%、「子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい」の割合が12.7%となっている。

性別でみると、大きな差異はみられない。

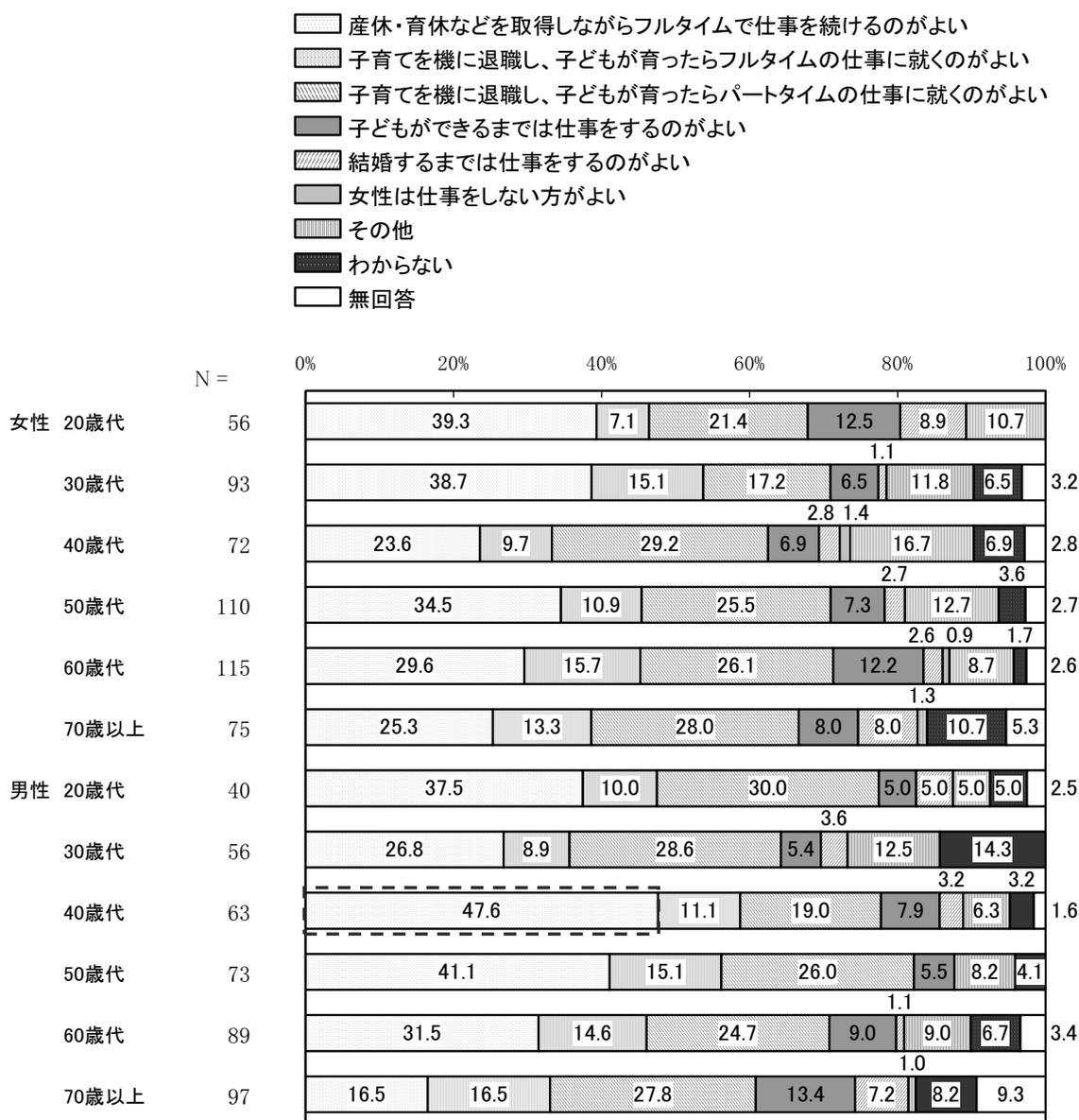


### 【性別】



性・年代別で見ると、他に比べ、男性 40 歳代で「産休・育休などを取得しながらフルタイムで仕事を続けるのがよい」の割合が高くなっている。

【性・年代別】



豊橋市の平成 26 年の調査との比較でみると、「産休・育休などを取得しながらフルタイムで仕事を続けるのがよい」の割合が低くなっている。

【経年比較】

単位：％

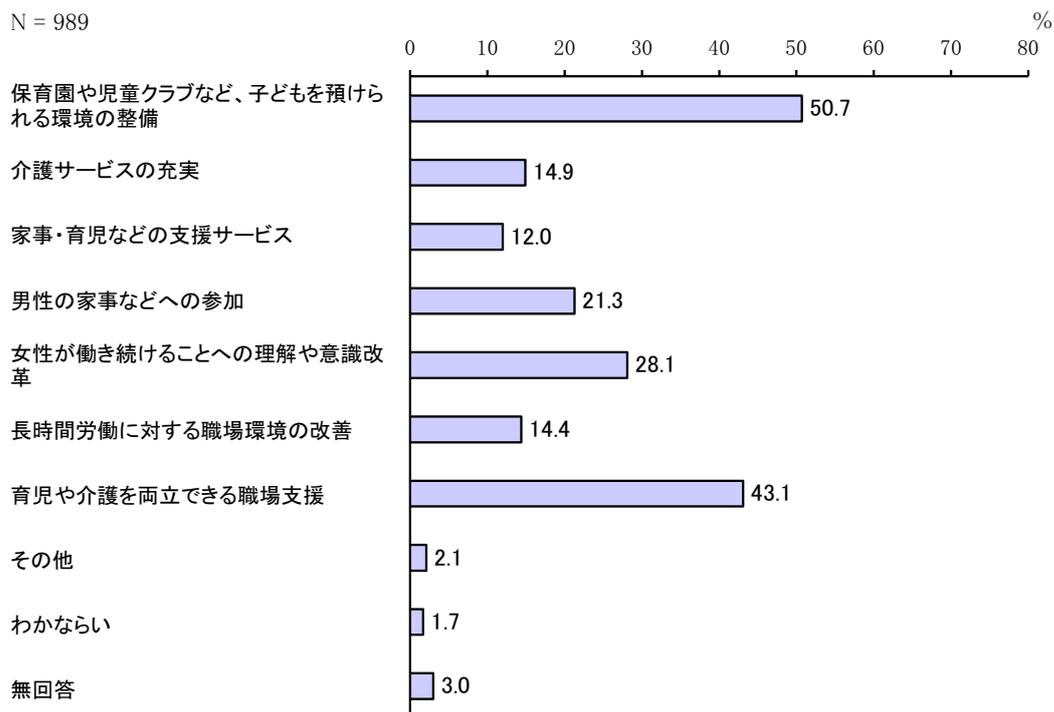
	産休・育休などを取得しながらフルタイムで仕事を続けるのがよい	子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい	子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい	子どもができるまでは仕事をしないのがよい	結婚するまでは仕事をしないのがよい	女性は仕事をしない方がよい	その他	わからない	無回答
豊橋市（H28.8）	31.9	12.7	24.9	8.6	3.7	0.2	8.4	6.0	3.6
女性	31.2	12.6	24.5	8.8	4.1	0.4	9.7	5.2	3.4
男性	32.1	13.4	25.8	8.4	3.3	0.0	6.7	6.9	3.3
豊橋市（H26.9）	44.4	10.0	20.6	7.0	2.8	0.5	3.2	6.1	5.3
女性	42.1	9.3	23.2	6.3	3.6	0.3	3.8	5.6	5.6
男性	47.0	10.9	17.5	7.8	1.9	0.8	2.5	6.8	4.9

## 5-7 女性の就労継続に必要な事項

問 12. 女性が働き続けるために、家庭、仕事、地域などで必要と思うことについて、次の中から2つ選んで○をつけてください。

「保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」の割合が50.7%と最も高く、次いで「育児や介護を両立できる職場支援」の割合が43.1%、「女性が働き続けることへの理解や意識改革」の割合が28.1%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で「男性の家事などへの参加」「育児や介護を両立できる職場支援」の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「家事・育児などの支援サービス」「長時間労働に対する職場環境の改善」の割合が高くなっている。



### 【性別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	介護サービスの充実	家事・育児などの支援サービス	男性の家事などへの参加	女性が働き続けることへの理解や意識改革	長時間労働に対する職場環境の改善	育児や介護を両立できる職場支援	その他	わかならい	無回答
女性	555	48.5	14.8	9.7	24.7	28.6	11.9	46.8	2.3	2.0	2.7
男性	418	53.1	15.3	15.1	17.0	27.3	18.2	38.3	1.9	1.2	3.3

性・年代別で見ると、他に比べ、男性 20 歳代、60 歳代で「保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」の割合が、女性 40 歳代、50 歳代で「育児や介護を両立できる職場支援」の割合が高くなっている。また、女性 20 歳代、30 歳代で「男性の家事などへの参加」の割合が、男性 20 歳代から 40 歳代で「長時間労働に対する職場環境の改善」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	介護サービスの充実	家事・育児などの支援サービス	男性の家事などへの参加	女性が働き続けることへの理解や意識改革	長時間労働に対する職場環境の改善	育児や介護を両立できる職場支援	その他	わからない	無回答
女性 20 歳代	56	46.4	3.6	8.9	<u>35.7</u>	25.0	17.9	46.4	0.0	1.8	5.4
30 歳代	93	53.8	6.5	8.6	<u>37.6</u>	26.9	14.0	40.9	2.2	0.0	4.3
40 歳代	72	44.4	11.1	13.9	26.4	26.4	15.3	<u>51.4</u>	4.2	1.4	1.4
50 歳代	110	43.6	18.2	8.2	23.6	28.2	12.7	<u>51.8</u>	4.5	1.8	1.8
60 歳代	115	54.8	21.7	6.1	18.3	38.3	10.4	47.0	0.0	0.0	0.9
70 歳以上	75	41.3	25.3	17.3	14.7	26.7	5.3	44.0	1.3	5.3	4.0
男性 20 歳代	40	<u>57.5</u>	7.5	12.5	10.0	30.0	<u>30.0</u>	40.0	5.0	0.0	2.5
30 歳代	56	53.6	1.8	19.6	21.4	28.6	<u>39.3</u>	28.6	3.6	0.0	1.8
40 歳代	63	49.2	12.7	19.0	25.4	14.3	<u>28.6</u>	31.7	0.0	0.0	6.3
50 歳代	73	49.3	28.8	17.8	16.4	23.3	11.0	42.5	2.7	1.4	0.0
60 歳代	89	<u>57.3</u>	19.1	14.6	14.6	25.8	10.1	43.8	2.2	2.2	1.1
70 歳以上	97	52.6	14.4	9.3	14.4	38.1	7.2	39.2	0.0	2.1	7.2

性・婚姻別でみると、他に比べ、女性既婚で「育児や介護を両立できる職場支援」の割合が高くなっている。また、男性未婚で「長時間労働に対する職場環境の改善」の割合が高くなっている。

性・共働き別でみると、他に比べ、男性共働きしていないで「保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」の割合が高くなっている。また、女性共働きしているで「男性の家事などへの参加」の割合が高くなっている。

### 【性・婚姻別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	介護サービスの充実	家事・育児などの支援サービス	男性の家事などへの参加	女性が働き続けることへの理解や意識改革	長時間労働に対する職場環境の改善	育児や介護を両立できる職場支援	その他	わからない	無回答
女性 既婚	374	47.9	16.3	10.2	24.9	30.2	11.8	50.0	1.6	0.5	1.9
未婚	142	48.6	14.1	9.2	26.8	26.8	14.1	40.8	2.8	4.2	3.5
男性 既婚	312	52.9	16.0	14.7	17.0	28.2	16.0	39.4	1.6	1.3	3.8
未婚	103	54.4	13.6	15.5	16.5	24.3	24.3	35.0	2.9	1.0	1.9

### 【性・共働き別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	介護サービスの充実	家事・育児などの支援サービス	男性の家事などへの参加	女性が働き続けることへの理解や意識改革	長時間労働に対する職場環境の改善	育児や介護を両立できる職場支援	その他	わからない	無回答
女性 共働きしている	210	46.2	16.7	9.5	27.6	27.6	12.9	49.0	1.9	0.5	2.9
共働きしていない	158	48.7	14.6	11.4	21.5	34.8	10.1	51.9	1.3	0.6	0.6
男性 共働きしている	156	51.3	19.2	17.9	16.0	26.9	19.2	33.3	1.9	0.6	4.5
共働きしていない	149	56.4	12.8	11.4	17.4	29.5	13.4	45.6	1.3	2.0	2.0

国との比較でみると、すべての項目で、国より低い数値となっている。

【国との比較】

単位：％

	保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	介護支援サービスの充実	家事・育児支援サービスの充実	男性の家事参加への理解・意識改革	女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革	働き続けることへの女性自身の意識改革	男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革	職場における育児・介護との両立支援制度の充実	短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入	育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止	その他	特にない	わからない	無回答
国（H26.8）	71.6	33.6	47.1	48.6	49.6	25.8	25.9	44.4	30.4	23.7	0.4	0.7	1.6	—
女性	74.8	37.8	47.9	51.5	51.6	25.5	27.1	46.3	33.5	24.6	0.2	0.5	2.0	—
男性	67.5	28.3	46.1	45.0	47.0	26.3	24.5	42.1	26.4	22.6	0.5	0.9	1.3	—
豊橋市（H28.8）	50.7	14.9	12.0	21.3	28.1	—	14.4	43.1	—	—	2.1	—	1.7	3.0
女性	48.5	14.8	9.7	24.7	28.6	—	11.9	46.8	—	—	2.3	—	2.0	2.7
男性	53.1	15.3	15.1	17.0	27.3	—	18.2	38.3	—	—	1.9	—	1.2	3.3

※豊橋市の平成28年調査では、「働き続けることへの女性自身の意識改革」「短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入」「育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止」「特にない」の選択肢はありません。

## 5-8 女性の再就職における基準

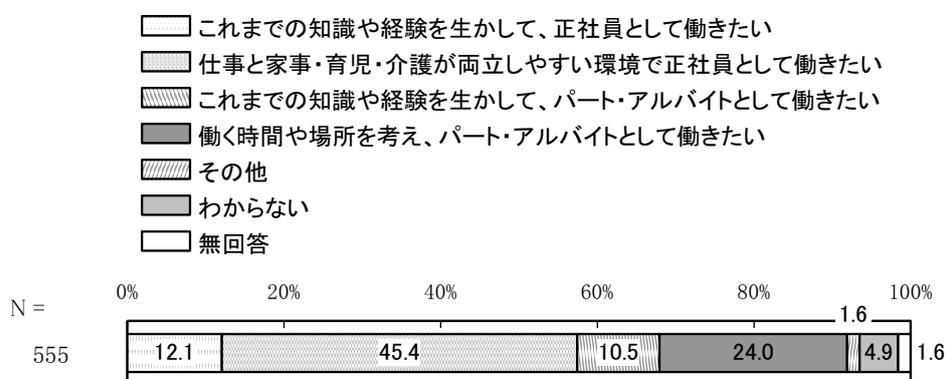
《女性にお聞きします》

問 13. 離職した女性が、再就職を考えたとき何を基準にしたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

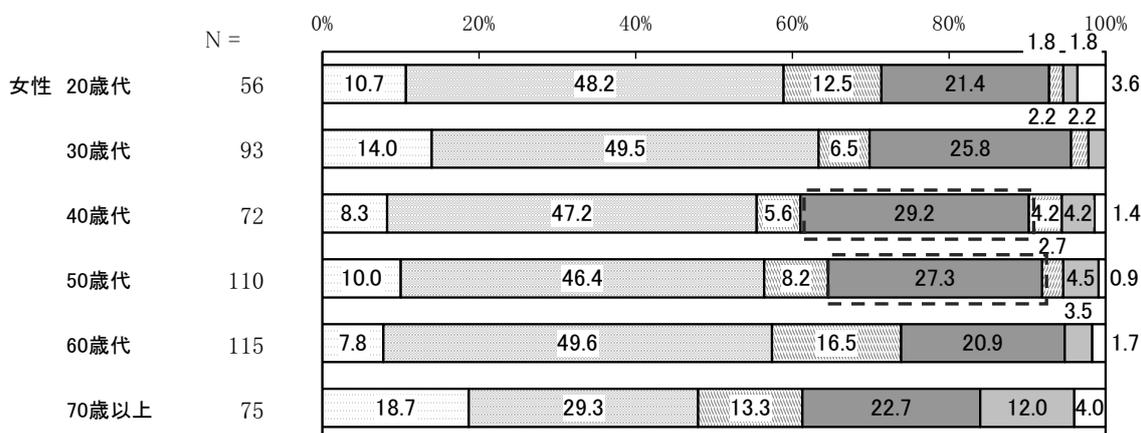
「仕事と家事・育児・介護が両立しやすい環境で正社員として働きたい」の割合が45.4%と最も高く、次いで「働く時間や場所を考え、パート・アルバイトとして働きたい」の割合が24.0%、「これまでの知識や経験を生かして、正社員として働きたい」の割合が12.1%となっている。

年代別で見ると、他に比べ、40歳代、50歳代で「働く時間や場所を考え、パート・アルバイトとして働きたい」の割合が高くなっている。

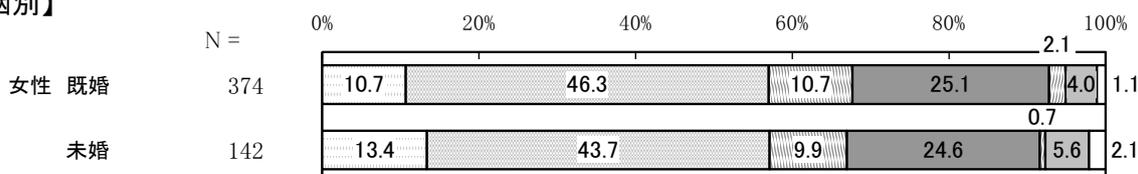
婚姻別で見ると、大きな差異はみられない。



### 【年代別】



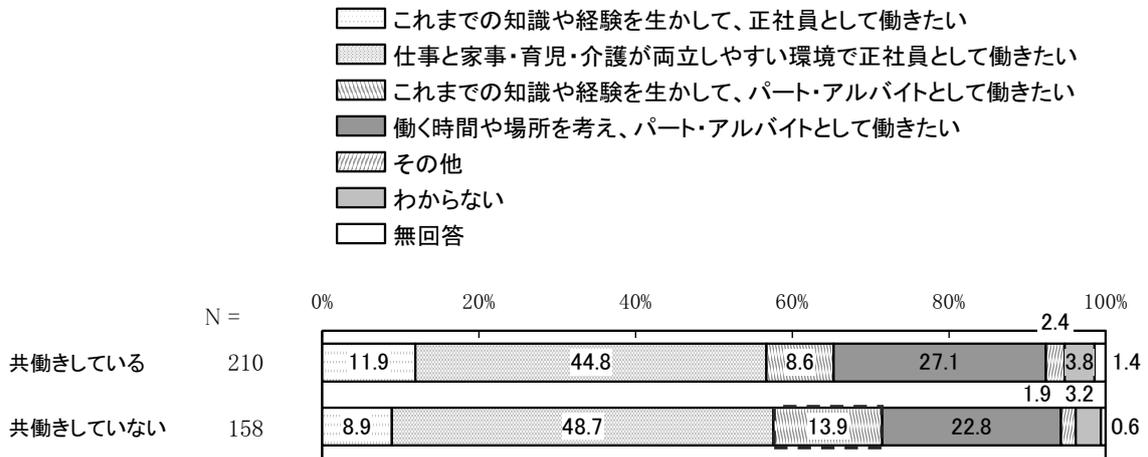
### 【婚姻別】



共働き別でみると、共働きしている人に比べ、共働きしていない人で「これまでの知識や経験を生かして、パート・アルバイトとして働きたい」の割合が高くなっている。

国との比較でみると、すべての項目で、国より低い数値となっている。

【共働き別】



【国との比較】

単位：％

	これまでの知識・経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する	仕事と家事・育児・介護の両立しやすいなどを重視し、正社員として再就職する	これまでの知識・経験を生かして働けることと、働く時間や場所の両方を重視して、パート・アルバイトなどで再就職する	これまでの知識・経験を生かして働けることと、働く時間や場所の両方を重視して、パート・アルバイトなどで再就職する	家事・育児・介護の経験を生かした仕事により地域に貢献する（ヘルパー、保育補助、家事代行など）	これまでの経験を生かしてボランティアやNPO活動で地域に貢献する（育児・介護ボランティア、PTA、防災・治安パトロール、リサイクル活動など）	これまでの経験を生かして起業又はNPOの立ち上げを行う（小売店経営、IT企業設立、ボランティア団体設立など）	家事以外で活動する必要はない	その他	特にない	わからない	無回答
国（H26.8）	55.4	53.1	37.7	27.7	20.0	12.5	9.3	1.3	0.6	0.9	1.7	—
女性	52.7	53.8	39.9	30.4	20.0	12.4	8.0	1.1	0.4	0.8	1.8	—
男性	58.7	52.3	34.9	24.2	20.1	12.7	10.8	1.6	0.8	1.0	1.6	—
豊橋市（H28.8）	12.1	45.4	10.5	24.0	—	—	—	—	1.6	—	4.9	1.6

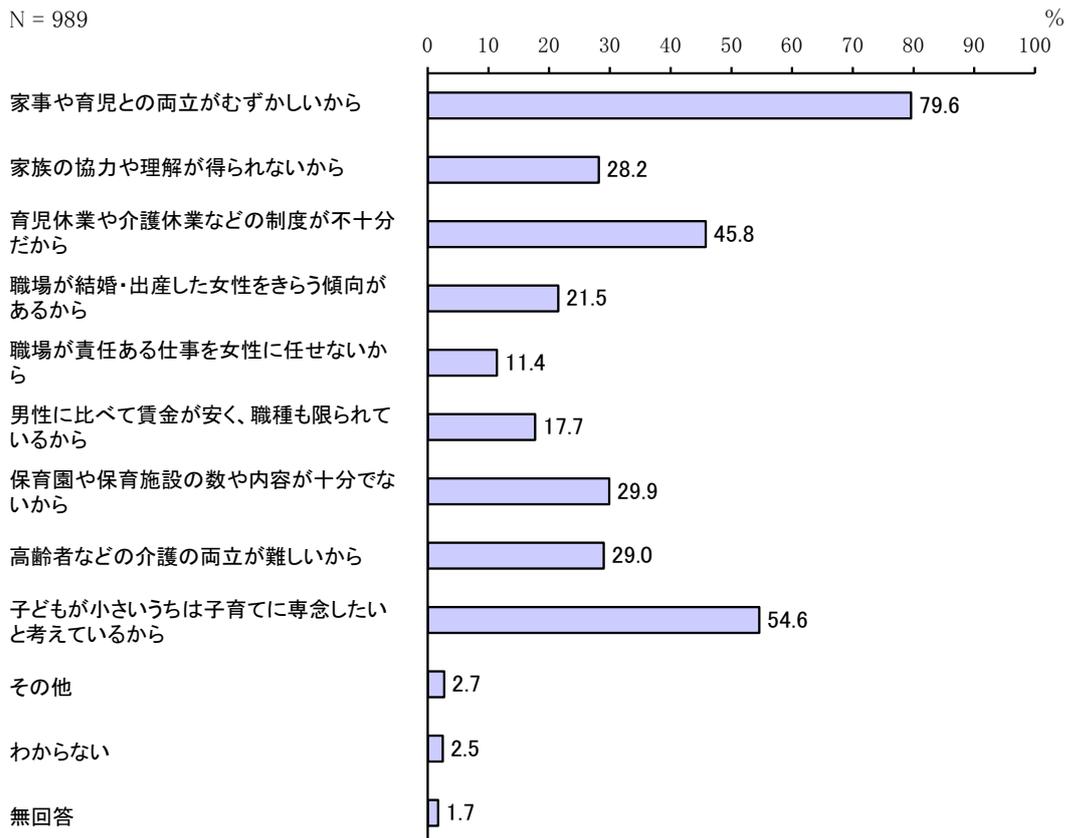
※豊橋市の平成 28 年調査では、国の調査と回答できる個数が異なります。また、豊橋市の平成 28 年調査では、女性のみが回答しています。

※豊橋市の平成 28 年調査では、「家事・育児・介護の経験を生かした仕事により地域に貢献する（ヘルパー、保育補助、家事代行など）」「これまでの経験を生かしてボランティアやNPO活動で地域に貢献する（育児・介護ボランティア、PTA、防災・治安パトロール、リサイクル活動など）」「これまでの経験を生かして起業又はNPOの立ち上げを行う（小売店経営、IT企業設立、ボランティア団体設立など）」「特にない」の選択肢はありません。

## 5-9 女性が結婚や出産を機に仕事をやめる理由

問 14. 結婚や出産、育児を理由に仕事をやめる女性があります。その理由について、次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「家事や育児との両立がむずかしいから」の割合が79.6%と最も高く、次いで「子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから」の割合が54.6%、「育児休業や介護休業などの制度が不十分だから」の割合が45.8%となっている。



性別でみると、男性に比べ、女性で「家族の協力や理解が得られないから」「職場が結婚・出産した女性をきらう傾向があるから」「子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから」の割合が高くなっている。

【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	家事や育児との両立がむずかしいから	家族の協力や理解が得られないから	育児休業や介護休業などの制度が不十分だから	職場が結婚・出産した女性をきらう傾向があるから	職場が責任ある仕事を女性に任せないから	職場が責任ある仕事を女性に任せないから	男性に比べて賃金が安く、職種も限られているから	保育園や保育施設の数や内容が十分でないから	高齢者などの介護の両立が難しいから	子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから	その他	わからない	無回答
女性	555	78.2	36.2	45.6	24.1	11.0	16.9	30.6	30.1	59.1	2.5	2.2	1.3	
男性	418	81.8	18.2	46.2	18.2	12.2	18.7	29.4	27.8	49.3	3.1	2.9	1.9	

性・年代別でみると、他に比べ、女性 20 歳代、30 歳代、男性 30 歳代で「家事や育児との両立がむずかしいから」の割合が、女性 40 歳代で「子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから」の割合が、女性 30 歳代、40 歳代で「職場が結婚・出産した女性をきらい傾向があるから」の割合が、女性 30 歳代で「保育園や保育施設の数や内容が十分でないから」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	家事や育児との両立がむずかしいから	家族の協力や理解が得られないから	育児休業や介護休業などの制度が不十分だから	職場が結婚・出産した女性をきらい傾向があるから	職場が責任ある仕事を女性に任せないから	職場が責任ある仕事を女性に任せないから	男性に比べて賃金が安く、職種も限られているから	保育園や保育施設の数や内容が十分でないから	高年齢者などの介護の両立が難しいから	子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから	その他	わからない	無回答
女性 20 歳代	56	91.1	26.8	46.4	16.1	7.1	16.1	32.1	12.5	69.6	3.6	0.0	0.0	
30 歳代	93	92.5	40.9	49.5	33.3	14.0	23.7	40.9	10.8	67.7	8.6	0.0	0.0	
40 歳代	72	84.7	48.6	45.8	34.7	11.1	16.7	26.4	31.9	75.0	1.4	1.4	0.0	
50 歳代	110	79.1	46.4	44.5	21.8	10.0	10.0	33.6	39.1	52.7	1.8	1.8	0.0	
60 歳代	115	77.4	33.0	53.9	21.7	12.2	22.6	33.0	38.3	55.7	0.0	0.9	0.0	
70 歳以上	75	53.3	18.7	30.7	17.3	9.3	13.3	20.0	36.0	48.0	1.3	5.3	5.3	
男性 20 歳代	40	85.0	15.0	37.5	25.0	5.0	12.5	22.5	22.5	62.5	7.5	0.0	0.0	
30 歳代	56	94.6	17.9	46.4	21.4	7.1	21.4	28.6	12.5	53.6	1.8	0.0	0.0	
40 歳代	63	81.0	12.7	47.6	14.3	9.5	9.5	27.0	22.2	49.2	1.6	4.8	1.6	
50 歳代	73	80.8	21.9	39.7	11.0	19.2	15.1	24.7	30.1	49.3	6.8	2.7	0.0	
60 歳代	89	80.9	18.0	48.3	22.5	16.9	20.2	36.0	32.6	42.7	2.2	3.4	1.1	
70 歳以上	97	75.3	20.6	51.5	17.5	10.3	26.8	32.0	36.1	47.4	1.0	4.1	6.2	

性・婚姻別でみると、他に比べ、女性未婚、男性既婚で「男性に比べて賃金が安く、職種も限られているから」の割合が高くなっている。

性・共働き別でみると、他に比べ、女性共働きしているで「家族の協力や理解が得られないから」「子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから」の割合が高くなっている。

### 【性・婚姻別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	家事や育児との両立がむずかしいから	家族の協力や理解が得られないから	育児休業や介護休業などの制度が不十分だから	職場が結婚・出産した女性をきらう傾向があるから	職場が責任ある仕事を女性に任せないから	男性に比べて賃金が安く、職種も限られているから	保育園や保育施設の数や内容が十分でないから	高齢者などの介護の両立が難しいから	子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから	その他	わからない	無回答
女性 既婚	374	79.1	37.2	46.0	25.7	10.4	15.8	30.7	30.2	60.7	2.4	0.8	0.5
未婚	142	82.4	36.6	45.8	20.4	11.3	<u>21.1</u>	33.8	27.5	59.2	2.8	3.5	1.4
男性 既婚	312	80.8	19.2	49.7	17.3	14.1	<u>21.5</u>	31.1	30.1	51.3	2.6	2.9	2.2
未婚	103	85.4	15.5	36.9	21.4	6.8	10.7	25.2	21.4	43.7	4.9	2.9	0.0

### 【性・共働き別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	家事や育児との両立がむずかしいから	家族の協力や理解が得られないから	育児休業や介護休業などの制度が不十分だから	職場が結婚・出産した女性をきらう傾向があるから	職場が責任ある仕事を女性に任せないから	男性に比べて賃金が安く、職種も限られているから	保育園や保育施設の数や内容が十分でないから	高齢者などの介護の両立が難しいから	子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから	その他	わからない	無回答
女性 共働きしている	210	79.5	<u>40.0</u>	46.2	25.2	9.0	14.3	29.0	27.6	<u>66.7</u>	2.9	1.0	0.0
共働きしていない	158	79.1	33.5	45.6	25.9	10.8	17.7	32.9	34.8	53.8	1.9	0.6	0.6
男性 共働きしている	156	79.5	16.7	46.2	17.3	13.5	19.9	28.2	28.2	53.2	3.8	3.2	2.6
共働きしていない	149	82.6	22.8	54.4	17.4	13.4	23.5	34.2	32.2	49.7	1.3	2.7	1.3

豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成 26 年に比べ、すべての項目の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：%

	家事や育児との両立がむずかしいから	家族の協力や理解が得られないから	育児休業や介護休業などの制度が不十分だから	企業が結婚・出産した女性をききう傾向があるから	企業が責任ある仕事を女性に任せないから	男性に比べて賃金が安く、職種も限られているから	保育施設の数や内容が十分でないから	高齢者などの介護との両立が難しいから	子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから	女性自身に職業に対する熱意や積極性が不足しているから	その他	わからない	無回答
豊橋市（H28.8）	79.6	28.2	45.8	21.5	11.4	17.7	29.9	29.0	54.6	—	2.7	2.5	1.7
女性	78.2	36.2	45.6	24.1	11.0	16.9	30.6	30.1	59.1	—	2.5	2.2	1.3
男性	81.8	18.2	46.2	18.2	12.2	18.7	29.4	27.8	49.3	—	3.1	2.9	1.9
豊橋市（H26.9）	70.5	11.2	26.6	10.6	2.7	5.7	15.6	3.3	31.4	—	1.8	2.4	4.0
女性	69.8	13.4	23.4	10.4	1.3	6.3	15.8	4.1	33.7	—	1.5	2.0	4.8
男性	70.9	8.7	30.5	10.9	4.3	5.0	15.3	2.1	28.5	—	2.1	2.9	3.1
豊橋市（H23.6）	69.4	16.1	32.2	13.4	4.4	9.0	21.6	6.4	—	6.7	3.9	1.7	2.2
女性	69.0	21.1	32.5	14.8	3.6	8.5	21.1	7.5	—	5.0	4.1	1.3	1.8
男性	70.4	9.3	32.2	11.4	5.6	9.5	22.5	5.2	—	9.1	3.7	2.2	1.9

※平成 28 年調査では、過去の調査と回答できる個数が異なります。

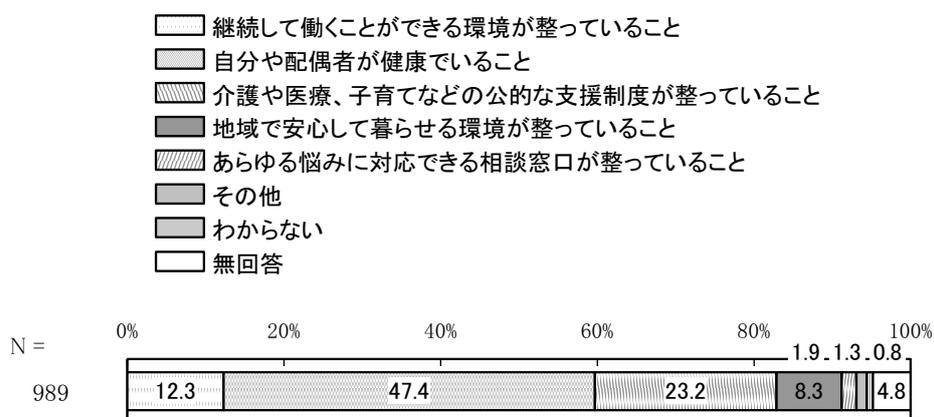
## 6 生涯を通じた生活について

### 6-1 生涯安心して暮らすための必要事項

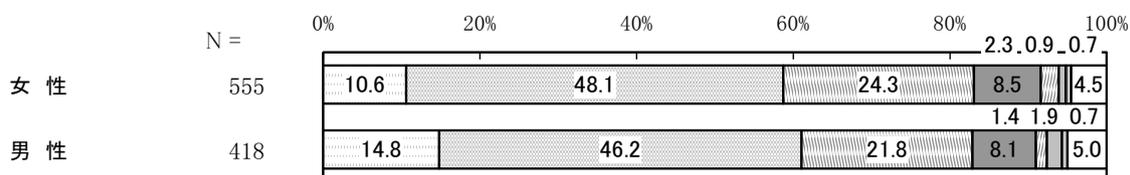
問 15. 生涯を通じて安心して暮らすために必要と思うものを次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

「自分や配偶者が健康でいること」の割合が47.4%と最も高く、次いで「介護や医療、子育てなどの公的な支援制度が整っていること」の割合が23.2%、「継続して働くことができる環境が整っていること」の割合が12.3%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

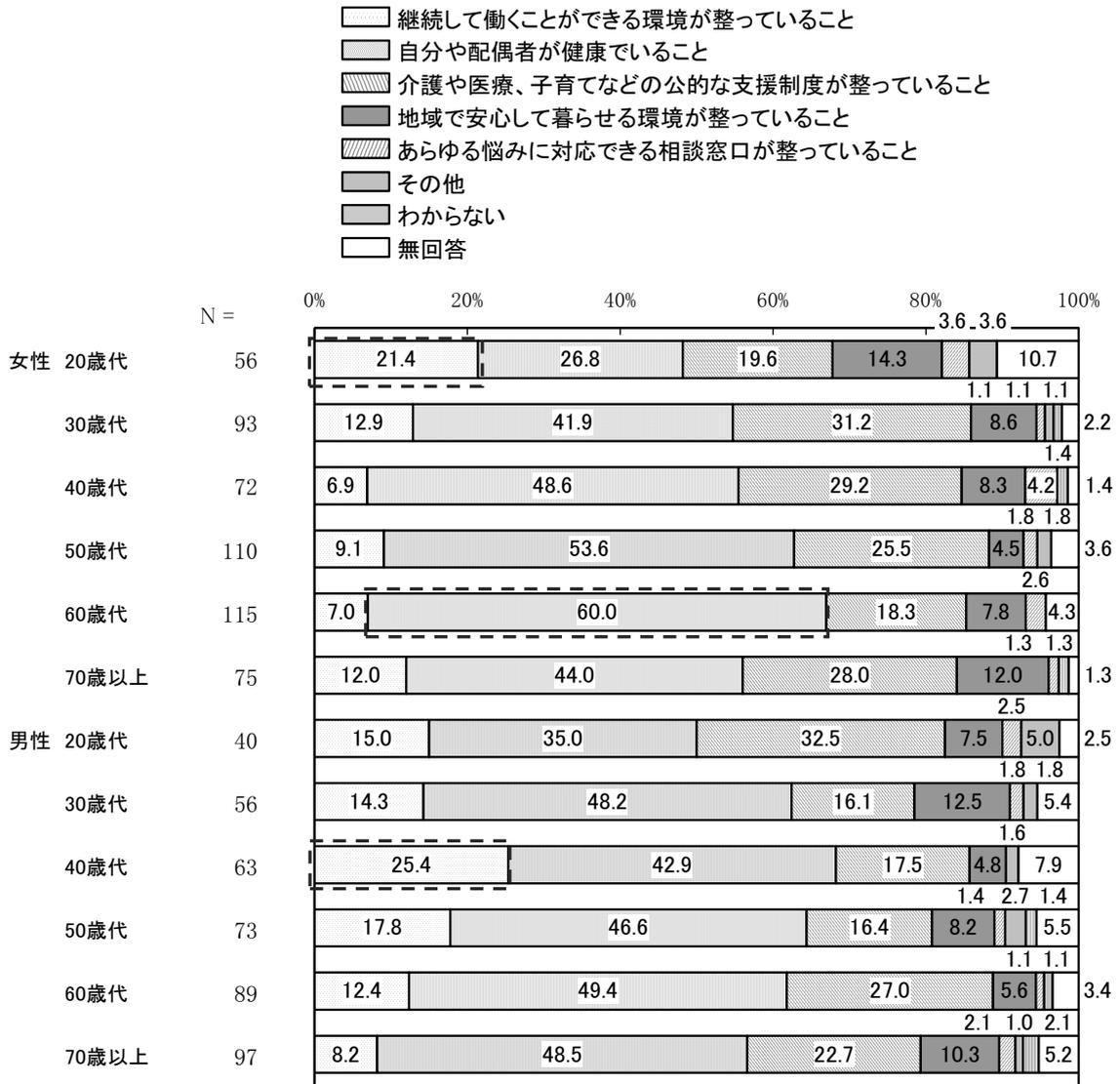


#### 【性別】



性・年代別で見ると、他に比べ、女性 60 歳代で「自分や配偶者が健康でいること」の割合が高くなっている。また、女性 20 歳代、男性 40 歳代で「継続して働くことができる環境が整っていること」の割合が高くなっている。

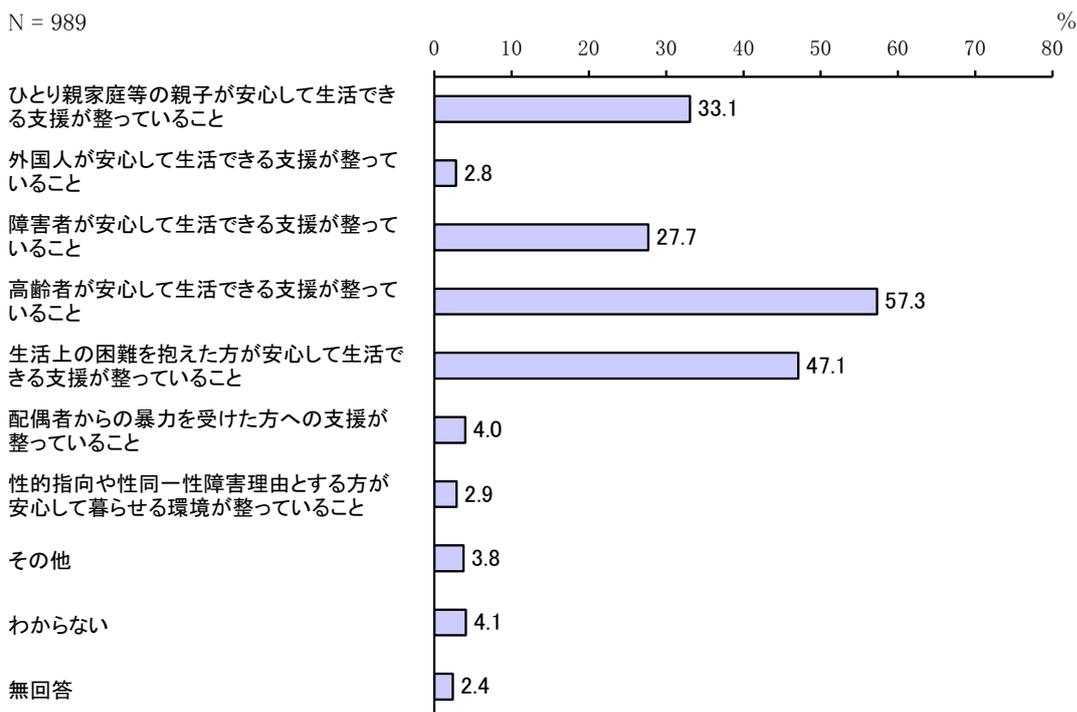
【性・年代別】



## 6-2 困難を抱える方が安心して生活するための必要事項

問 16. さまざまな困難を抱える方が安心して生活するために必要と思うものを次の中から2つ選んで○をつけてください。

「高齢者が安心して生活できる支援が整っていること」の割合が57.3%と最も高く、次いで「生活上の困難を抱えた方が安心して生活できる支援が整っていること」の割合が47.1%、「ひとり親家庭等の親子が安心して生活できる支援が整っていること」の割合が33.1%となっている。



性別でみると、大きな差異はみられない。

性・年代別でみると、他に比べ、女性 70 歳以上で「高齢者が安心して生活できる支援が整っていること」の割合が、女性 60 歳代で「生活上の困難を抱えた方が安心して生活できる支援が整っていること」の割合が高くなっている。

### 【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	ひとり親家庭等の親子が安心して生活できる支援が整っていること	外国人が安心して生活できる支援が整っていること	障害者が安心して生活できる支援が整っていること	高齢者が安心して生活できる支援が整っていること	生活上の困難を抱えた方が安心して生活できる支援が整っていること	配偶者からの暴力を受けた方への支援が整っていること	性的指向や性同一性障害理由とする方が安心して暮らせる環境が整っていること	その他	わからない	無回答
女性	555	32.1	2.7	27.6	58.4	46.1	4.3	3.1	4.3	3.8	2.3
男性	418	34.4	3.1	28.0	56.0	49.0	3.8	2.9	3.3	4.5	2.2

### 【性・年代別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	ひとり親家庭等の親子が安心して生活できる支援が整っていること	外国人が安心して生活できる支援が整っていること	障害者が安心して生活できる支援が整っていること	高齢者が安心して生活できる支援が整っていること	生活上の困難を抱えた方が安心して生活できる支援が整っていること	配偶者からの暴力を受けた方への支援が整っていること	性的指向や性同一性障害理由とする方が安心して暮らせる環境が整っていること	その他	わからない	無回答
女性 20 歳代	56	55.4	5.4	26.8	39.3	42.9	7.1	8.9	3.6	1.8	0.0
30 歳代	93	29.0	3.2	24.7	44.1	41.9	8.6	7.5	10.8	7.5	2.2
40 歳代	72	27.8	0.0	37.5	56.9	44.4	4.2	1.4	4.2	5.6	1.4
50 歳代	110	27.3	1.8	30.0	65.5	50.0	5.5	2.7	4.5	1.8	1.8
60 歳代	115	31.3	2.6	30.4	65.2	55.7	2.6	0.0	0.9	1.7	0.0
70 歳以上	75	29.3	2.7	14.7	76.0	41.3	0.0	1.3	4.0	4.0	5.3
男性 20 歳代	40	47.5	7.5	35.0	35.0	47.5	10.0	12.5	2.5	0.0	0.0
30 歳代	56	35.7	5.4	41.1	32.1	39.3	12.5	3.6	5.4	7.1	1.8
40 歳代	63	34.9	3.2	22.2	57.1	41.3	3.2	4.8	7.9	4.8	3.2
50 歳代	73	42.5	4.1	27.4	56.2	54.8	2.7	0.0	4.1	1.4	0.0
60 歳代	89	30.3	1.1	28.1	65.2	53.9	1.1	1.1	2.2	3.4	2.2
70 歳以上	97	25.8	1.0	21.6	69.1	51.5	0.0	1.0	0.0	8.2	4.1

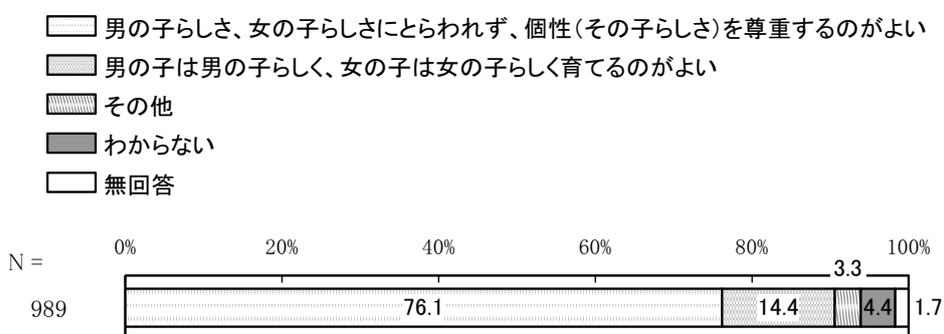
## 7 子どもへの男女共同参画教育について

### 7-1 子育てについての考え方

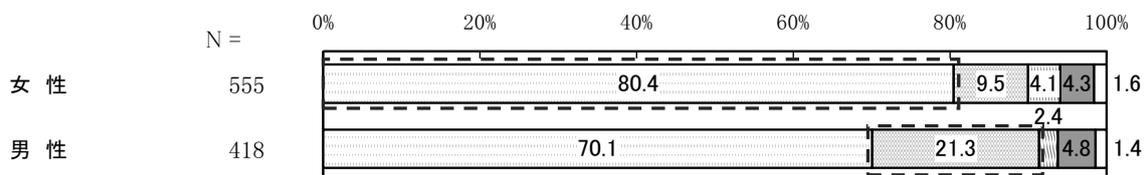
問 17. 子育ての方針について、どのように考えますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい」の割合が76.1%と最も高く、次いで「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」の割合が14.4%となっている。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい」の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」の割合が高くなっている。

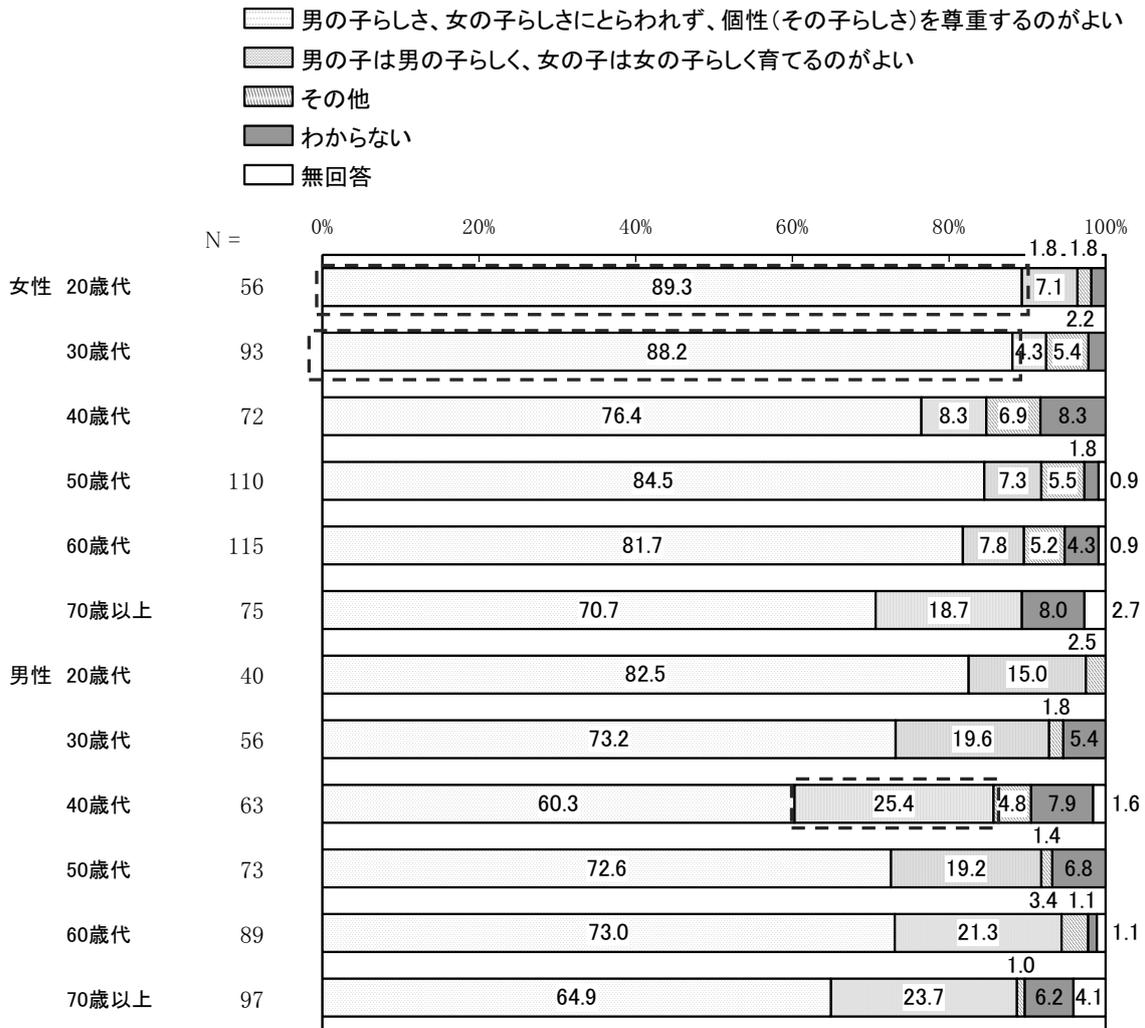


#### 【性別】



性・年代別で見ると、他に比べ、女性 20 歳代、30 歳代で「男の子らしさ、女の子らしさにと  
 らわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい」の割合が高くなっている。また、男性 40  
 歳代で「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」の割合が高くなっている。

【性・年代別】



性別役割分担意識別でみると、男女とも否定的で「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい」の割合が、肯定的で「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」の割合が高くなっている。

【性別役割分担意識別】

- 男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性(その子らしさ)を尊重するのがよい
- ▨ 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい
- ▩ その他
- わからない
- 無回答



豊橋市の過去の調査との比較でみると、過去の調査に比べ、平成 28 年で「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい」の割合が最も高くなっている。

【経年比較】

単位：%

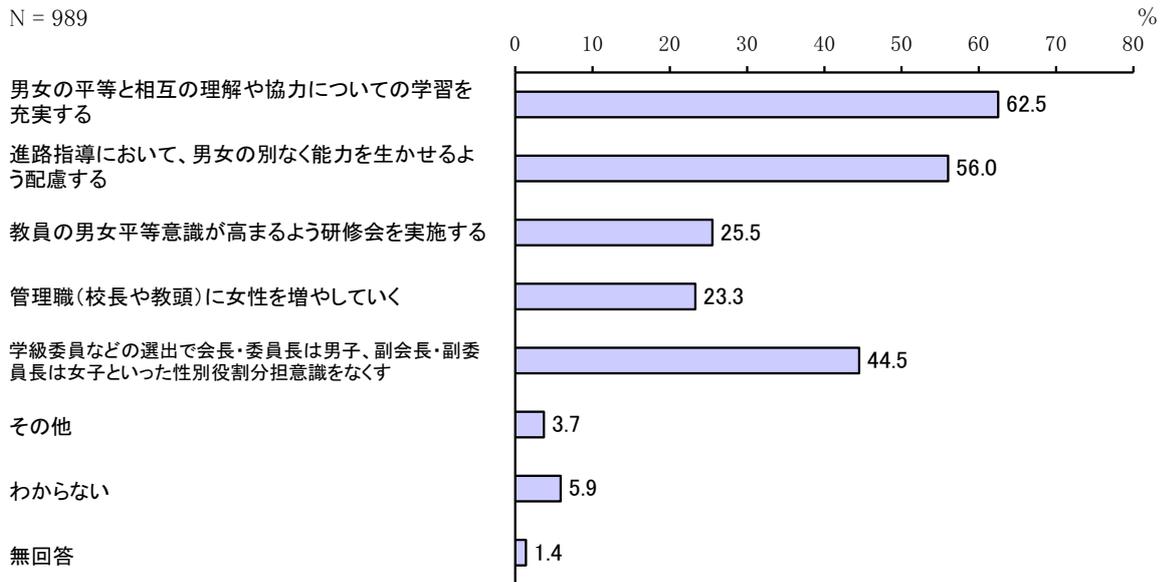
	男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性を尊重するのがよい	男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい	その他	わからない	無回答
豊橋市（H28.8）	76.1	14.4	3.3	4.4	1.7
女性	80.4	9.5	4.1	4.3	1.6
男性	70.1	21.3	2.4	4.8	1.4
豊橋市（H26.9）	69.5	20.6	1.9	4.8	3.3
女性	73.0	15.8	2.5	4.8	4.0
男性	65.0	26.4	1.2	4.9	2.5
豊橋市（H23.6）	68.6	22.6	3.3	3.8	1.7
女性	75.5	15.9	4.3	2.7	1.7
男性	60.3	30.9	2.2	5.4	1.3
豊橋市（H20.5）	62.3	28.0	4.1	3.2	2.4
女性	67.7	21.7	5.8	3.4	1.4
男性	56.0	36.7	2.2	3.0	2.2
豊橋市（H17.5）	55.9	33.9	3.3	3.3	3.6
女性	61.6	27.0	3.9	4.1	3.4
男性	48.4	43.5	2.3	2.3	3.5
豊橋市（H13.8）	61.5	29.1	3.4	3.5	2.6
女性	66.9	24.3	3.9	2.8	2.2
男性	54.8	36.2	2.8	3.6	2.6

## 7-2 男女平等のための学校教育のあり方

問 18. 男女平等の人間関係をつくるために学校教育の場で必要と思うものを次の中からすべて選んで○をつけてください。

「男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が 56.0%、「学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす」の割合が 44.5%となっている。

性別でみると、大きな差異はみられない。



### 【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく	学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
女性	555	62.3	57.5	23.6	25.4	44.7	2.5	6.5	0.9
男性	418	62.9	54.1	27.8	20.8	44.3	5.5	5.0	1.7

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 60 歳以上で「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が高くなっている。また、男性 30 歳代で「学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく	学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
女性 20 歳代	56	55.4	46.4	16.1	33.9	35.7	7.1	5.4	0.0
30 歳代	93	68.8	52.7	25.8	32.3	47.3	3.2	4.3	0.0
40 歳代	72	58.3	55.6	26.4	30.6	44.4	2.8	4.2	0.0
50 歳代	110	64.5	52.7	18.2	18.2	41.8	1.8	8.2	0.0
60 歳代	115	68.7	67.0	27.0	25.2	50.4	1.7	6.1	0.0
70 歳以上	75	54.7	66.7	28.0	20.0	42.7	1.3	8.0	2.7
男性 20 歳代	40	60.0	57.5	22.5	12.5	35.0	7.5	5.0	0.0
30 歳代	56	51.8	39.3	19.6	28.6	57.1	7.1	8.9	0.0
40 歳代	63	54.0	52.4	31.7	20.6	41.3	9.5	0.0	1.6
50 歳代	73	64.4	49.3	16.4	21.9	32.9	2.7	8.2	0.0
60 歳代	89	66.3	56.2	38.2	19.1	49.4	7.9	2.2	1.1
70 歳以上	97	72.2	63.9	30.9	20.6	46.4	1.0	6.2	5.2

性・婚姻別で見ると、他に比べ、女性既婚で「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が高くなっている。

【性・婚姻別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく	学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
女性 既婚	374	63.9	60.7	25.1	25.1	44.7	2.4	4.8	0.0
未婚	142	60.6	50.0	21.1	28.2	43.7	3.5	9.9	0.7
男性 既婚	312	63.5	55.4	29.2	22.1	45.5	4.8	5.1	2.2
未婚	103	61.2	48.5	24.3	17.5	41.7	7.8	4.9	0.0

豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成 26 年に比べ、すべての項目の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：％

	男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく	出席簿の順番など、男女を分ける習慣をなくす	会長は男子、副会長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
豊橋市（H28.8）	62.5	56.0	25.5	23.3	—	44.5	3.7	5.9	1.4
女性	62.3	57.5	23.6	25.4	—	44.7	2.5	6.5	0.9
男性	62.9	54.1	27.8	20.8	—	44.3	5.5	5.0	1.7
豊橋市（H26.9）	57.7	48.7	13.7	14.5	5.5	28.7	2.4	6.5	2.9
女性	59.5	50.6	12.6	12.8	4.8	27.7	1.7	7.0	3.5
男性	55.7	46.8	15.1	16.1	6.4	29.1	3.3	6.0	2.3
豊橋市（H23.6）	53.3	43.8	15.4	16.2	7.8	27.5	4.3	5.6	3.1
女性	55.1	46.4	12.9	14.8	6.1	29.7	3.2	6.8	3.0
男性	51.0	40.2	18.1	18.4	10.2	25.3	5.8	4.3	2.6
豊橋市（H20.5）	51.0	47.8	15.3	20.5	6.7	36.1	3.5	—	2.9
女性	51.8	49.1	14.8	21.4	5.9	34.6	2.5	—	2.3
男性	50.6	46.0	16.7	18.8	7.7	36.9	5.0	—	3.6
豊橋市（H17.5）	51.5	54.3	12.0	18.2	5.9	31.9	2.6	—	4.3
女性	53.9	54.9	10.7	20.0	5.4	29.3	2.1	—	4.2
男性	47.7	53.0	14.3	16.4	6.8	36.0	3.5	—	4.2
豊橋市（H13.8）	51.0	57.6	13.3	15.7	6.5	31.0	2.1	—	3.8
女性	52.7	58.8	12.2	17.8	7.1	30.8	1.4	—	3.2
男性	48.8	55.8	15.2	12.7	5.9	31.0	3.1	—	4.1

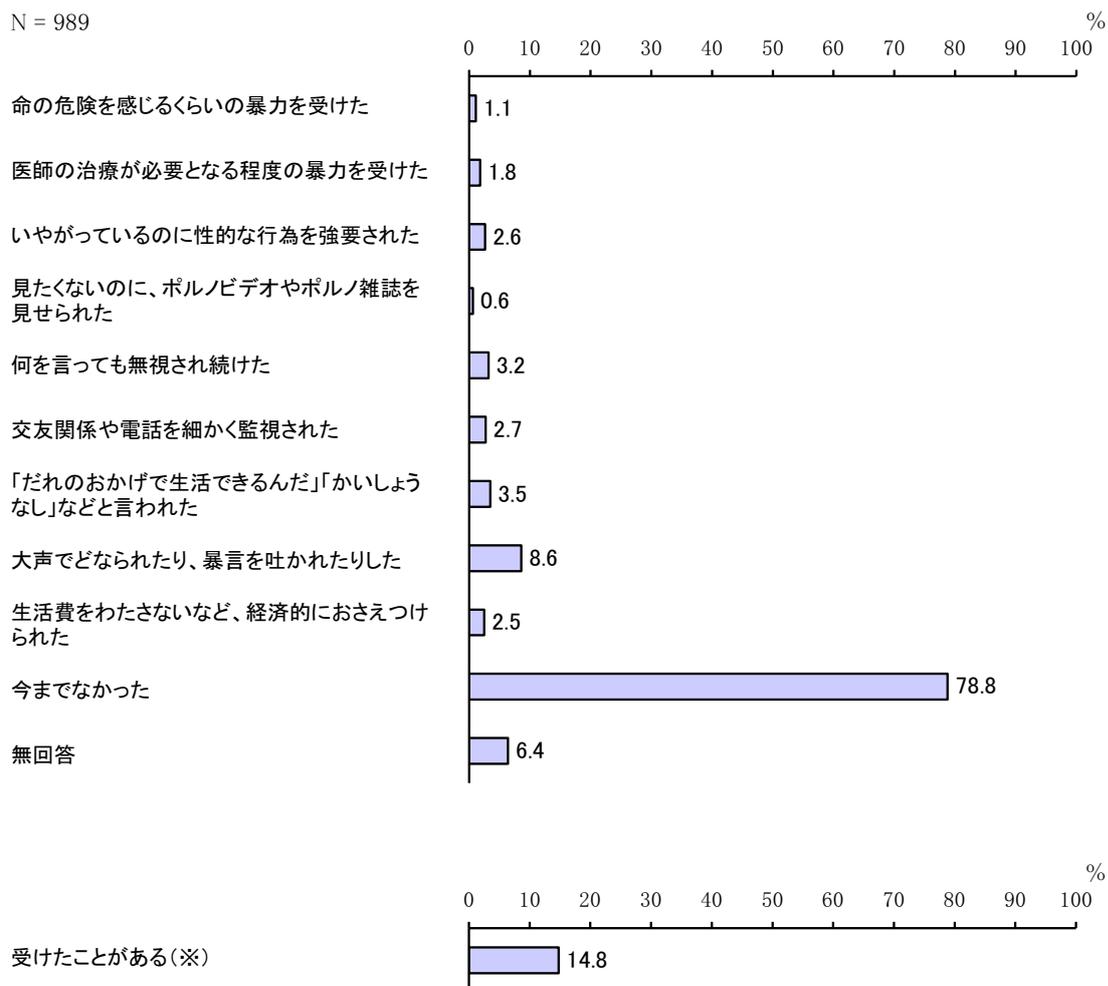
※平成 28 年調査では、過去の調査と回答できる個数が異なります。

## 8 配偶者等からの暴力について

### 8-1 配偶者または恋人から暴力を受けた経験

問 19. これまでに、あなたの配偶者や交際相手から、次のような行為を受けた経験がありますか。あてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「今までなかった」の割合が78.8%と最も高くなっている。全体から「今までなかった」と無回答を除いた“何らかの暴力を受けたことがある(※)”人の割合は14.8%となっている。



※ 全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

性別でみると、男性に比べ、女性で「大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした」の割合が高く、女性に比べ、男性で「今までなかった」の割合が高くなっている。また、男性に比べ、女性で“何らかの暴力を受けたことがある（※）”割合が高く21.5%となっている。

【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	命の危険を感じるくらいの暴力を受けた	医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた	いやがっているのに性的な行為を強要された	見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた	何を言っても無視され続けた	交友関係や電話を細かく監視された	「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしよなし」などと言われた	大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした	生活費をわたささないなど、経済的におさえつけられた	今までなかった	無回答	何らかの暴力を受けたことがある(※)
女性	555	1.6	3.1	4.7	1.1	3.2	4.1	5.8	13.9	4.0	71.5	7.0	21.5
男性	418	0.5	0.2	0.0	0.0	3.3	1.0	0.7	1.7	0.7	88.8	4.8	6.4

※全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

性・年代別でみると、他に比べ、女性 40 歳代で「「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしようなし」などと言われた」の割合が、女性 30 歳代、40 歳代で「大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした」の割合が高くなっている。また、女性 30 歳代、40 歳代で「何らかの暴力を受けたことがある（※）」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	命の危険を感じるくらいの暴力を受けた	医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた	いやがっているのに性的な行為を強要された	見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた	何を言っても無視され続けた	交友関係や電話を細かく監視された	「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしようなし」などと言われた	大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした	生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた	今までなかった	無回答	何らかの暴力を受けたことがある(※)
女性 20 歳代	56	5.4	1.8	3.6	1.8	1.8	8.9	7.1	14.3	5.4	75.0	5.4	19.6
30 歳代	93	2.2	0.0	6.5	0.0	1.1	9.7	4.3	<u>18.3</u>	5.4	71.0	2.2	<u>26.8</u>
40 歳代	72	2.8	5.6	9.7	2.8	5.6	5.6	<u>12.5</u>	<u>18.1</u>	9.7	68.1	0.0	<u>31.9</u>
50 歳代	110	0.0	0.9	5.5	2.7	4.5	2.7	5.5	11.8	1.8	76.4	2.7	20.9
60 歳代	115	0.9	7.0	1.7	0.0	5.2	0.9	2.6	10.4	3.5	73.9	7.0	19.1
70 歳以上	75	1.3	4.0	4.0	0.0	1.3	1.3	6.7	14.7	0.0	68.0	17.3	14.7
男性 20 歳代	40	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.5	0.0	0.0	90.0	2.5	7.5
30 歳代	56	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	1.8	3.6	3.6	89.3	1.8	8.9
40 歳代	63	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	3.2	0.0	87.3	6.3	6.4
50 歳代	73	1.4	0.0	0.0	0.0	4.1	1.4	0.0	1.4	0.0	94.5	0.0	5.5
60 歳代	89	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	1.1	1.1	2.2	0.0	89.9	4.5	5.6
70 歳以上	97	0.0	1.0	0.0	0.0	4.1	1.0	0.0	0.0	1.0	83.5	10.3	6.2

※全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

性・婚姻別でみると、他に比べ、女性未婚で「医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた」「いやがっているのに性的な行為を強要された」の割合が高くなっている。

【性・婚姻別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	命の危険を感じるくらいの暴力を受けた	医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた	いやがっているのに性的な行為を強要された	見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた	何を言っても無視され続けた	交友関係や電話を細かく監視された	「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしようなし」などと言われた	大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした	生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた	今までなかった	無回答	何らかの暴力を受けたことがある(※)
女性 既婚	374	1.1	2.1	3.7	0.8	2.9	4.0	5.9	14.7	2.9	73.3	5.1	21.6
女性 未婚	142	2.8	6.3	7.7	2.1	4.9	5.6	5.6	12.0	6.3	71.1	6.3	22.6
男性 既婚	312	0.3	0.0	0.0	0.0	2.9	0.6	0.3	1.0	0.0	90.1	5.4	4.5
男性 未婚	103	1.0	1.0	0.0	0.0	4.9	1.9	1.9	2.9	2.9	86.4	1.9	11.7

※全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

豊橋市の過去の調査との比較でみると、過去の調査に比べ、平成 28 年で“何らかの暴力を受けたことがある（※）”の割合が最も低くなっている。

【経年比較】

単位：％

	命の危険を感じるくらいの暴行を受けた	医師の治療が必要となる程度の暴行を受けた	いやがっているのに性的行為を強要された	見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた	何を言っても無視され続けた	交友関係や電話を細かく監視された	「だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしようなし」と言われた	大声でどなられたり、暴言を吐かれた	生活費をわたされれないなど、経済的におさえつけられた	医師の治療が必要でない程度の暴行を受けた	今までなかった（そのようなことはなかった）	無回答 H20 調査では該当なし（そのようなことはなかった）として分析	何らかの暴力を受けたことがある（※）
豊橋市（H28.8）	1.1	1.8	2.6	0.6	3.2	2.7	3.5	8.6	2.5	—	78.8	6.4	14.8
女性	1.6	3.1	4.7	1.1	3.2	4.1	5.8	13.9	4.0	—	71.5	7.0	21.5
男性	0.5	0.2	—	—	3.3	1.0	0.7	1.7	0.7	—	88.8	4.8	6.4
豊橋市（H26.9）	0.7	1.6	2.7	0.4	4.0	2.8	4.4	10.5	2.7	—	73.7	9.1	17.2
女性	1.3	2.8	5.0	0.8	4.5	4.1	6.8	15.4	4.6	—	68.2	6.6	25.2
男性	—	0.2	—	—	3.1	1.4	1.7	4.5	0.4	—	80.4	11.8	7.8
豊橋市（H23.6）	1.7	1.4	4.3	0.8	5.6	3.7	5.3	13.2	3.9	—	73.3	4.3	22.4
女性	2.5	2.0	6.6	0.8	4.6	4.3	7.5	17.9	6.3	—	67.8	3.5	28.7
男性	0.6	0.6	1.1	0.6	6.7	2.8	2.4	6.9	0.6	—	80.3	5.2	14.5
豊橋市（H20.5）	1.1	1.9	4.0	0.9	5.9	4.2	5.8	13.9	3.3	3.1	—	76.5	23.5
女性	1.9	3.1	6.2	1.1	5.1	4.2	7.3	18.9	5.5	4.8	—	70.4	29.6
男性	0.2	0.4	1.2	0.6	6.9	4.2	4.0	8.1	0.8	0.8	—	83.7	16.3
豊橋市（H17.5）	0.6	0.9	3.1	0.3	3.7	3.7	4.0	9.7	2.4	3.3	72.2	9.9	17.9
女性	1.0	1.3	5.2	0.3	3.9	3.9	5.4	13.8	3.6	5.2	67.6	8.6	23.8
男性	0.0	0.2	0.2	0.2	3.3	3.3	2.1	4.2	0.7	0.7	78.7	11.4	9.9
豊橋市（H13.8）	1.0	1.4	4.3	0.6	3.5	2.8	3.9	8.3	2.2	3.9	68.5	15.6	15.9
女性	1.8	2.4	6.9	1.0	3.9	3.4	5.7	12.6	3.4	5.9	65.1	12.6	22.3
男性	0.0	0.0	1.0	0.3	2.8	2.1	1.6	3.1	0.5	1.6	74.4	18.3	7.3

※ 全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

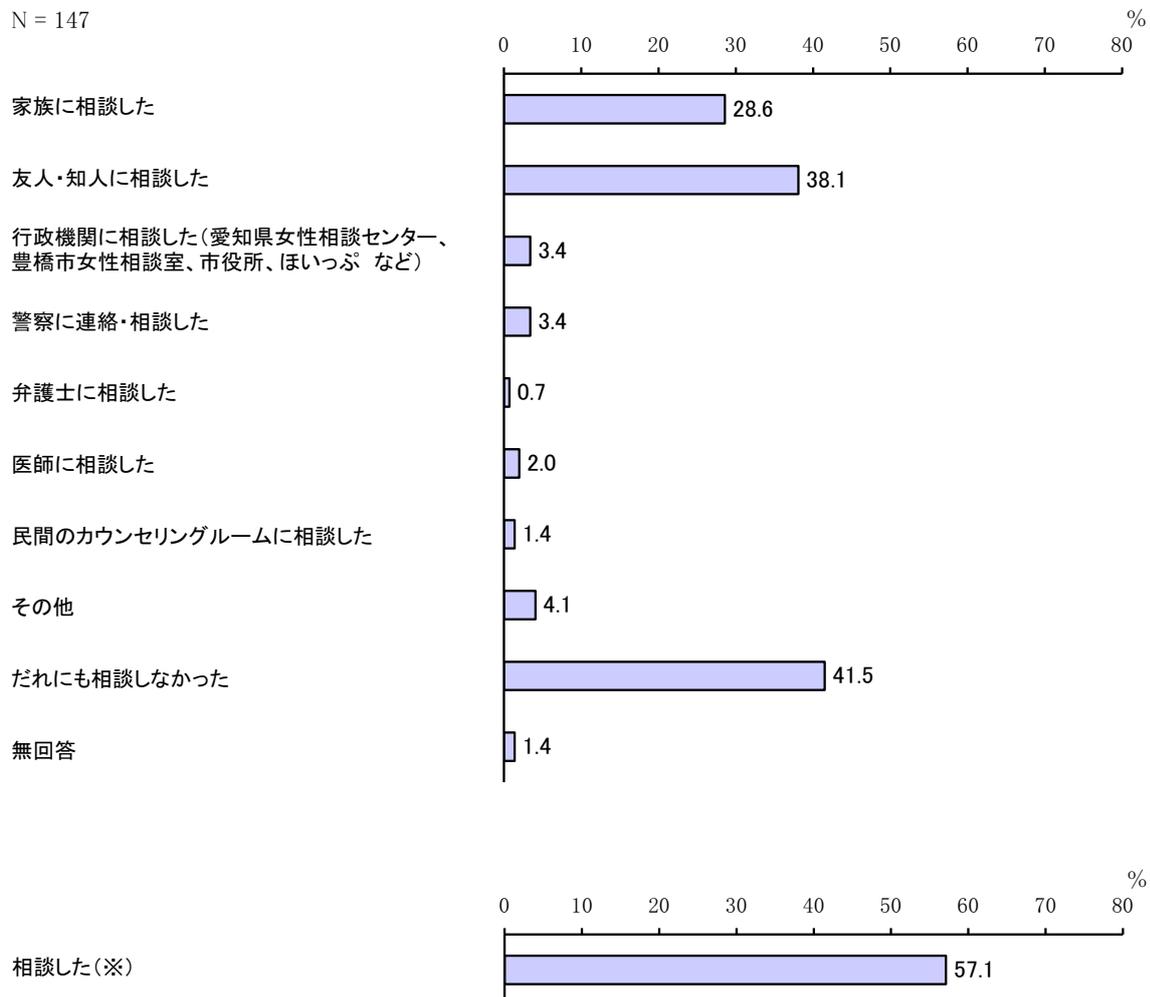
## 8-2 暴力行為についての相談相手

《問19で、1から9を選んだ方にのみお聞きします》

問19-1. これまでに配偶者や交際相手から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「だれにも相談しなかった」の割合が41.5%と最も高く、次いで「友人・知人に相談した」の割合が38.1%、「家族に相談した」の割合が28.6%となっている。

全体から「だれにも相談しなかった」と無回答を除いた“相談した(※)”人の割合は57.1%となっている。



※ 全体から「だれにも相談しなかった」と「無回答」を除いた割合

性別で見ると、男性に比べ、女性で「家族に相談した」「友人・知人に相談した」の割合が高くなっている。女性に比べ、男性で「だれにも相談しなかった」の割合が高く63.0%となっているが、女性においても36.1%となっている。

【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	家族に相談した	友人・知人に相談した	行政機関に相談した(愛知県女性相談センター、豊橋市女性相談室、市役所、ほいっぶなど)	警察に連絡・相談した	弁護士に相談した	医師に相談した	民間のカウンセリングルームに相談した	その他	だれにも相談しなかった	無回答	相談した(※)
女性	119	31.9	42.9	4.2	4.2	0.8	1.7	1.7	4.2	36.1	0.8	63.1
男性	27	14.8	18.5	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7	63.0	3.7	33.3

※全体から「だれにも相談しなかった」と「無回答」を除いた割合

性・年代別で見ると、40歳代を除くいずれの年代でも、男性に比べ女性で“相談した（※）”の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族に相談した	友人・知人に相談した	行政機関に相談した(愛知県女性相談センター、豊橋市女性相談室、市役所、ほいっぶなど)	警察に連絡・相談した	弁護士に相談した	医師に相談した	民間のカウンセリングルームに相談した	その他	だれにも相談しなかった	無回答	相談した(※)
女性 20歳代	11	36.4	81.8	27.3	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	81.8
30歳代	25	32.0	40.0	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0	4.0	32.0	0.0	68.0
40歳代	23	30.4	52.2	8.7	0.0	0.0	0.0	8.7	4.3	30.4	0.0	69.6
50歳代	23	34.8	43.5	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	39.1	0.0	60.9
60歳代	22	31.8	22.7	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	9.1	40.9	4.5	54.6
70歳以上	11	27.3	36.4	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	45.5	0.0	54.5
男性 20歳代	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.4
30歳代	5	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	60.0
40歳代	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0
50歳代	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0
60歳代	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
70歳以上	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	83.3	0.0	16.7

※全体から「だれにも相談しなかった」と「無回答」を除いた割合

性・婚姻別で見ると、女性既婚で「家族に相談した」の割合が、女性未婚で「友人・知人に相談した」の割合が高く、男性既婚で「だれにも相談しなかった」の割合が高くなっている。

【性・婚姻別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族に相談した	友人・知人に相談した	行政機関に相談した (愛知県女性相談センター、 豊橋市女性相談室、市役所、 ほいっぶなど)	警察に連絡・相談した	弁護士に相談した	医師に相談した	民間のカウンセリング グループに相談した	その他	だれにも相談しなかった	無回答	相談した(※)
女性 既婚	81	35.8	40.7	3.7	1.2	0.0	2.5	1.2	4.9	35.8	0.0	64.2
未婚	32	25.0	50.0	6.3	12.5	3.1	0.0	3.1	3.1	31.3	3.1	65.6
男性 既婚	14	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.6	0.0	21.4
未婚	12	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	41.7	8.3	50.0

豊橋市の過去の調査との比較で見ると、平成 26 年に比べ、平成 28 年で“相談した（※）”の割合が低くなっている。

【経年比較】

単位：％

	家族	友人・知人	行政機関	警察	弁護士	医師	民間の グループ カウ ンセ リン	その他	だれにも 相談しな か	無回答	相談した (※)
豊橋市 (H28.8)	28.6	38.1	3.4	3.4	0.7	2.0	1.4	4.1	41.5	1.4	57.1
女性	31.9	42.9	4.2	4.2	0.8	1.7	1.7	4.2	36.1	0.8	63.1
男性	14.8	18.5	—	—	—	3.7	—	3.7	63.0	3.7	33.3
豊橋市 (H26.9)	30.9	36.6	2.1	2.1	4.1	1.0	0.5	2.1	38.7	2.1	79.4
女性	32.9	40.8	2.6	2.6	4.6	1.3	0.7	2.6	32.9	2.0	88.1
男性	22.5	20.0	—	—	2.5	—	—	—	60.0	2.5	45.0
豊橋市 (H23.6)	27.2	36.2	5.3	2.9	2.5	2.9	2.5	2.5	43.6	1.6	54.8
女性	31.2	40.5	6.4	2.3	2.9	2.3	2.3	2.9	37.6	1.7	60.7
男性	17.9	23.9	3.0	4.5	1.5	4.5	3.0	1.5	59.7	1.5	38.8
豊橋市 (H20.5)	—	—	—	—	—	—	—	—	53.3	6.9	39.9
女性	—	—	—	—	—	—	—	—	51.6	5.8	42.6
男性	—	—	—	—	—	—	—	—	56.1	9.8	34.1
豊橋市 (H17.5)	—	—	—	—	—	—	—	—	29.1	50.3	20.6
女性	—	—	—	—	—	—	—	—	28.8	47.9	23.3
男性	—	—	—	—	—	—	—	—	31.0	57.1	11.9

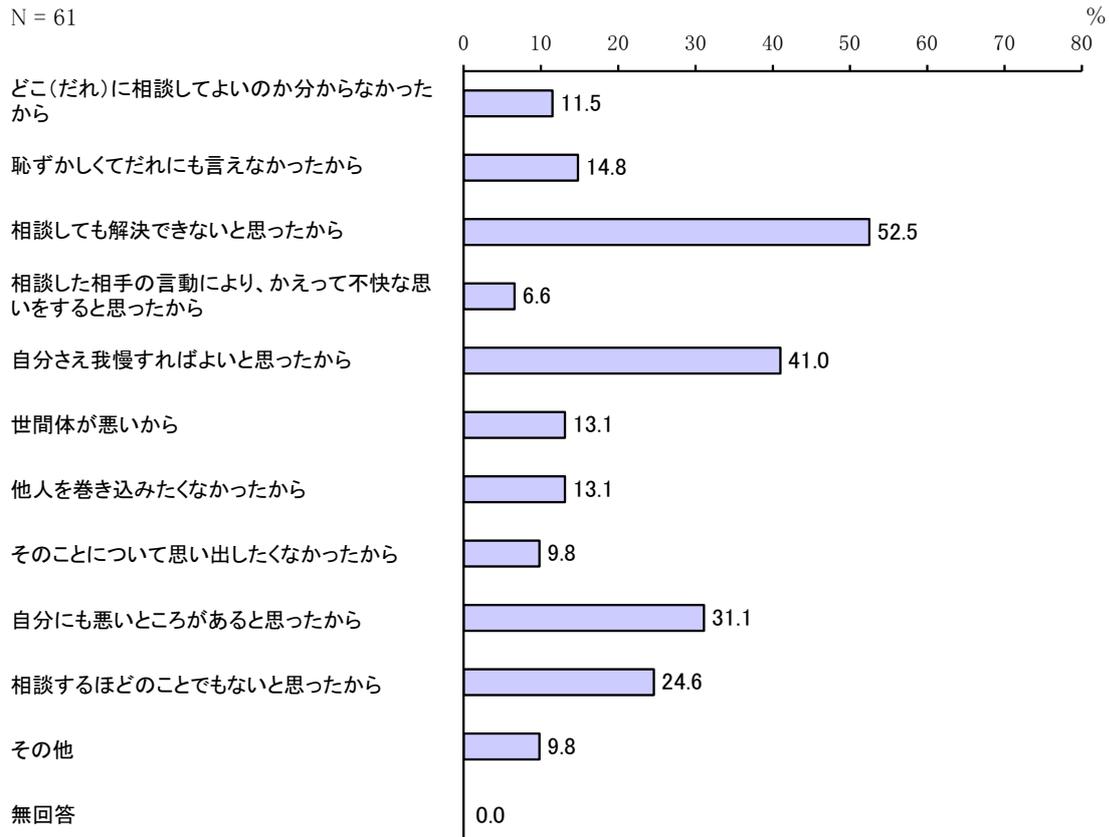
※全体から「誰にも相談しなかった」「無回答」を除いた割合

### 8-3 相談をしなかった理由

《問19-1で「9. だれにも相談しなかった」と答えた方のみお聞きします》

問19-2. だれにも相談しなかった理由として、次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「相談しても解決できないと思ったから」の割合が52.5%と最も高く、次いで「自分さえ我慢すればよいと思ったから」の割合が41.0%、「自分にも悪いところがあると思ったから」の割合が31.1%となっている。



性別でみると、男性に比べ、女性で「相談しても解決できないと思ったから」の割合が高く、女性に比べ、男性で「世間体が悪いから」「自分にも悪いところがあると思ったから」「相談するほどのことでもないと思ったから」の割合が高くなっている。

【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	どこ(だれ)に相談してよいか分からなかったから	恥ずかしくてだれにも言えなかったから	相談しても解決できないと思ったから	相談した相手の言動により、かえって不快な思いをすと思ったから	自分さえ我慢すればよいと思ったから	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくなかったから	そのことについて思い出しくなかつたから	自分にも悪いところがあると思ったから	相談するほどのことでもないと思つたから	その他	無回答
女性	43	11.6	16.3	<u>53.5</u>	7.0	39.5	9.3	14.0	14.0	25.6	20.9	11.6	0.0
男性	17	11.8	11.8	47.1	5.9	41.2	<u>23.5</u>	11.8	0.0	<u>47.1</u>	<u>35.3</u>	5.9	0.0

豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成26年に比べ、平成28年で「どこ（だれ）に相談してよいのか分からなかったから」「相談してもむだだと思ったから」「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっているとあったから」「世間体が悪いから」「そのことについて思い出したくなかったから」「自分にも悪いところがあると思ったから」の割合が高くなっている。

【経年比較】

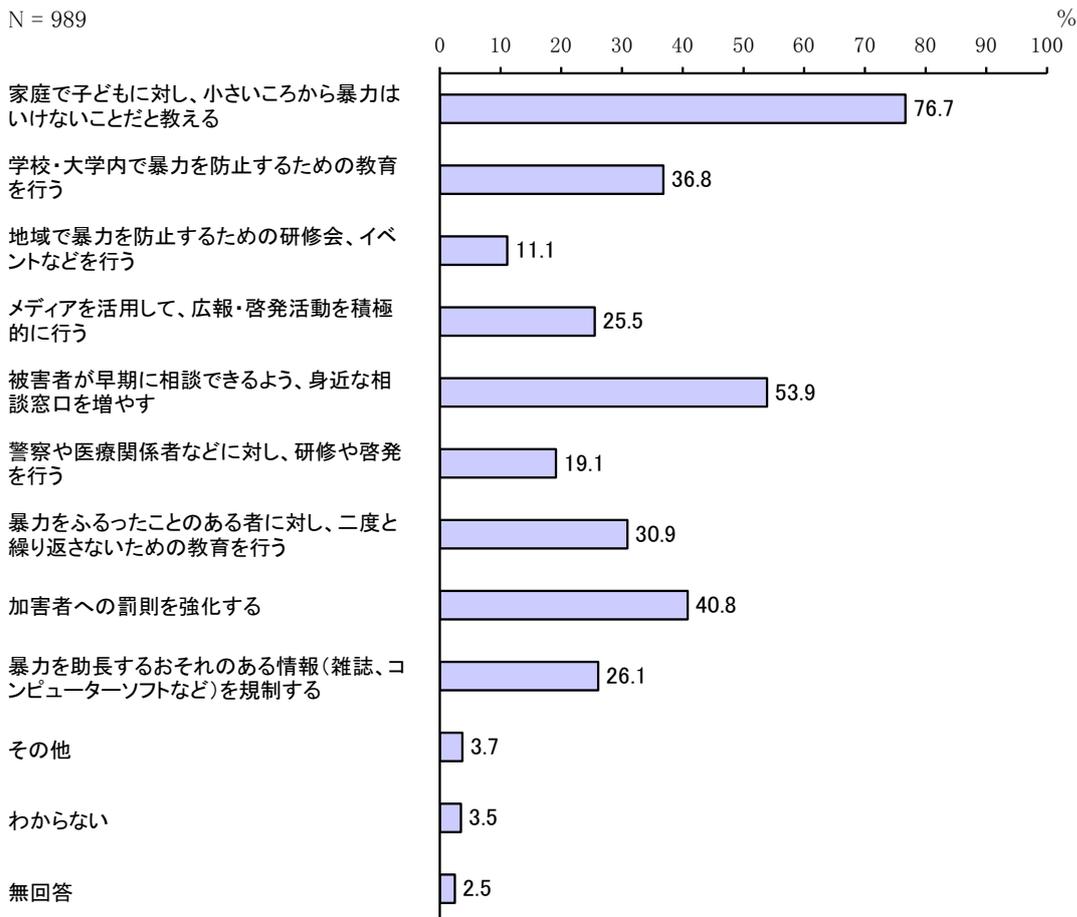
単位：%

	どこ（だれ）に相談してよいのか分からなかったから	恥ずかしくてだれにも言えなかったから	相談してもむだだと思ったから	相談したことがわかると、もっとひどい暴力をうけるとあったから	相談した相手の言動によりかえって不快な思いをすずと思ったから	自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっているとあったから	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくなかったから	そのことについて思い出したくなかったから	自分にも悪いところがあると思ったから	相談するほどのことでもないと思ったから	その他	無回答
豊橋市（H28.8）	11.5	14.8	52.5	—	6.6	41.0	13.1	13.1	9.8	31.1	24.6	9.8	—
女性	11.6	16.3	53.5	—	7.0	39.5	9.3	14.0	14.0	25.6	20.9	11.6	—
男性	11.8	11.8	47.1	—	5.9	41.2	23.5	11.8	—	47.1	35.3	5.9	—
豊橋市（H26.9）	4.0	16.0	38.7	—	4.0	32.0	6.7	14.7	4.0	25.3	44.0	9.3	1.3
女性	6.0	18.0	42.0	—	6.0	38.0	6.0	14.0	6.0	20.0	32.0	10.0	—
男性	—	12.5	33.3	—	—	20.8	8.3	16.7	—	33.3	66.7	8.3	4.2
豊橋市（H23.6）	5.7	15.1	33.0	0.9	2.8	25.5	6.6	9.4	4.7	30.2	52.8	—	0.9
女性	7.7	18.5	30.8	0.0	4.6	27.7	6.2	9.2	1.5	23.1	49.2	—	1.5
男性	2.5	7.5	37.5	0.0	0.0	22.5	7.5	10.0	10.0	42.5	60.0	—	0.0
豊橋市（H20.5）	12.2	12.2	41.5	8.2	4.8	30.6	5.4	12.2	8.8	31.3	40.8	2.7	0.0
女性	12.2	10.2	42.9	8.2	4.1	29.6	5.1	11.2	10.2	25.5	38.8	3.1	0.0
男性	13.0	17.4	39.1	8.7	6.5	30.4	6.5	15.2	6.5	43.5	43.5	2.2	0.0
豊橋市（H17.5）	5.5	29.1	36.4	9.1	3.6	41.8	9.1	12.7	10.9	23.6	29.1	1.8	1.8
女性	4.8	31.0	31.0	11.9	4.8	40.5	9.5	14.3	14.3	19.0	23.8	2.4	0.0
男性	7.7	23.1	53.8	0.0	0.0	46.2	7.7	7.7	0.0	38.5	46.2	0.0	7.7
豊橋市（H13.8）	6.8	22.7	47.7	6.8	4.5	34.1	13.6	15.9	9.1	36.4	38.6	6.8	2.3
女性	9.1	21.2	54.5	9.1	6.1	33.3	12.1	15.2	12.1	33.3	39.4	3.0	0.0
男性	0.0	30.0	30.0	0.0	0.0	30.0	20.0	20.0	0.0	50.0	40.0	20.0	10.0

## 8-4 男女間の暴力を防止するために必要なこと

問 20. 男女間における暴力を防止するために必要と思うものをすべて選んで○をつけてください。

「家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える」の割合が76.7%と最も高く、次いで「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」の割合が53.9%、「加害者への罰則を強化する」の割合が40.8%となっている。



性別でみると、男性に比べ、女性で「暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う」「暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を規制する」の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「加害者への罰則を強化する」の割合が高くなっている。

【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える	学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う	地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	積極的に メディアを活用して、 広報・啓発活動を行う	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う	暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	加害者への罰則を強化する	暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、コンピューターソフトなど)を規制する	その他	わからない	無回答
女性	555	78.6	37.7	9.9	24.1	54.8	17.3	33.7	37.7	30.5	3.2	3.2	2.7
男性	418	74.6	36.1	12.7	28.0	52.9	21.1	27.5	45.5	20.6	4.5	3.8	1.9

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 40 歳以上で「家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える」の割合が高くなっている。また、男性 20 歳代、30 歳代で「加害者への罰則を強化する」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える	学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う	地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う	暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	加害者への罰則を強化する	暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、コンピュータソフトなど)を規制する	その他	わからない	無回答
女性 20 歳代	56	67.9	30.4	10.7	17.9	53.6	12.5	35.7	44.6	10.7	5.4	1.8	3.6
30 歳代	93	73.1	38.7	7.5	29.0	65.6	29.0	33.3	59.1	31.2	3.2	6.5	0.0
40 歳代	72	83.3	40.3	12.5	25.0	52.8	11.1	36.1	38.9	26.4	5.6	2.8	1.4
50 歳代	110	78.2	36.4	9.1	23.6	59.1	20.9	35.5	30.9	38.2	3.6	1.8	0.9
60 歳代	115	85.2	39.1	8.7	24.3	53.9	17.4	31.3	33.0	34.8	0.9	2.6	1.7
70 歳以上	75	81.3	37.3	14.7	22.7	44.0	9.3	38.7	29.3	33.3	0.0	4.0	8.0
男性 20 歳代	40	70.0	22.5	10.0	17.5	50.0	20.0	37.5	65.0	15.0	12.5	0.0	2.5
30 歳代	56	66.1	30.4	14.3	21.4	46.4	39.3	28.6	69.6	10.7	8.9	0.0	0.0
40 歳代	63	73.0	34.9	9.5	31.7	50.8	19.0	27.0	49.2	14.3	3.2	4.8	1.6
50 歳代	73	75.3	45.2	4.1	28.8	53.4	13.7	21.9	42.5	15.1	6.8	5.5	0.0
60 歳代	89	77.5	37.1	12.4	25.8	62.9	23.6	21.3	32.6	23.6	2.2	4.5	3.4
70 歳以上	97	79.4	38.1	21.6	35.1	49.5	15.5	33.0	35.1	34.0	0.0	5.2	3.1

豊橋市の平成26年との比較でみると、「学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う」「メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う」「加害者への罰則を強化する」の割合が高くなっている。

【経年比較】

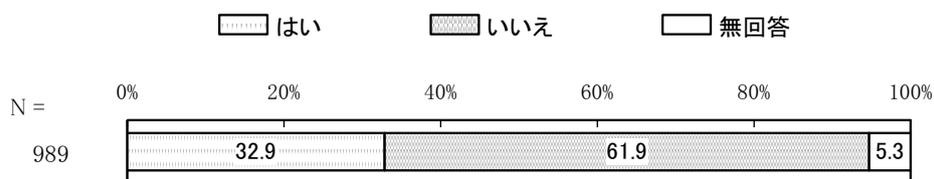
単位：%

	家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える	学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う	地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的にを行う	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う	暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	加害者への罰則を強化する	暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を規制する	その他	わからない	無回答
豊橋市（H28.8）	76.7	36.8	11.1	25.5	53.9	19.1	30.9	40.8	26.1	3.7	3.5	2.5
女性	78.6	37.7	9.9	24.1	54.8	17.3	33.7	37.7	30.5	3.2	3.2	2.7
男性	74.6	36.1	12.7	28.0	52.9	21.1	27.5	45.5	20.6	4.5	3.8	1.9
豊橋市（H26.9）	76.2	32.7	9.0	20.6	51.5	16.1	28.0	36.6	28.1	3.1	4.0	3.8
女性	78.9	35.5	7.3	21.1	55.6	16.3	30.7	35.8	32.7	2.5	3.6	3.6
男性	72.8	28.9	11.1	20.2	46.8	16.3	25.0	37.9	22.7	3.9	4.5	3.9

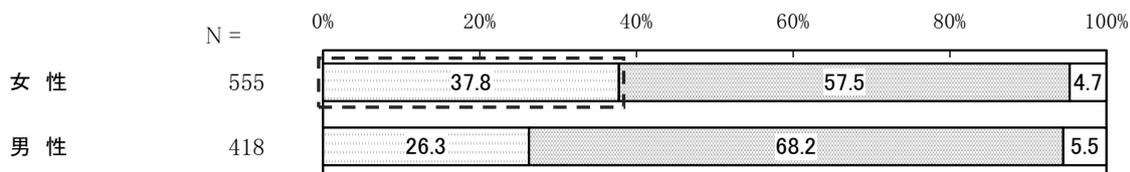
## 8-5 豊橋市DV相談窓口の認知度

問 21. 豊橋市にDV相談窓口（電話相談・面接相談）があることを知っていましたか。

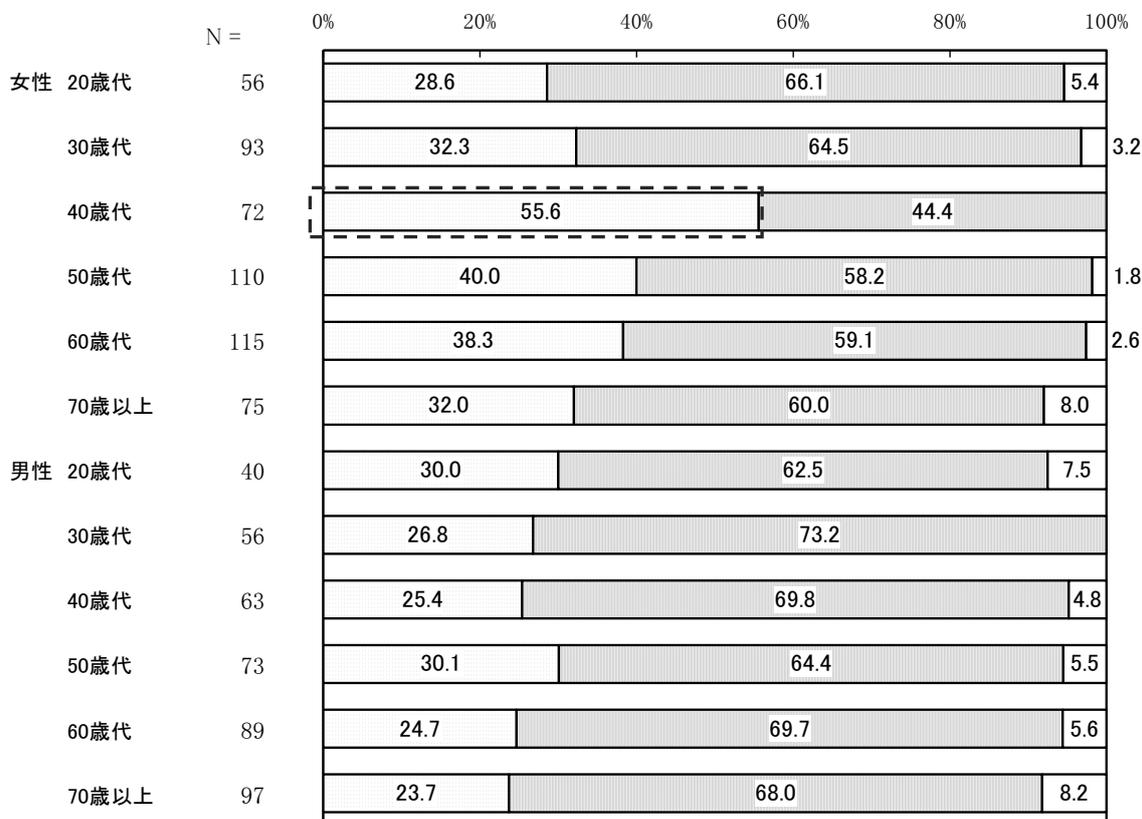
「はい」の割合が32.9%、「いいえ」の割合が61.9%となっている。  
 性別で見ると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっている。  
 性・年代別で見ると、他に比べ、女性40歳代で「はい」の割合が高くなっている。



### 【性別】



### 【性・年代別】



豊橋市の平成 26 年との比較で見ると、「はい」の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：%

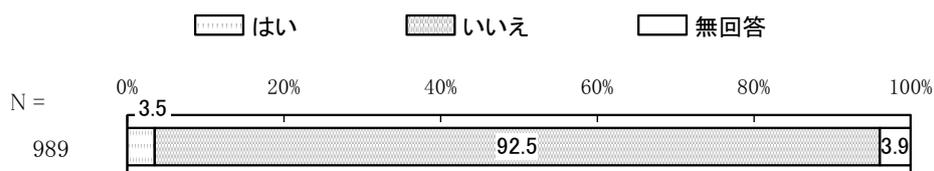
	はい	いいえ	無回答
豊橋市（H28.8）	32.9	61.9	5.3
女性	37.8	57.5	4.7
男性	26.3	68.2	5.5
豊橋市（H26.9）	28.8	65.1	6.0
女性	33.7	60.2	6.1
男性	23.3	70.9	5.8

## 9 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」について

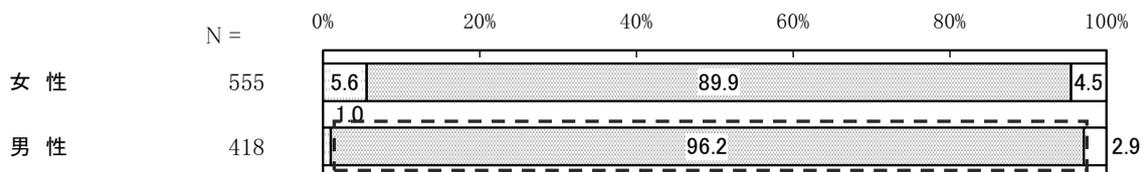
### 9-1 男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無

問 22. 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」を利用したことがありますか。

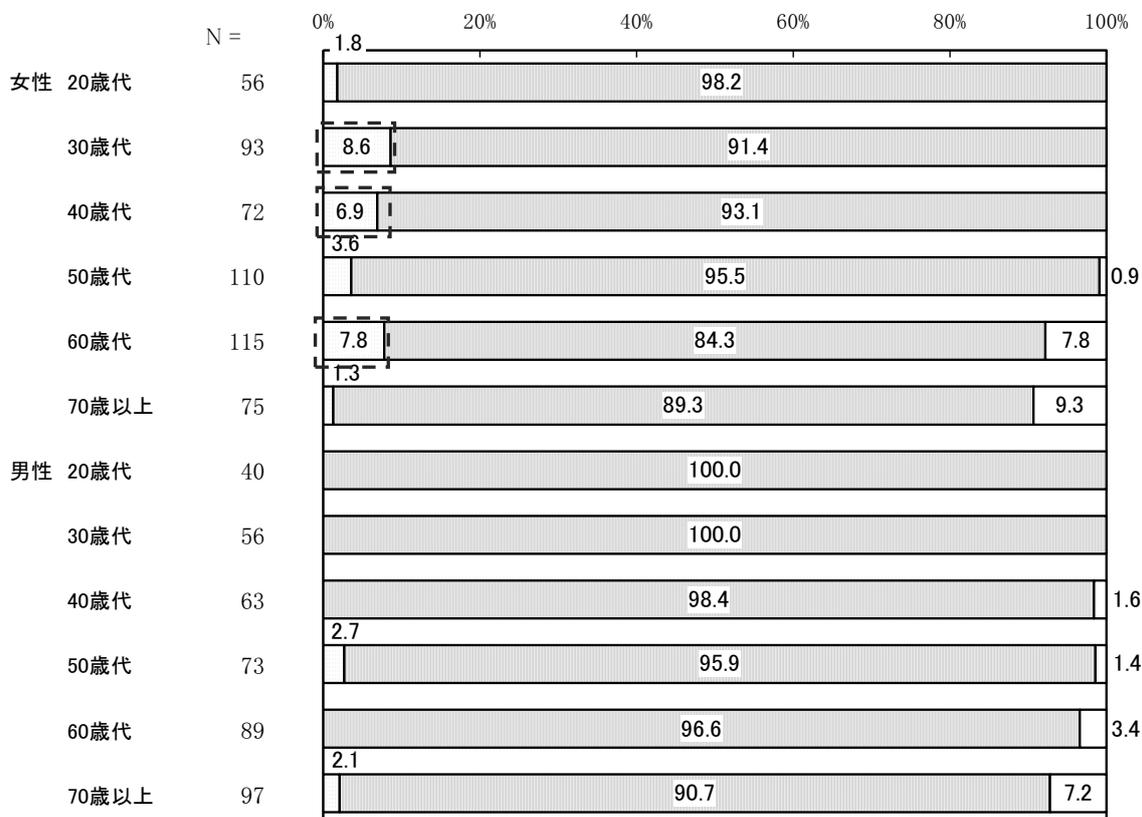
「はい」の割合が3.5%、「いいえ」の割合が92.5%となっている。  
 性別でみると、女性に比べ、男性で「いいえ」の割合が高くなっている。  
 性・年代別でみると、女性30歳代、40歳代、60歳代で「はい」の割合が高くなっている。



#### 【性別】



#### 【性・年代別】



豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成26年に比べ、平成28年で「いいえ」の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：％

	はい	いいえ	無回答
豊橋市（H28.8）	3.5	92.5	3.9
女性	5.6	89.9	4.5
男性	1.0	96.2	2.9
豊橋市（H26.9）	6.2	87.1	6.7
女性	7.5	85.9	6.6
男性	4.9	88.7	6.4
豊橋市（H23.6）	4.2	93.2	2.6
女性	5.5	92.5	2.0
男性	2.2	95.2	2.6
豊橋市（H20.5）	9.4	83.4	7.1
女性	13.1	80.2	6.7
男性	5.0	87.3	7.7
豊橋市（H17.5）	8.9	85.4	5.7
女性	11.2	85.5	3.3
男性	5.4	85.5	9.1
豊橋市（H13.8）	11.8	81.4	6.8
女性	16.2	79.7	4.1
男性	6.2	84.5	9.3

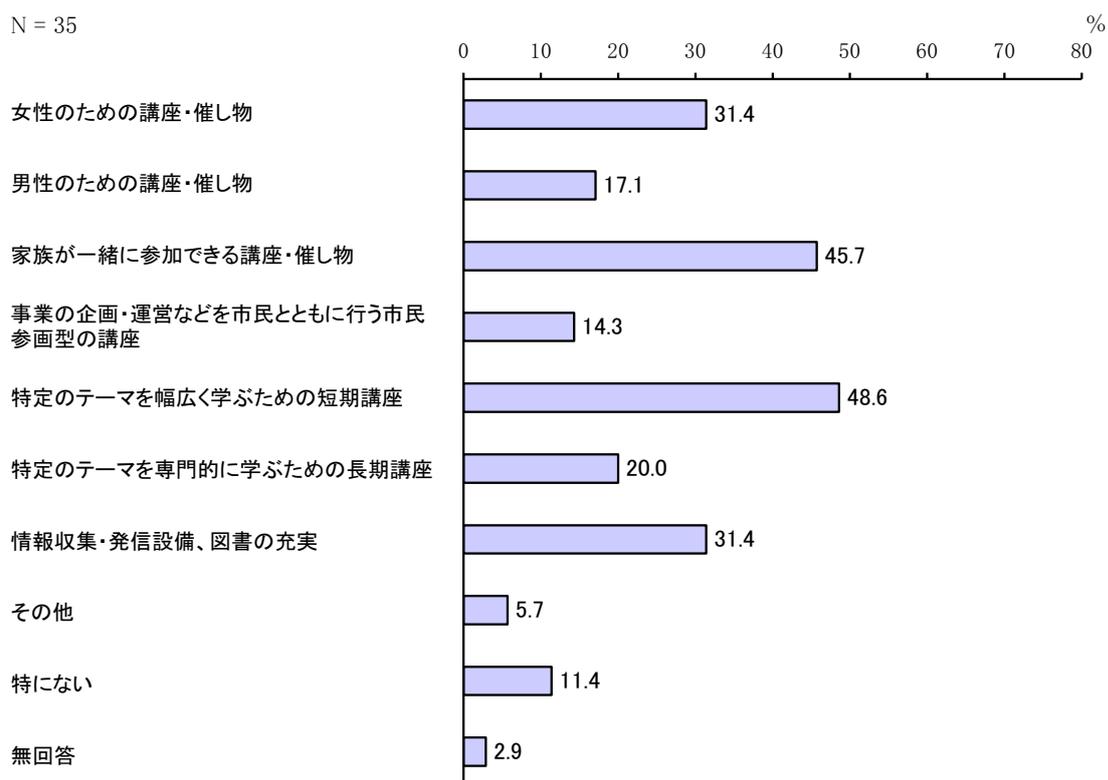
## 9-2 充実してほしい内容

《問22で「1. はい」と答えた方のみお聞きします》

問22-1. 今後、男女共同参画センターの事業として、どんなことを充実してほしいと思いますか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座」の割合が48.6%と最も高く、次いで「家族と一緒に参加できる講座・催し物」の割合が45.7%、「女性のための講座・催し物」「情報収集・発信設備、図書の充実」の割合が31.4%となっている。

性別では、有効回答数が少ないため参考とする。



### 【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	女性のための講座・催し物	男性のための講座・催し物	家族と一緒に参加できる講座・催し物	事業の企画・運営などを市民とともに進める市民参画型の講座	特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座	特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座	情報収集・発信設備、図書の充実	その他	特になし	無回答
女性	31	35.5	16.1	51.6	16.1	51.6	22.6	35.5	6.5	6.5	3.2
男性	4	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

豊橋市の過去の調査との比較でみると、年々、「女性のための講座」「家族と一緒に参加できる催し物・講座」の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：％

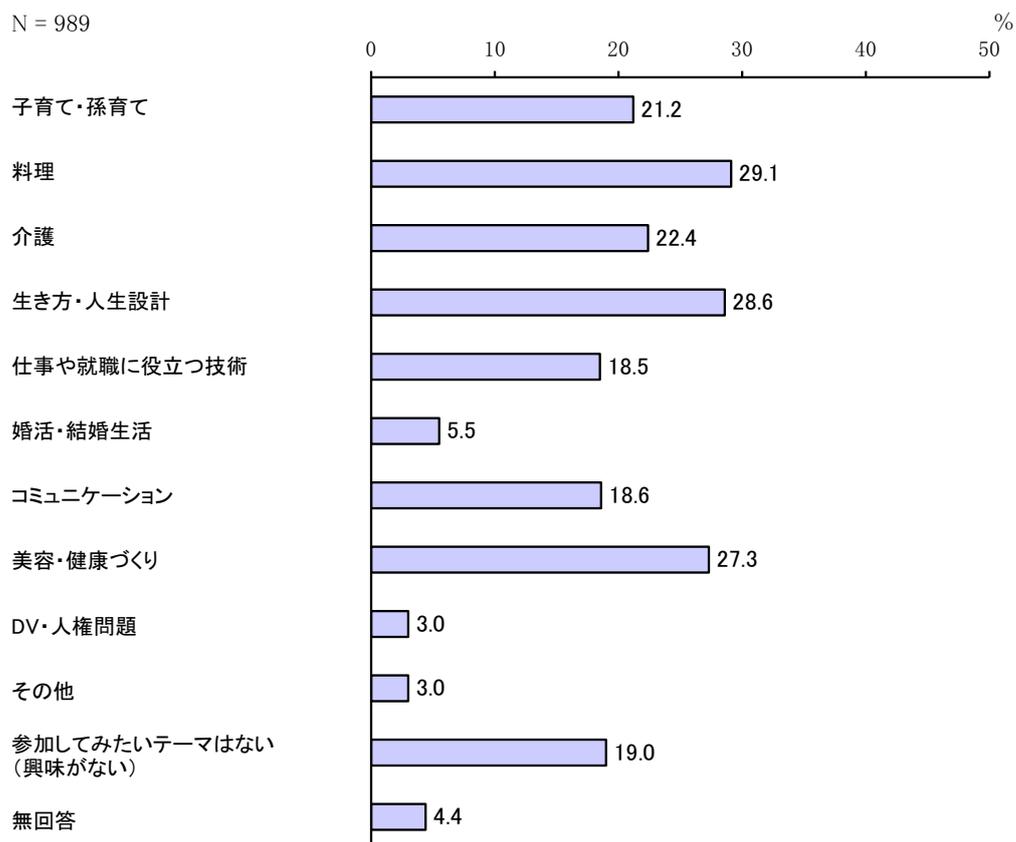
	女性のための講座	男性のための講座	家族と一緒に参加できる催し物・講座	事業の企画・運営などを市民とともに行う市民参画型の講座	特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座（1～3回）	特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座	情報の収集・発信、図書の内容（※1）	開館日時や催し物の曜日・時間をかえてほしい	地域に出向いて講座	その他	特にない	無回答
豊橋市（H28.8）	31.4	17.1	45.7	14.3	48.6	20.0	31.4	—	—	5.7	11.4	2.9
女性	35.5	16.1	51.6	16.1	51.6	22.6	35.5	—	—	6.5	6.5	3.2
男性	—	25.0	—	—	25.0	—	—	—	—	—	50.0	—
豊橋市（H26.9）	20.0	11.4	41.4	14.3	31.4	12.9	15.7	—	—	7.1	18.6	1.4
女性	24.4	6.7	35.6	8.9	42.2	17.8	8.9	—	—	6.7	17.8	2.2
男性	12.0	20.0	52.0	24.0	12.0	4.0	28.0	—	—	8.0	20.0	—
豊橋市（H23.6）	20.0	13.3	37.8	20.0	51.1	28.9	15.6	—	—	6.7	15.6	2.2
女性	21.2	9.1	39.4	21.2	57.6	33.3	18.2	—	—	6.1	9.1	3.0
男性	10.0	30.0	40.0	20.0	40.0	20.0	10.0	—	—	10.0	30.0	0.0
豊橋市（H20.5）	—	15.3	37.8	10.8	34.2	15.3	23.4	11.7	14.4	10.8	15.3	4.5
女性	—	14.3	39.3	7.1	38.1	16.7	21.4	13.1	11.9	8.3	16.7	4.8
男性	—	20.0	32.0	24.0	24.0	12.0	32.0	8.0	24.0	16.0	8.0	4.0
豊橋市（H17.5）	—	17.0	25.5	12.8	28.7	24.5	28.7	12.8	16.0	4.3	14.9	5.3
女性	—	13.0	24.6	13.0	36.2	26.1	33.3	17.4	18.8	5.8	11.6	1.4
男性	—	30.4	30.4	13.0	8.7	21.7	17.4	0.0	8.7	0.0	21.7	13.0
豊橋市（H13.8）	—	8.3	16.9	6.7	14.4	6.4	20.2	5.2	9.0	4.1	16.9	35.9
女性	—	7.1	15.8	6.7	17.9	8.3	23.5	7.7	12.0	3.2	15.4	32.5
男性	—	10.1	19.1	6.2	9.8	4.1	15.5	2.3	5.2	5.7	18.6	39.8

※1：平成20年以前の選択肢は「情報収集・発信の充実」

### 9-3 参加してみたいと思う講座のテーマ

問 23. 男女共同参画センターではさまざまな講座を開催しています。男女共同参画に関係のある項目のうち、参加してみたいと思う講座をすべて選んで○をつけてください。

「料理」の割合が29.1%と最も高く、次いで「生き方・人生設計」の割合が28.6%、「美容・健康づくり」の割合が27.3%となっている。



性別でみると、男性に比べ、女性で「子育て・孫育て」「料理」「美容・健康づくり」の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「コミュニケーション」「参加してみたいテーマはない（興味がない）」の割合が高くなっている。

性・年代別でみると、他に比べ、女性 20 歳代で「料理」の割合が、女性 20 歳代、30 歳代で「子育て・孫育て」の割合が、男性 20 歳代で「生き方・人生設計」の割合が高くなっている。

【性別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	子育て・孫育て	料理	介護	生き方・人生設計	仕事や就職に役立つ技術	婚活・結婚生活	コミュニケーション	美容・健康づくり	DV・人権問題	その他	参加してみたいテーマはない(興味がない)	無回答
女性	555	24.9	32.6	23.4	27.2	19.3	4.1	14.6	36.9	4.0	2.7	15.7	4.9
男性	418	16.7	25.4	20.8	30.6	17.7	7.4	24.4	15.3	1.9	3.6	22.7	3.3

【性・年代別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	子育て・孫育て	料理	介護	生き方・人生設計	仕事や就職に役立つ技術	婚活・結婚生活	コミュニケーション	美容・健康づくり	DV・人権問題	その他	参加してみたいテーマはない(興味がない)	無回答
女性 20 歳代	56	41.1	57.1	8.9	26.8	28.6	21.4	26.8	51.8	3.6	5.4	5.4	0.0
30 歳代	93	48.4	41.9	10.8	25.8	35.5	7.5	12.9	35.5	3.2	3.2	14.0	0.0
40 歳代	72	29.2	40.3	23.6	30.6	23.6	2.8	18.1	36.1	4.2	0.0	20.8	0.0
50 歳代	110	18.2	25.5	32.7	23.6	20.0	0.9	12.7	46.4	7.3	1.8	18.2	3.6
60 歳代	115	18.3	28.7	25.2	33.0	12.2	0.0	15.7	36.5	1.7	2.6	15.7	2.6
70 歳以上	75	5.3	18.7	29.3	18.7	1.3	1.3	9.3	21.3	4.0	2.7	21.3	16.0
男性 20 歳代	40	37.5	40.0	12.5	47.5	37.5	25.0	35.0	17.5	5.0	2.5	7.5	0.0
30 歳代	56	28.6	25.0	10.7	28.6	21.4	17.9	37.5	12.5	1.8	3.6	25.0	0.0
40 歳代	63	20.6	25.4	23.8	33.3	27.0	14.3	28.6	4.8	0.0	1.6	25.4	0.0
50 歳代	73	5.5	16.4	28.8	35.6	16.4	1.4	26.0	17.8	4.1	5.5	23.3	1.4
60 歳代	89	16.9	36.0	21.3	25.8	15.7	1.1	20.2	21.3	1.1	5.6	21.3	0.0
70 歳以上	97	7.2	16.5	21.6	23.7	4.1	0.0	12.4	15.5	1.0	2.1	26.8	13.4

豊橋市の平成26年との比較で見ると、「美容・健康づくり」の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：％

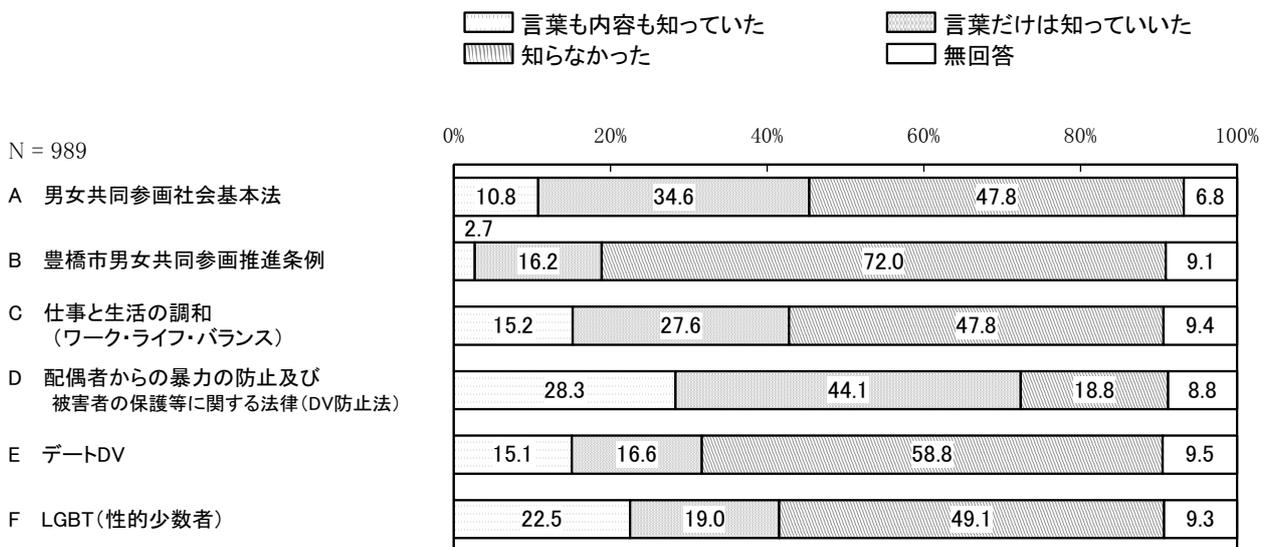
	子育て・孫育て	料理	介護	生き方・人生設計	仕事や就職に役立つ技術	婚活・結婚生活	コミュニケーション	美容・健康づくり	DV・人権問題	その他	参加してみたいテーマはない(興味がない)	無回答
豊橋市（H28.8）	21.2	29.1	22.4	28.6	18.5	5.5	18.6	27.3	3.0	3.0	19.0	4.4
女性	24.9	32.6	23.4	27.2	19.3	4.1	14.6	36.9	4.0	2.7	15.7	4.9
男性	16.7	25.4	20.8	30.6	17.7	7.4	24.4	15.3	1.9	3.6	22.7	3.3
豊橋市（H26.9）	21.2	27.5	22.0	25.1	16.4	4.8	17.1	20.9	2.5	1.7	22.2	5.8
女性	25.9	31.0	24.7	26.4	18.9	4.3	16.1	30.8	1.8	1.7	16.9	6.8
男性	15.5	23.7	18.6	23.7	13.8	5.2	18.6	9.5	3.3	1.7	28.3	4.5

## 10 男女共同参画社会について

### 10-1 用語の周知

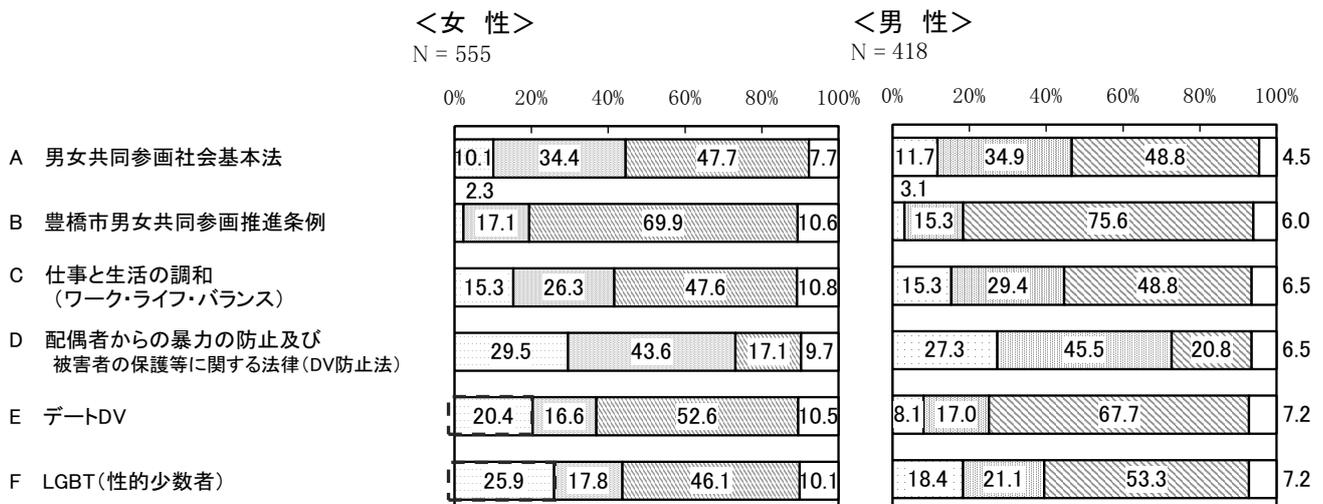
問 24. 次の用語について知っていましたか。A～Fのそれぞれの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

『D 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）』で「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」をあわせた“知っていた（※）”の割合が高く、約7割となっている。一方、『B 豊橋市男女共同参画推進条例』で「知らなかった」の割合が高く、約7割となっている。



#### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で『E デートDV』『F LGBT（性的少数者）』について「言葉も内容も知っていた」の割合が高くなっている。



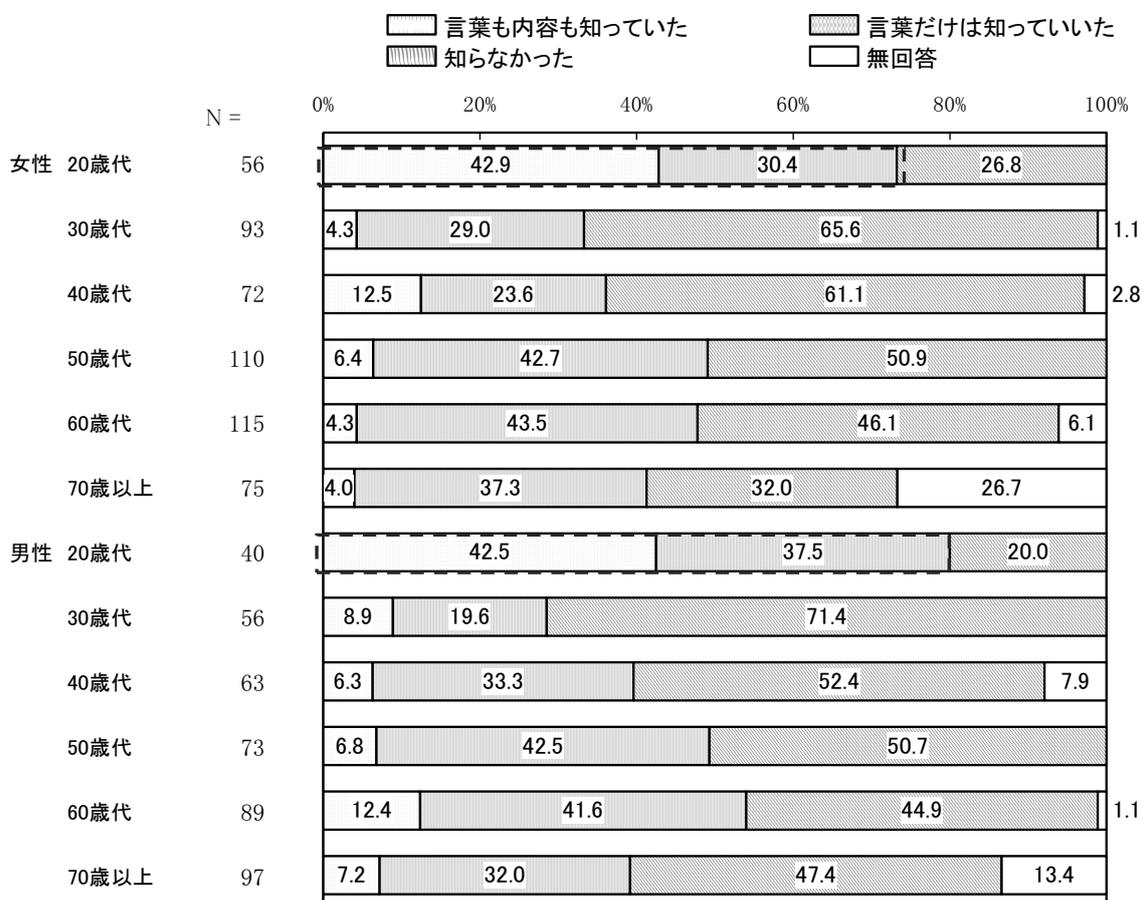
※ 「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」の計

性・年代別で見ると、『A 男女共同参画社会基本法』については男女ともに20歳代で“知っている(※)”の割合が高くなっている。また、『C 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)』については、女性では年齢が高くなるにつれ“知っている(※)”の割合が低くなる傾向にあるのに対し、男性では20歳代から60歳代まで“知っている(※)”の割合が高くなっている。

一方、『F LGBT(性的少数者)』については、女性70歳以上で“知っている(※)”の割合が2割未満と低くなっている。

### A 男女共同参画社会基本法

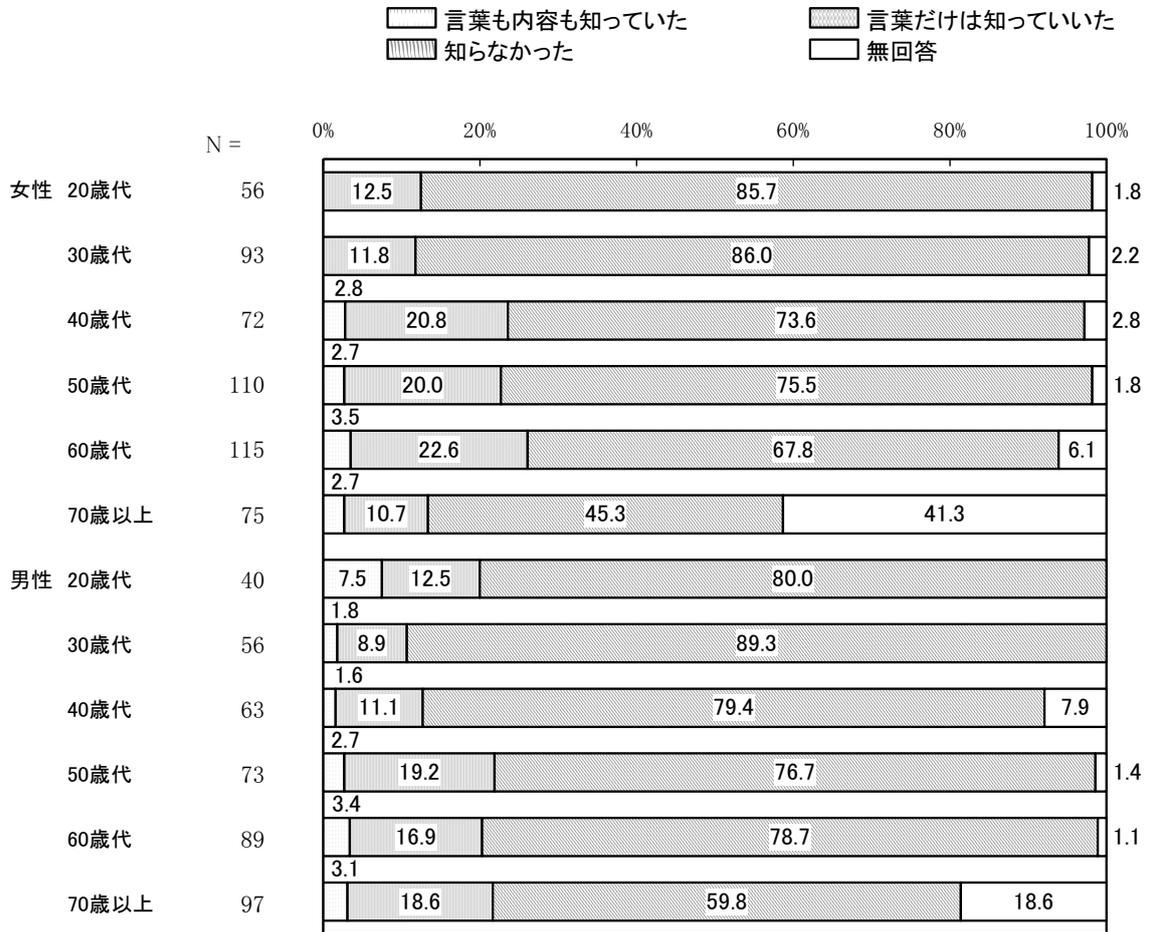
#### 【性・年代別】



※ 「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」の計

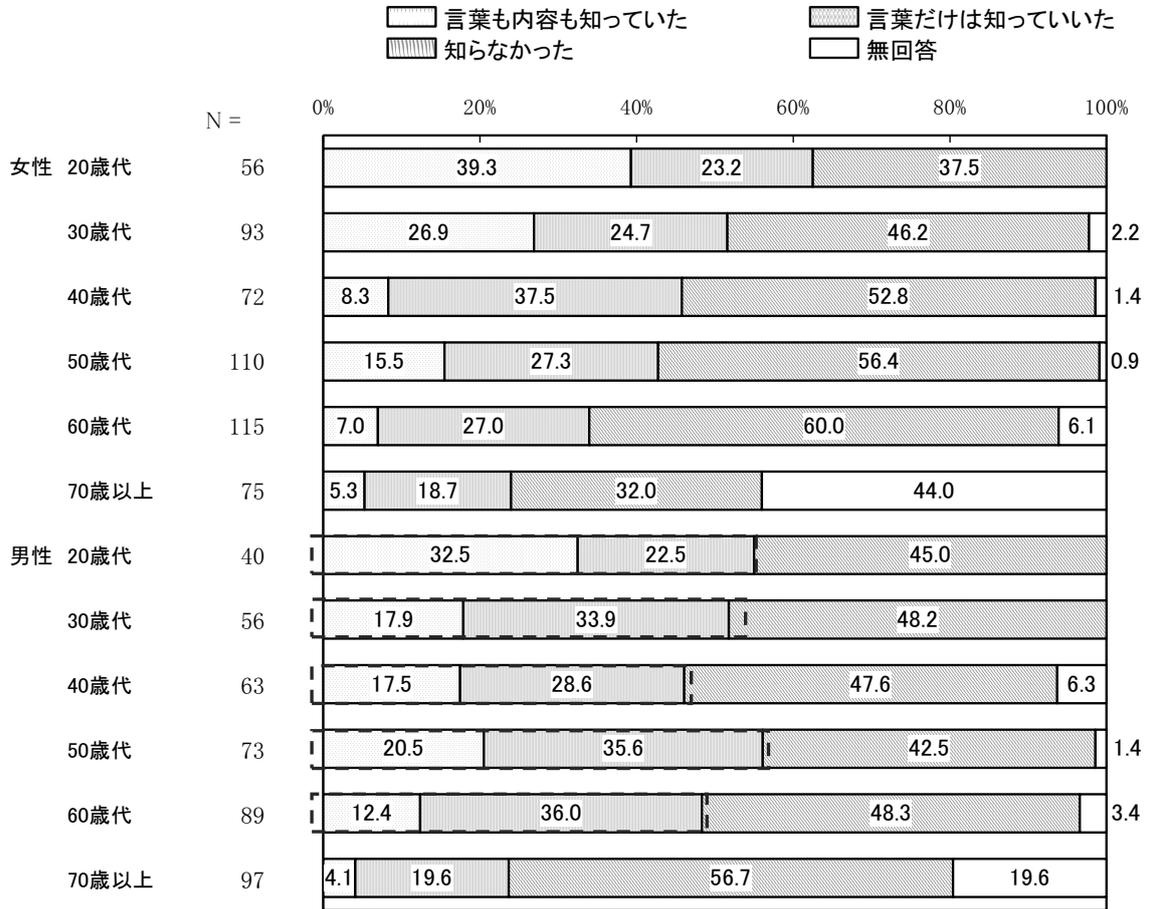
## B 豊橋市男女共同参画推進条例

### 【性・年代別】



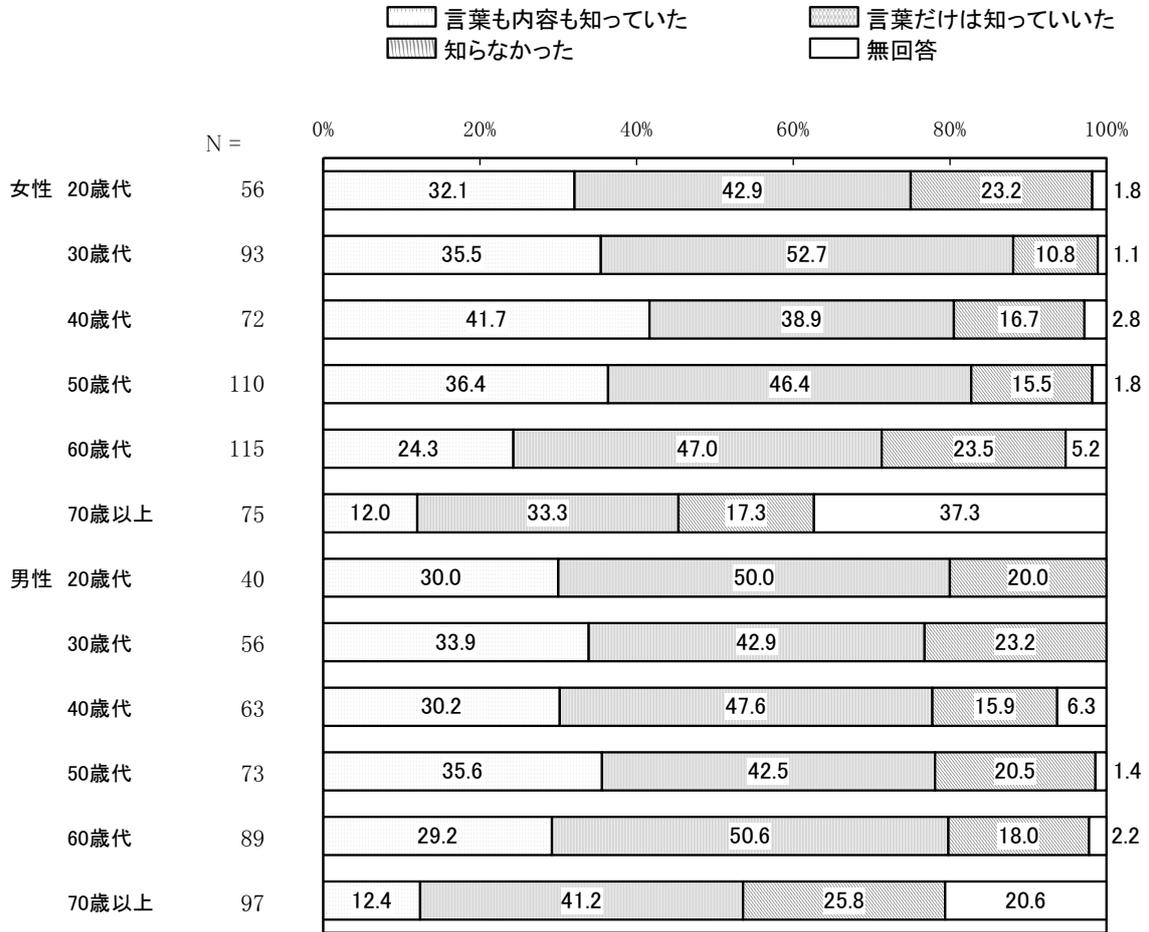
C 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

【性・年代別】



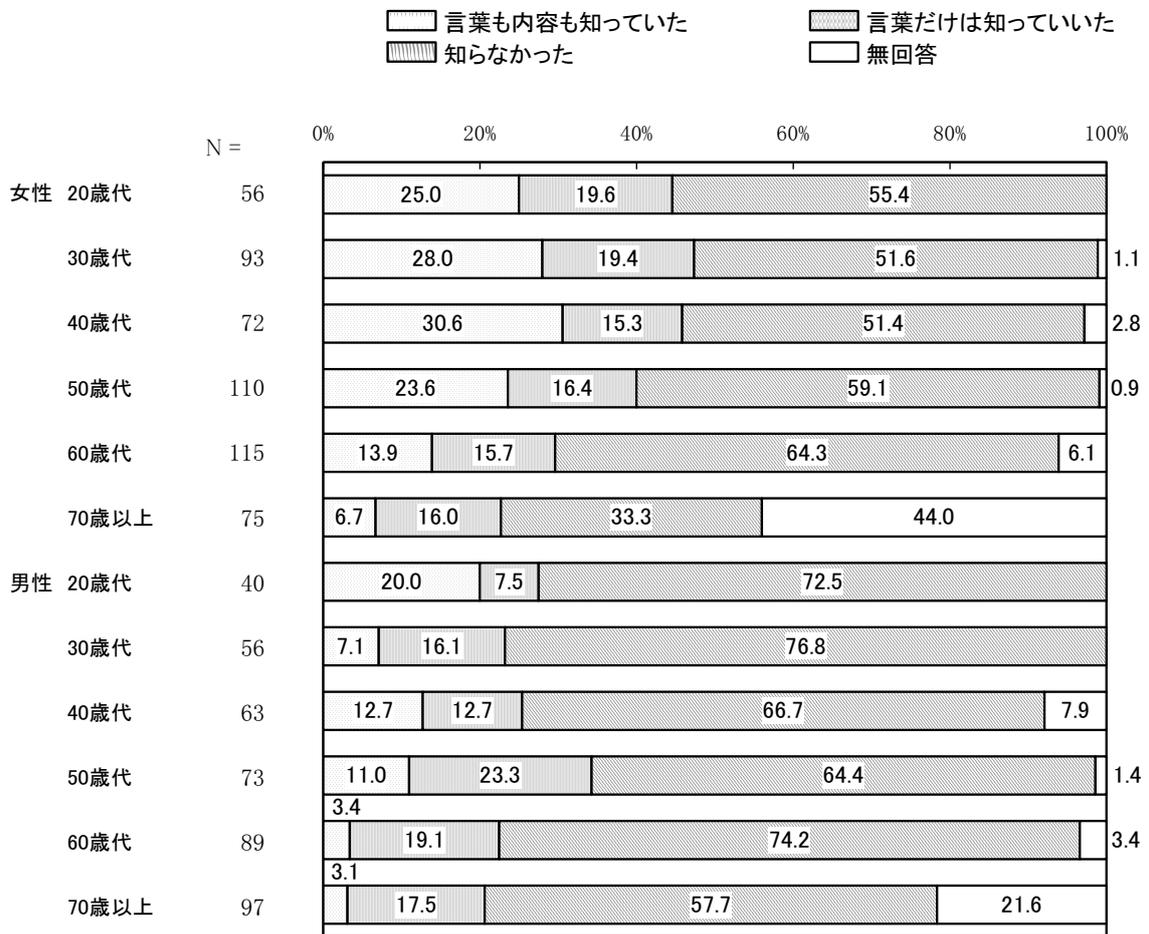
D 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）

【性・年代別】



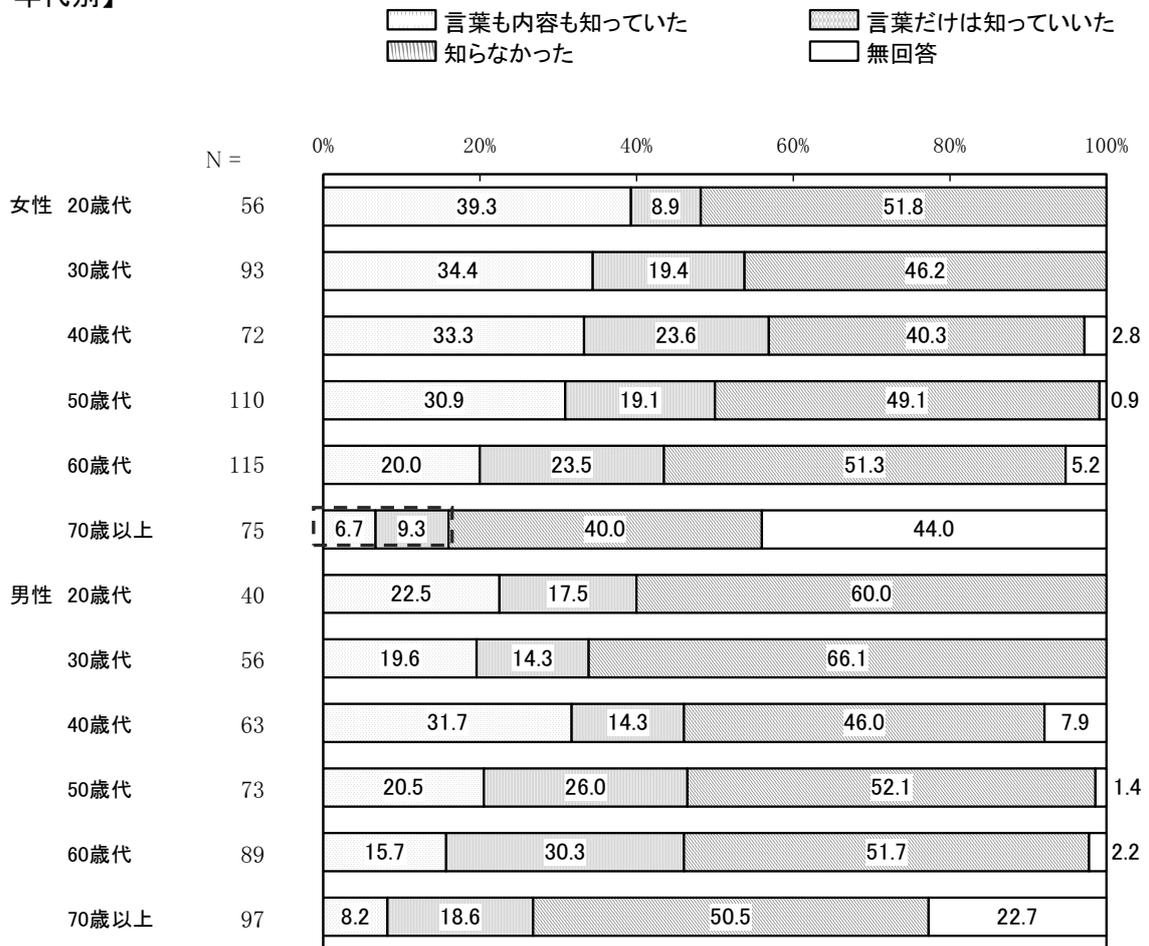
E デートDV

【性・年代別】



F LGBT（性的少数者）

【性・年代別】



豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成28年と比較し、“知っている（※）”の割合が『C 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）』と『D 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）』で高くなっている。

【経年比較】

A 男女共同参画社会基本法

単位：％

	言葉も内容も 知っていた	言葉だけ 知っていた	知らなかった	無回答
豊橋市（H28.8）	10.8	34.6	47.8	6.8
女性	10.1	34.4	47.7	7.7
男性	11.7	34.9	48.8	4.5
豊橋市（H26.9）	8.2	35.0	50.8	6.0
女性	6.3	36.8	50.2	6.6
男性	9.5	33.0	52.2	5.2
豊橋市（H23.6）	5.7	27.9	63.1	3.2
女性	5.0	27.2	64.7	3.2
男性	6.7	28.7	62.0	2.6
豊橋市（H20.5）	8.5	33.0	52.2	6.3
女性	5.5	36.0	52.1	6.4
男性	12.1	29.8	51.8	6.3
豊橋市（H17.5）	7.5	29.7	58.0	4.8
女性	5.0	30.8	60.6	3.6
男性	11.2	28.3	54.2	6.3

※ 「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」の計

B 豊橋市男女共同参画推進条例

単位：％

	言葉も内容も 知っていた	言葉だけは 知っていた	知らなかった	無回答
豊橋市（H28.8）	2.7	16.2	72.0	9.1
女性	2.3	17.1	69.9	10.6
男性	3.1	15.3	75.6	6.0
豊橋市（H26.9）	1.6	18.0	74.1	6.3
女性	2.2	19.2	72.0	6.6
男性	0.8	16.5	76.9	5.8
豊橋市（H23.6）	1.4	15.7	79.0	3.9
女性	1.3	17.6	77.8	3.3
男性	1.3	13.2	81.6	3.9
豊橋市（H20.5）	3.2	17.0	73.0	6.8
女性	2.5	20.3	70.2	7.0
男性	3.8	13.1	76.4	6.7
豊橋市（H17.5）	3.4	18.4	72.3	5.9
女性	3.3	19.9	72.1	4.7
男性	3.7	16.4	72.9	7.0

C 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

単位：％

	言葉も内容も 知っていた	言葉だけは 知っていた	知らなかった	無回答
豊橋市（H28.8）	15.2	27.6	47.8	9.4
女性	15.3	26.3	47.6	10.8
男性	15.3	29.4	48.8	6.5
豊橋市（H26.9）	10.9	24.1	57.9	7.1
女性	11.1	24.7	56.2	8.0
男性	10.5	23.3	60.2	6.0
豊橋市（H23.6）	7.2	28.9	58.8	5.1
女性	6.3	28.4	60.9	4.5
男性	8.4	29.4	57.2	5.0

D 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）

単位：％

	言葉も内容も 知っていた	言葉だけは 知っていた	知らなかった	無回答
豊橋市（H28.8）	28.3	44.1	18.8	8.8
女性	29.5	43.6	17.1	9.7
男性	27.3	45.5	20.8	6.5
豊橋市（H26.9）	24.0	42.7	27.2	6.0
女性	25.9	44.6	22.9	6.6
男性	21.0	41.0	32.8	5.2
豊橋市（H23.6）	18.6	58.2	19.2	4.0
女性	16.1	62.2	17.9	3.8
男性	21.8	53.6	21.0	3.7
豊橋市（H20.5）	33.2	42.1	18.5	6.3
女性	33.9	44.5	15.1	6.6
男性	31.7	39.5	22.6	6.2
豊橋市（H17.5）	36.1	34.4	24.1	5.4
女性	36.5	37.1	21.8	4.6
男性	36.0	30.6	27.1	6.3

E デートDV

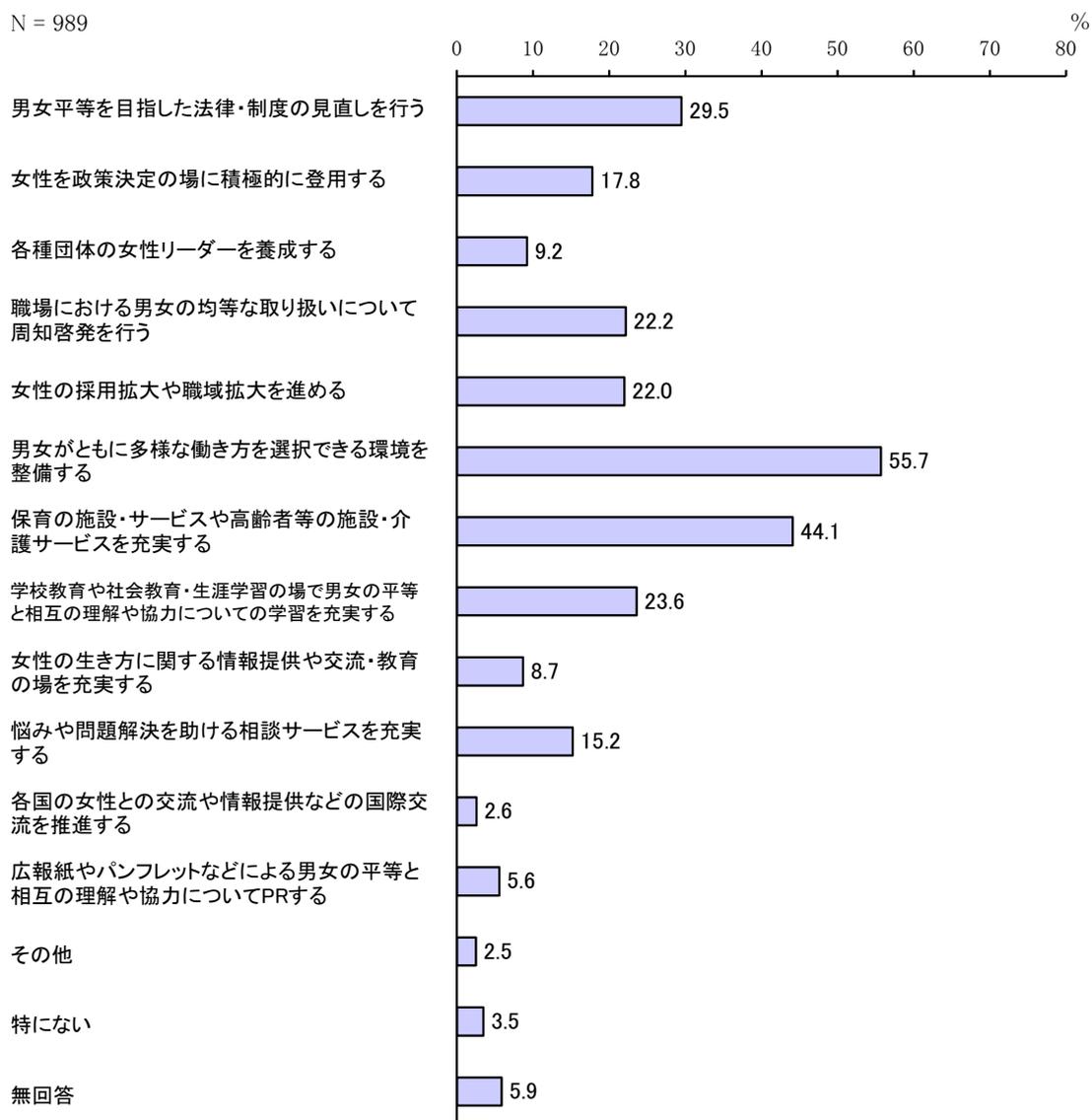
単位：％

	言葉も内容も 知っていた	言葉だけは 知っていた	知らなかった	無回答
豊橋市（H28.8）	15.1	16.6	58.8	9.5
女性	20.4	16.6	52.6	10.5
男性	8.1	17.0	67.7	7.2
豊橋市（H26.9）	10.6	17.6	65.2	6.7
女性	13.6	19.9	59.2	7.3
男性	6.6	15.0	72.6	5.8

## 10-2 男女共同参画社会実現のために行政に望むこと

問 25. 男女共同参画社会の実現のために、行政（国・県・市）はどのようなことに力を入れればよいと思いますか。次の中から主なものを3つ選んで○をつけてください。

「男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する」の割合が 44.1%、「男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う」の割合が 29.5%となっている。



性別でみると、男性に比べ、女性で「保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する」の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う」の割合が高くなっている。

【性別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う	女性を政策決定の場に積極的に登用する	各種団体の女性リーダーを養成する	職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う	女性の採用拡大や職域拡大を進める	男女がともに多様な働き方を選べる環境を整備する	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する
女性	555	26.5	16.8	8.5	20.9	24.1	56.0	49.2
男性	418	34.2	19.4	9.6	24.2	19.6	55.7	37.8

区分	学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	女性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する	各国の女性との交流や情報提供などの国際交流を推進する	広報紙やパンフレットなどによる男女の平等と相互の理解や協力について啓発する	その他	特になし	無回答
女性	23.2	9.7	15.1	2.2	5.4	1.8	2.3	7.0
男性	24.4	6.9	15.1	3.3	6.0	3.6	5.0	3.8

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 40 歳代で「保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する」の割合が高くなっている。また、男性 20 歳代で「男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う」の割合が、女性 20 歳代で「女性の採用拡大や職域拡大を進める」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う	女性を政策決定の場に積極的に登用する	各種団体の女性リーダーを養成する	職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う	女性の採用拡大や職域拡大を進める	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する
女性 20 歳代	56	21.4	12.5	10.7	23.2	41.1	57.1	48.2
30 歳代	93	29.0	18.3	8.6	24.7	32.3	54.8	50.5
40 歳代	72	37.5	20.8	6.9	18.1	27.8	66.7	59.7
50 歳代	110	29.1	13.6	6.4	24.5	22.7	63.6	54.5
60 歳代	115	22.6	23.5	12.2	21.7	20.9	60.9	48.7
70 歳以上	75	22.7	10.7	8.0	14.7	10.7	40.0	44.0
男性 20 歳代	40	45.0	12.5	7.5	30.0	10.0	60.0	42.5
30 歳代	56	37.5	16.1	7.1	19.6	26.8	62.5	32.1
40 歳代	63	38.1	19.0	14.3	22.2	20.6	57.1	33.3
50 歳代	73	35.6	17.8	12.3	17.8	23.3	56.2	39.7
60 歳代	89	34.8	20.2	9.0	28.1	23.6	53.9	43.8
70 歳以上	97	23.7	24.7	7.2	26.8	12.4	50.5	35.1

区分	学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	女性の生き方に関する情報を提供や交流・教育の場を充実する	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する	各国の女性との交流や情報提供などの国際交流を推進する	PR する	互の理解や協力について	広報紙やパンフレットなどによる男女の平等と相互の理解や協力について	その他	特になし	無回答
女性 20 歳代	16.1	17.9	21.4	1.8	7.1	1.8	3.6	1.8		
30 歳代	19.4	6.5	10.8	3.2	2.2	4.3	2.2	4.3		
40 歳代	30.6	9.7	8.3	0.0	2.8	1.4	0.0	1.4		
50 歳代	25.5	8.2	20.0	3.6	5.5	0.9	2.7	2.7		
60 歳代	29.6	8.7	13.0	1.7	7.8	0.9	2.6	3.5		
70 歳以上	14.7	13.3	22.7	1.3	5.3	1.3	2.7	20.0		
男性 20 歳代	22.5	7.5	12.5	7.5	2.5	10.0	5.0	0.0		
30 歳代	23.2	5.4	17.9	5.4	1.8	7.1	3.6	1.8		
40 歳代	15.9	9.5	19.0	3.2	4.8	0.0	6.3	4.8		
50 歳代	31.5	8.2	12.3	1.4	5.5	4.1	6.8	0.0		
60 歳代	27.0	5.6	15.7	2.2	3.4	2.2	3.4	3.4		
70 歳以上	23.7	6.2	13.4	3.1	13.4	2.1	5.2	9.3		

豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成26年に比べ、平成28年で「職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う」「保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する」「学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：%

	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う	女性を政策決定の場に積極的に登用する	各種団体の女性のリーダーを養成する	職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う	女性の採用拡大や職域拡大を進める	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する	学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	女性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する	各国の女性との交流や情報提供などの国際交流を推進する	広報誌やパンフレットなどによる男女の平等と相互の理解や協力についてPRする	その他	特になし	無回答
豊橋市 (H28.8)	29.5	17.8	9.2	22.2	22.0	55.7	44.1	23.6	8.7	15.2	2.6	5.6	2.5	3.5	5.9
女性	26.5	16.8	8.5	20.9	24.1	56.0	49.2	23.2	9.7	15.1	2.2	5.4	1.8	2.3	7.0
男性	34.2	19.4	9.6	24.2	19.6	55.7	37.8	24.4	6.9	15.1	3.3	6.0	3.6	5.0	3.8
豊橋市 (H26.9)	34.1	19.8	11.1	18.7	23.4	53.3	40.3	19.8	7.4	15.9	3.5	5.8	1.2	4.3	6.4
女性	32.0	18.7	8.8	19.4	26.2	52.7	45.9	16.3	8.8	15.6	3.0	5.0	1.0	3.3	7.6
男性	36.3	20.6	13.8	17.9	20.2	54.0	33.8	24.1	5.6	16.5	4.1	6.8	1.6	5.4	4.9
豊橋市 (H23.6)	27.6	15.4	6.2	21.0	22.8	53.2	43.2	23.2	8.1	21.3	4.3	8.8	1.9	5.6	3.4
女性	24.5	15.4	6.1	21.2	25.0	55.2	48.3	20.7	9.0	21.6	5.1	7.8	1.5	5.0	3.5
男性	31.1	15.6	6.3	20.5	20.1	51.2	36.9	26.3	6.9	21.0	3.5	10.4	2.4	6.3	3.2
豊橋市 (H20.5)	23.9	18.3	7.1	15.8	20.8	48.9	48.4	21.2	7.4	14.5	3.0	6.0	1.8	3.2	6.9
女性	23.1	17.8	6.2	14.5	23.9	49.3	54.0	20.0	9.2	14.5	3.0	4.7	2.2	3.4	5.0
男性	24.8	18.8	8.1	16.5	16.7	49.2	41.3	23.4	5.4	14.3	3.2	7.7	1.2	3.2	8.5
豊橋市 (H17.5)	23.5	15.1	7.1	18.3	19.0	43.5	47.4	22.2	9.5	15.2	3.5	7.8	0.9	5.6	5.8
女性	19.4	13.7	6.2	17.3	21.2	45.3	51.0	21.5	10.6	16.8	3.1	8.0	0.8	4.4	5.9
男性	29.2	17.1	8.4	20.1	16.1	41.1	42.3	23.1	8.2	13.3	4.2	7.5	0.9	7.2	5.4
豊橋市 (H13.8)	26.5	17.5	7.4	19.4	20.1	39.2	49.7	22.4	11.5	13.3	3.4	6.0	1.1	5.8	5.1
女性	24.9	16.2	5.7	18.3	23.9	39.6	56.4	22.9	11.0	14.8	2.8	4.5	0.8	5.3	3.9
男性	28.7	19.4	9.6	21.2	15.5	39.3	42.4	22.0	12.7	11.6	4.4	7.8	1.6	6.7	5.2

### Ⅲ 自由意見

寄せられた多くの意見の中から、本調査に直接関係ないものや要望、重複意見等を除き、一部を紹介する。

#### 1 LGBTなどの性的少数者の認識について（68件/234件）

##### （1）20代男性

- ・ LGBTの人達を差別するつもりはないが、なるべく関わりたくない、という人の気持ちも尊重してほしい。LGBTの人の主張を一方向的に押しつけることは止めてほしい。
- ・ やはり普通ではないと感じてしまいます（身近にそういった方がいないため）。
- ・ 同姓婚など、LGBTの権利を認める法整備を進めると共に、「LGBT＝気持ち悪い・危険」という思い込みを減らす試みが必要。
- ・ 近くにいないので、わからない。
- ・ 年配の人ほどLGBTに対する認識が薄い気がします。
- ・ 様々な性を容認したいが、自分自身、受容しきれていない。

##### （2）20代女性

- ・ 家庭での理解が得られないケースが多い。
- ・ あまり詳しく知らない人が多いと考えられる。もっと知る機会を増やすべきであり、マイナスなイメージをプラスに変えたい。
- ・ 昔に比べて今の方が同性愛者や両性愛者への理解は広まっていると思う。だけど、多く人がトランスジェンダー＝同性愛者という認識も持っていると思うので、まだまだLGBTについての認識は完全ではないと考えています。
- ・ 偏見はないつもりでいるが、周囲にいないので分からない。
- ・ 最近、メディア等で取り上げられるようになったため、その存在は認識されるようになったと思う。しかし、そういった方々が自身がLGBTであることを周囲の人になかなか言いにくいと聞いたことがある。そのため、あまり身近なことだとは考えられていないように思う。
- ・ 男らしさ、女らしさでものを考えないこと。身体の性別の変化、手術を歓迎するのではなく（ただし手術した方を責めるものでもない）、その人自身の心を尊重すること。見た目でばかにしないこと。子供を産む、結婚する、と言った行為を「人生で最大の幸福」として認識するのをやめること。差別されている少数派が大多数の差別的意見に染まり同じ少数派を差別していたり泥沼化している。

##### （3）30代男性

- ・ 障害者と同様に、社会が温かく見守ってあげれば良いと思う。大人は理解できても子供（小学生等）には難しいと思うので、教員のケアが必要だろう。
- ・ 個人の自由である。

- ・ 認識及び周囲との対応には、少し時間がかかると思う。
- ・ 現状がどうなっているか知る手段がない。
- ・ 自分の回りにそのような方がいないので、言葉は知っているが現状はよく分からない。

#### (4) 30代女性

- ・ 言葉自体知っている人が少ないと思うので、広告やメディアなどで広めていくとよいと思う。
- ・ 人それぞれだと思う。LGBTの人もそうでない人も変わらない。差別されるのはおかしいと思う。
- ・ 偏見などはなかなか無くなる事がないので、学校教育から教えればよい。
- ・ 少数だけど、認知されてきているので、特別という意識はありません。友人にも、女性同士のカップルはそれほど珍しくないで、差別意識もないです。
- ・ あえてカミングアウトする必要はないと思いますが、カミングアウトをした時に、偏見を持たれないような社会が、望ましいと思います。
- ・ 日本ではまだまだ理解が少なく、生活しにくい社会だと思う。
- ・ 子供の頃からいろいろな人に触れ合う機会を作ることによって、受け入れる心ができてくると思うので、そういったことを整えていけば認める心につながると思います。
- ・ 「普通」とちょっと違う、ことに対して排除の気持ちが強くなる人が多いように感じる。教育の場(高校など)で「普通」とは何か、LGBTの人達と何が違うのか考えた方がよいと思う。ただの「個性」だと認識できるようになりたい。
- ・ 高校時代にLGBTの友人がいたが、特に気にする事は無かった。同性愛だろうと異性愛だろうと本人の自由。
- ・ 本人たちが一番とまどい悩んでいるのだと思う。世の中にはいろんな人がいていいと思うので、差別しないで認めてあげられる世の中になればいいと思う。
- ・ 対象者の方達が、堂々と安心して生きていける環境を作ってあげてほしい。
- ・ 昔に比べ、世間での認識は広がっていると思うが、身近に性的少数者がおらず、実感がわかない。子どもには、性の多様性があることを教えていきたいと思う。
- ・ 理解は進んでいて、頭の中では認識しているが、身近にそのような人がいない、もしくはカミングアウトしていないので、実際に会ったらどうしたらよいかわからない。そういう人が多いのではないか。

#### (5) 40代男性

- ・ 自分で選んだのでは無く、生まれつきだとテレビで見ましたが、その点の教育を充実すべきだと考えます。(自分がその立場だったらどう思うなど)
- ・ 多様性という意味で認める。
- ・ 一定の理解は必要。
- ・ 私は47才だが、芸能界のタレント達のおかげなのか子どもの頃のようなLGBTの人達への差別意識はうすらぎ、ほとんど感じない。特に気にならない隣人といった所か。私の子どもたち

の世代はさらに気にしていない様だ。あと少しでこの問題は大きな変化とともに好転する様になると思う。

- ・ 健康保険の適用整備や、戸籍等の法整備を進めるべき。

## (6) 40代女性

- ・ 正しい知識を（中高生あたりから）子供達にも伝えるべきだと思います。大人でも偏見があると思うので、大人にも正しく伝えなければいけないと思う。
- ・ L G B Tの事をちゃんと考えなければいけないと思う。子供（小・中・高・大）すべてでおしえないから差別・偏見が出てくると思う。
- ・ もっと相談窓口があってもいいと思う。気軽に相談できるように。
- ・ 人それぞれで性格が異なるように個性である。人に言えず悩んでいる方が多いと思う。
- ・ 普通の私達にとっては、いくら説明されても特別な事に思えて、差別の目でみてしまう。なかなか難しい事だと思う。
- ・ 最近でこそ、カミングアウトする人が増え、身近にそういう人がいても違和感なく接することができるが、公的な場所における男女を分ける施設などはまだ対応が十分でないように思う。
- ・ 理解は進んでいないと感じます。教育の中に理解を深めるようなプログラムがあっても良いと思う。

## (7) 50代男性

- ・ 歴史的にタブー観の強いことなので、簡単には賛同を得られない。
- ・ 自分としては理解出来ないが、他人に迷惑をかけないのであれば、それぞれに自分に合う相手を探せばいいと思う。
- ・ 否定するつもりはないが、当事者でないと理解できないと思う。
- ・ 自分の職場でも、5年前からあてはまる女性が入社し、当初は対応に困ったが今では普通に受け込み、仕事、生活をしているので、差別はなくなりました。

## (8) 50代女性

- ・ 他人の事なら「その人の好みだから」と思えますが、自分の子供がL G B Tだったら受け入れるのが難しいと思う。世間の目とか気になる。
- ・ 申し訳ないけれど理解できない。
- ・ 昨今の認知度は急激に進んでいる。既に若い世代の間では第3の性ぐらいに認識されているのでは。ただ、制度や待遇としてはまだ一步を踏み出したと言うところだと思う。
- ・ 現代では色々な人達を認める世の中だから、排除するつもりはないが、堂々とひけらかすのは、いかなるものかと思う。どう見ても男なのに女性の服を着て女子トイレに入るとかは認められない。
- ・ 昔よりも壁は低くなっていると思う。隣人がそうでも不思議ではなくなっている。

- ・ それぞれを人間の個性として尊重し、理解するための談話や、情報を届ける機会を作ることが必要だと思う。
- ・ 気にしていないので、堂々と話せば周りも問題なく受け入れると思う。本人が気にしすぎなのでは。
- ・ まわりの者の意識が片寄らない様、正しい情報を知らせて欲しい。間違った情報で偏見を持ってしまうので。

## (9) 60代男性

- ・ 最近マスコミが急に取り上げており、真意がよくわからない。
- ・ 多様性に寛容な社会の構築が大切、それには知ること、次に(頭で)理解すること、そして(心が)拒否反応を示さないようにすることが不可欠。この視点からの施策雇用が必要。
- ・ 認識しているが、実際に関われば違和感を抱く場合があるかもしれない。
- ・ 昔は異常と思っていたが、今は「そういう人もいるのだ」と思えるようになった。

## (10) 60代女性

- ・ とり挙げて表立てることでは無く、その世界が広がらない事を願う。生きやすい様に生きる事は仕方が無い。
- ・ 自分自身は理解できない事ではあるが、差別はしたくない。こういう人もいるという自然な社会でありたい。
- ・ Tについて、今まで気にもしていなかったが、去年親戚の中の1人がその者でした。名前も変え、とても不思議な気持ちがしました。
- ・ LGBTについては報道等でも報じられているので、頭では理解できているつもりではありますが、身近にそういう方がみえると、どうつき合ったらいいのか、わかりません。LGBTもそれもどきの方もみえるように感じます。本当に悩んでいる方もいれば、疑問な方もいるように感じます。

## (11) 70代以上男性

- ・ まだまだ無理解。偏見、差別などが多い中、国内でも7%を超える人が該当すると言われる現状ではあらゆる分野で、受け入れる方策や、人権などの課題に対して対応を急ぐべきだと思う。
- ・ 知りあいや身近に居ないので実感がない。
- ・ 男と女で考えれば違和感がある。人と人であれば否定は出来ない。ただ自分の子や孫がLGBTとなれば戸惑うでしょう。
- ・ 最近「LGBT」について見聞きする様になったが、深く考えた事はない。現在豊橋市に該当する人がどの位いるかも不明。年齢、性別それぞれ悩む人を認め合う社会が望ましい。

## (12) 70 代以上女性

- ・ 様々な人々がいること。自分もその様々な人々の1人であるという認識が当然になることが大切。
- ・ 言葉は知っていて、現実を認めなければと思いますが違和感を抱き、怪訝な気持ちは隠せない。

## 2 男性が家事や育児、介護などに参加することについて（理想） （75 件/324 件）

### (1) 20 代男性

- ・ 平等にというよりも、父親・母親それぞれの視点や長所を反映して、育児・家事の負担を減らすべきだ。
- ・ 家の事は出来る範囲内でやればよい。
- ・ 男性でも気軽に育休がとれるようになってほしいです。
- ・ 有休や連休を使わずに、公休等で給料に影響のない休みを使い、参加する（したい）。
- ・ 家庭によって変わればよい。

### (2) 20 代女性

- ・ 男女がそれぞれ自分のできることを行い、どちらか一方に負担が多くなりすぎないようにする。
- ・ 休みの日は家事をしてもらい、子どもの送り迎えとかしてくれたらよい。
- ・ 男性が家事や育児、介護に抵抗を感じないよう職場等において理解や制度が整っていることが理想である。
- ・ 「女性がするもの」という固定概念がなくなり、育休などとりやすくなると思う。
- ・ 積極的に協力してほしいし、それが当たり前になってほしい。「男はそういうものだから」と言うのをやめる。甘えるな。また、女性などに上記のことを言われても甘えない。「女はそういうもの」「男はそういうもの」と決めつけない。

### (3) 30 代男性

- ・ 仕事をしながら出来るなら良い。
- ・ 参加できる環境が欲しい。
- ・ 男性も参加することによって、いままで女性だけでは出来なかった事も出来ると思う。家事などの大変さを分かち合えることで、負担を減らすことが出来る。
- ・ 当たり前のように育児などに参加できる規制、法律のようなものがほしい。

### (4) 30 代女性

- ・ 男性も女性と同じように、育児や介護の休暇を取得できる。夫婦で力を合わせて育児・介護をして、きずなを深めることができる。

- ・ 子育ては夫婦、地域、社会全体で行うものであり、育児を共にすることはあたりまえ。そのように仕事も行うべきで、職場も配慮すべきだ。お互いが気持ちよく仕事のできる環境であること。
- ・ 育児介護休暇をとった方が昇進するくらいになるとよい。
- ・ 育児休業を取るまでしなくても良いが、1才未満の子がいる男性は残業をへらす等、出来たら良いのと思う。
- ・ 家族の方針の中、お互いが納得していれば良い。
- ・ 平日は基本的にしっかりと仕事をして、土日は育児と家事に積極的に参加してほしい。共働きの場合は急な子供の看護にも出来る限り協力してほしい。
- ・ もともと男の人は女の人に家にいてほしいと思っている。家事は女の人がやれば良いと思っている。
- ・ 男性が自分の事として認識しているかが大事。家事は自分が暮らす上で必要な事。育児は自分の子どもの為に必要な事。介護は自分の親の為に必要な事。
- ・ (女性でもいいけど) 男性が家庭を支えられるだけの、しっかり安定した生涯設計が出来る社会システム。
- ・ 男性(夫)が休みで女性(妻)が仕事の時に食事を作ってくれたり掃除してくれたりすると助かる。
- ・ 女性の負担が減る事や男性自身も家事や育児、介護などを通じ体験する事によって、理解が深まり地域や社会等の制度の見直しにつながる事が理想。
- ・ 女性だけの仕事ではないと思うので、親として育児を、子として介護を、男性も女性も責任を持って、バランスよくできるのが理想だと思う。でも、専業主婦が不満を持たずにすべてをやっている、それはそれでいいと思う。要は、夫婦や家族の問題で、お互いが納得していればよいと思う。
- ・ 洗濯や料理などを男性も学ぶ。学べる環境を増やす。妊娠・出産についても知識を増やして共に子育てすべき。

## (5) 40代男性

- ・ 8時間労働で定年まで安定した収入があり、定年まで心配せず労働できる環境が整っていれば家事や育児に取り組める。
- ・ 仕事に支障が出ない程度で行う。
- ・ 子供は二人で育てるものなので参加は必須です。ノー残業、ノー休日出勤が理想です。
- ・ 男性が家事や育児をする(主夫)であるという事に偏見をもたれず、子供を抱え買い物や保育園の送り迎えができればいい。(昼間、仕事してない、奥さんが働いている)とか。育児では、男性でも気兼ねなく「オムツを替えるスペース」がもっと増えたらいいのに。男性でも入りやすい女性同様の育児スペースがほしい。
- ・ 会社の理解が有れば参加したい。

## (6) 40代女性

- ・ 積極的にやるべき。参加、手伝うではなく、やるのが当たり前になってほしい。お互い協力する。
- ・ お互いにできることを積極的にする。男性も育休を当然の権利として取れるようになってほしい。育休もだが有休もとりにづらい企業はいっぱい。
- ・ 核家族で乳児がいる場合で、祖父母が近くにいない方は参加をした方がよい。(育休が取れば) 介護はデイサービス等を利用しながら、できる範囲で参加した方がよい。
- ・ 定時に帰宅し子供とおふろなど、かかわりをもって欲しい。長期の休みで家族旅行。

## (7) 50代男性

- ・ 仕事上における支障を回避できるなら、積極的に参加するべきである。
- ・ 職場では、男性の育児休業、介護休業制度が整備されているが、取得している人はほとんどいない。
- ・ 家族でお互いに分担しあってこなすことが、大事であると思う。
- ・ 男性であっても役割を持つべきだと思います。
- ・ 個人(家族)の考え方でよい。
- ・ 夫婦の間で協議が出来ている。
- ・ 高齢者が在宅している時間帯に安心して、出勤できる様にヘルパー等の支援がほしい。

## (8) 50代女性

- ・ 育児、介護等、私自身、経験している者の立場として、男性が協力してくれる事は、すごく助かります。家事をしながら、背負った子供はすごく重いし、寝たきりの家族をさげるのも重い。男性が参加する事で、負担は軽減し、家庭内もうまくいくと思います。
- ・ 男性もある程度の協力をしてくれるのが、理想であるが、義務として強要すべきでないと思う。
- ・ 出来る男性がやればいいので全員に有休や育休「とれ」とは言って欲しくないです。
- ・ 女性が苦しい状況であれば、柔軟に臨機応変に参加できるのが良い。
- ・ 男性とか女性ではなく、人間として、家庭として気負わず、全員が参加するという意識を持ち、介護できたらいいなと思う。
- ・ 男性が介護は女性がするものだ、という考えの人が多いので、力仕事が多い介護は男性が協力したほうがよい。
- ・ 介護と育児を同じと考える事はできません。
- ・ 女性も仕事をしていたら、協力するのがあたりまえだと思う。
- ・ 男性の料理教室や、育児教室が充実し会社から積極的に参加できるよう、後押しが必要。独身の男性が特に参加し、花むこ教室的な事が必要、家事ができない男性は結婚もできない。
- ・ 男性が家事や育児・介護に積極的に参加できる職場の理解、協力、制度(休み)ができています。

## (9) 60代男性

- ・ 住まいの近くで働ける事と十分な収入が必要。豊橋に居ても東京並の水準を得られる（通勤で片道1時間以上では参加しにくい）。
- ・ 家事、育児などに参加することが、忌引の制度を利用するのと同じような感覚になること（個人も社会も）。
- ・ 会社での月間勤務時間の短縮、有給休暇、育児休暇の取得が出来るようになれば家族への時間も作れる。
- ・ 会社より協力的な意見が欲しい。有休をもっと積極的に取らせるようにしたら良い。
- ・ 現状の男性中心社会（仕事について）では、とてもむずかしいが行政が中心となり企業の改革をうながすことが必要。
- ・ 男性の職場環境。

## (10) 60代女性

- ・ 男性もすべての事が出来る方が良いと思う。
- ・ 介護は男性の出来る事、女性の出来る事に違いがあるように思えます。その区別がしっかりできていないように思います。役割が出来るといいように思います。
- ・ 家事、育児について1人目以降は、特に参加してほしいですね。介護は同性がいいですね。
- ・ 男性は若いうちから家事に参加した方がよい。退職してからも家事が出来る事は、本人にとっても妻にとっても、とてもよいことだと思う。
- ・ 個々の家庭で家族が協力して生活することが理想だと思う。男性だから何かをする。女性だから何かをするということではなく、お互いに協力し合える家庭がよい。他からあれこれ言われることがない環境に恵まれると理想。
- ・ 労りや、感謝の言葉があれば、女性は頑張れます。時々、休息を頂ければ、男性が平等に参加しなくても良い。

## (11) 70代以上男性

- ・ 企業等の制度の確立があれば、参加しやすくなる。
- ・ 配偶者が必要と思われる時に育児・介護休みが取れば大変良いが。
- ・ 男性が仕事中心の生活をしていれば大変です。それぞれの家庭で夫婦の意識の持ち方次第。
- ・ 老々介護の時代になってしまった今、守れる人は積極的に手を差し延べる心を持つ事だと思います。
- ・ 老後の事を考えると、若い時代から性別なく従事しておくことにより、不慮の事故を乗り切る事が可能になることの、啓蒙活動実施。

## (12) 70 代以上女性

- ・ 仕事で大変だと思いますが、家族の為なので少しでも参加していただきたいです。
- ・ 男性が手伝っていると思わない。自分の仕事と思うこと。
- ・ 昔とちがい、男性も家庭の事に気を使い夫婦で子育てする。
- ・ 男女いずれもが一日 24 時間を公平に使えること。必要なサポートが受けられること。
- ・ 古風なのか、男性が行うのは好まない。

## 3 男性が家事や育児、介護などに参加することについて（現実） （86 件/304 件）

### (1) 20 代男性

- ・ 男は仕事、女は家庭になっている。
- ・ 会社から拒否。できないことによる女性からの暴力（基本男性は子供の頃に経験しないため、新人社員と同じ）。
- ・ 仕事で平日は時間がない。休日は趣味や休息に時間を使う。
- ・ 女性同様の制度がない。
- ・ 会社の勤務スタイルによって、どちらかに負担がかかってしまう。
- ・ 男性で育児や介護で仕事を休む人はいないようです。就職活動中に様々な会社を訪問しましたが、全ての会社でそのような印象をもちました。
- ・ 仕事をしながら（有休、連休を使ったりして）参加するしかない。暇がない。

### (2) 20 代女性

- ・ 女がやるもの。
- ・ まだまだ少数だと感じる。とくに介護。
- ・ 父は何もしない。
- ・ 育休どころか、立ち会い出産の為の早退すら許されない会社もあります。豊橋市内の会社です。モラハラ、パワハラに近いと思うので、直ちに見直すべき。
- ・ 職場等において、理解や制度が十分に整っているとは言いがたいと思う。また、制度があっても理解がされていないと、活用しづらい面もある。
- ・ 育児休暇をとりたい、と言いやすい社会ではない気がする。
- ・ 周りが、「女性がやるもの」という固定概念のような印象をもっていなくても、男性本人がそう思っていたら意味がない。男性側の、意識をかえていく必要があると思う。社会的にも個人的にも。
- ・ 男性の協力がほぼない。

### (3) 30代男性

- ・ 全ての人が午前 8:00～午後 5:00 の仕事ではない。夜中に働く人もいる。そういう人が子供などをあずける場所が無い。
- ・ 仕事を休める環境ではなく、自分がいないと仕事が回らない所が多いと思う。
- ・ 男は疲れ果て、何もしない。金がないので女も働く、家事を男に手伝ってほしいがしないので不満がたまる。
- ・ 男性もしっかりやっている人がいる、という事があまり知られていない。
- ・ 職場において育児、介護などの理由に何かするなんていう環境はない。

### (4) 30代女性

- ・ 法律などでは取得できることになっているが、実際は思うように取得できない。収入が減る。復帰時の地位・役割の心配など。
- ・ 家事が得意でない男性は割合的に多いと思う。手際よく、きちんとできなければ女性が結局やるはめになる。台所や洗濯物を、男性に任せられない女性が多いのではないのでしょうか。
- ・ 女性にばかり負担があり、男性はかやの外。職場に申し訳ない気持ちが大きく、働きづらい。熱などの病気の時に診てくれる人や場所もなく不安だらけ。
- ・ 家事は参加する男性が増えているようです。育児も全く知らないふりをする人は減っている様子ですが、介護に参加しているという男性はほとんど聞きません。
- ・ まだまだ女性中心です。私はもっともっと主人に子供と触れ合ってもらいたいです。そして少しでも一人の時間が欲しいです。ですが、女性だからできることも多いと思いますし、子供との時間も貴重です。男性・女性、それぞれの役割がある、と思います。
- ・ 女性の賃金の安さなど、さまざまな問題により、男性は仕事、女性は家事育児にならざるをえない。
- ・ 家事や育児は女性が主となって行っています。介護については仕事をしている男性は難しいことと感じます。親と離れて暮らしている場合はなおさらです。
- ・ 介護についてはわからない。家事に関しては夫に頼むよりも、自分でやってしまった方が早いし、イライラしなくてすむ。
- ・ もっと自分も参加する意思をもってほしい。2人の子供なのに、おしつけられている気がする。もっと休みをとって、いろんなことをやってほしい。
- ・ 休んでまでやってもらおうと給料が減る。やってもらっても逆にこちらの（女性の）仕事が増える。
- ・ 男性はなかなか仕事を休めない。育休や介護休暇をどんどんとるべき。そして家族の中での父性の大切さを考えることができる人が増えたら、平等の世の中へ近づいていくと思う。
- ・ やる気はあっても、幼い頃から「家事のできない男」として育て上げられており、何もできず空回りする。一から教えるなら自分がやった方が早いとなる。
- ・ 主人が料理以外の家事を全てやってくれ、育児も積極的に協力してくれています。
- ・ 頼んだことはしてくれるが、それ以上はしてくれない。料理はしない、掃除はしない。女性任

せになっている。

- ・ 妻がメインで夫がサブという立場にある。家事や育児のスキルが男性にはない為、会社ぐるみで、スキルアップできるようにすべき。男性が子どもの病気で仕事を早退すると、職場で白い眼で見られることが普通にある。

## (5) 40代男性

- ・ 収入が少ない為。長時間労働を行い、休みも少なく家事、育児をする時に専念できない。
- ・ 会社を休んだり、時間を短くしたりすると給料がへって生活がくるしくなる。
- ・ 遅くまで仕事で、家事育児を手伝う事がなかなか出来ない。
- ・ 日本の会社や組織形態ではなかなか難しいと思う。
- ・ 仕事が忙しいとどうしても家庭まで体、心がまわらない。
- ・ まだまだ、冷たい視線を向けられる事も多い気がする。女性が子を抱えグループで話をする中まではなかなか入る事はできず、どうしても孤立を選択してしまう。また、男性が気軽に子育ての相談と云う場面になかなか進めず、結果1人で抱え込んでしまう。「授乳スペースにオムツ替えのスペース」があるなどの時は、車まで戻りオムツを替える事も。シングルファーザーではないが、男の子育てと云うのもまだまだ大変な現実社会です。
- ・ 会社での収入・ポジションの維持を考えるとむずかしい。
- ・ 仕事における社会環境が男性社会である以上、何ごとも平等に分担するのは難しいと思う。

## (6) 40代女性

- ・ 仕事で手いっぱいになり、家庭内のことは後回しになってしまう。困った時に、考えて行動することになる。
- ・ 女性がやるべきだと思っている男性が多い。
- ・ ほとんど手伝いなく、休みは自分の趣味に使っている主人が嫌です。
- ・ 仕事よりも家事をこなすことについて、否定的な職場がまだまだ多い。男性の育児休暇ですら、制度があっても取得しづらいのが現状だと思う。
- ・ 仕事が休めなかったり、休みがちになると解雇やいづらくなったりする気がする。仕事を短縮するとお給料が減り、負担が増える。
- ・ 40代の夫婦になると、男性の参加は、ほぼ耳にしらない。でも、妻の方も、納得のいく年代である。
- ・ 男性には苦手な方も多いので、やはり女性が中心にやり、サポートはするべきだと思う。後は他に男性がすべき事をやり、もちつもたれつで、全てに平等は無理なのでは。

## (7) 50代男性

- ・ 教育不足で女性が主である。
- ・ 仕事の評点が降下となるのは確実である（特に一般企業）。

- ・ 支援サービスの充実（特に生活困窮者への支援）。
- ・ 職種、立場等民間会社の勤務では、中々時間を取り合う事は難しい。よって公的支援センターなどを頼るしかない。
- ・ 共働きの親に育てられ、それがあたり前の家庭でしたので、今も妻は働き、私も平等に家事を行っています。同じように働いていますので、家事を分担するのも当然だと思います。
- ・ 「男は仕事、女は家庭」という考え方がまだまだ世の中の大半の人が思っていると思う。
- ・ 職場において、休業時、代替職員が手配できるような業種、職位ならばよいが、中小企業において困難と考える。仕事の責任の重さをどう考えるか。企業にその余裕はない。

## （８）50代女性

- ・ 男性は仕事。育児休暇をとれば昇任が遅れる。周囲には笑われる。上司には、イヤミを言われる。最悪の職場環境である。結局、負担はすべて女性にかかる。
- ・ 若い人達の中には、家事や育児に参加するのがあたり前という考えの人が多くいるが、中年以後の人達は、介護（親）は、女性がするのがあたり前と思っている人が多い。
- ・ やはり家計を支えているのが、男性のため、経済的保障がないと、なかなか男性が育休や介護休暇をとることは難しいのではないかと。
- ・ 男性が育児を手伝う事が多くはなってきていると実感するが、メインではなくサポート止まり。介護の場面では、特に自分の両親の介護は、妻や公共に任ず事が多いのでは。定年前では現実的に無理だろう。
- ・ 男として家庭を理由に優遇される事を、恥ずかしいと考えている。
- ・ 嫁の立場で言わせてもらえば、姑に理解されないと困難。
- ・ 仕事という、自分一人ではどうすることも出来ない壁に立ちふさがれ、思うように休みもとれないので、女性に押しつけていると感じます。

## （９）60代男性

- ・ 収入アップ、スキルアップを求めて、また業務期限の制約から、長時間勤務もしかたないと、まだ思っている風潮が強い。家庭が大事と言いながら。
- ・ 男は外（会社）、女は内（家庭）の風潮が強く残っている。テレビでも男が酒を仕事の帰りに飲んでいる場面が多く有る。
- ・ 男性の仕事が長時間にわたり、家庭を顧みない社会であり、どうしても女性に子育て、介護のしわよせがいく。
- ・ 私たちの時代に比べれば、はるかに前進していると思うがまだまだ意識も制度も不十分。
- ・ 男は仕事、女は家庭という社会は変わっていないと思う。会社では残業、休日出勤等があり、家族のための時間が取れないのが現状である。
- ・ 男性は育児も介護も出来ない。仕事との両立は難しい。
- ・ 定時間勤務と、子供の時からの家事への参加。

- ・ 在職中は、職場での勤務が中心となる。退職後は、時間に余裕ができ、十分とはいかないが、家事、介護に参加できる。

## (10) 60代女性

- ・ 育児休暇をとったり、介護で仕事を休んだりしたらまわりから、白い目で見られたり、仕事がたまってしまって無給残業になる。大手企業や公務員以外はむずかしい。
- ・ 給料が減ります。復帰後、会社に居場所がない。
- ・ 介護について参加できる様に勉強してほしい。
- ・ なれた人が家事等をしたほうが、事故も少なく安心だと思う。
- ・ 介護される人が、男性より女性にしてもらう方が気持ちが楽におもえる。
- ・ 最近の若い人を見ていると、男が弱い人間に見えてしまう。女性に優しいのは良いと思うけど、気を使いすぎて弱く見えてしまう。
- ・ 退職して急に家事を教えても、なかなかうまくいかないから、将来の為に男も女も、1人で生活できるようにすべき。
- ・ 女性の仕事だという風潮は根強い。男性の意識改革より、女性自身の意識改革が必要。家族全員が参加すべき。

## (11) 70代以上男性

- ・ 現実はまだまだ。環境（会社等）が理解していても、休みが取れないと思う。環境ができていない男性の社会になっている。
- ・ 会社等重要ポストにいる人は安易に育児・介護休みが取りづらい。
- ・ 40代～50代は仕事最優先で過ごした。家庭のことは全て家内にまかせた。仕事といって大切な日も先輩の言いなりになっていた。子育て、家事は大切であんな上司と付き合いなければよかつたと、今は後悔の毎日を送っている。取り返しがきかない。75歳をすぎても悔しさがこみあげてくる。（もっともっと家事に参加することだ。）
- ・ ほとんどの家庭では主人「男性」が主たる収入源であると思われる。古い考えかもしれないが、女性の方が「家事、育児、介護」に適応しているように考えられる。男性は極力分担、補助出来る様に努める。
- ・ 男女平等に参加する事は良い事だが、我が家では男性が仕事、女性が家事・育児で行ってきた。

## (12) 70代以上女性

- ・ 現実にはむずかしい。
- ・ 仕事は男性、家事は女性に偏りがち。

## 4 女性が仕事、出産、子育て、介護などを両立することについて（理想） （53件/286件）

### （1）20代男性

- ・ 男性であれ、女性であれ、仕事と育児を両立するのは生活面に余裕がない場合を除き、やめたほうが良いと思う。
- ・ 仕事と子育てを両立させるには、環境整備が必要。
- ・ 乳幼児にはできるだけ子育てに専念してほしい。

### （2）20代女性

- ・ 子どもが小学生になる頃までは、育休や時短制度などで、なるべく家にいて、子どもと関わる時間を多く持ちたい。
- ・ 男性とも半分ずつわけ、共有できた方が身体や考えや、気持ちに余裕が生まれると思う。
- ・ 子どもが小学校に行くようになってから、正規の職につけたらいいと思う。
- ・ 職場や地域、子を預ける施設、それぞれのサポートや支援を受けながら両立していくこと。
- ・ 給料が下がったとしても時短勤務の制度を整えば、出産後も同じ職場で働き続けられると思う。

### （3）30代男性

- ・ 男性が出来る範囲で協力し、子育て等に関して言えばやってくれているのが当たり前ではなく、感謝の気持ちを言葉にして伝える。
- ・ 自分でやる必要はない。代替サービスが必要。
- ・ 男性に子育てをしてもらいたいと要望されても仕事があるので、子供を預けられる環境整備が必要。

### （4）30代女性

- ・ 女性も男性と同様に社会（仕事）での役割・立場があり、活動できる。
- ・ 早く帰ったり、遅く出勤したり、理解ある職場。新しい仕事を探す際も、子供がいるか、とか見てくれる親が近くにいるかとか、そういうので決められずに、平等でいてほしい。全ての職場に保育所が併設されていてほしい。
- ・ 子どもが小さいうちの短時間労働の保証、休みのとりやすい職場環境の設定。
- ・ 出産後も負担になりすぎない形で復帰して、子育てが一段落したら出産前と同じように働けるような環境。
- ・ 収入や子育ての支援が安定していれば、出産後仕事を退職または休職し、子育てが落ちついたら、正社員として再就職、または復職して責任のある仕事を行いたい。
- ・ 男性に手伝ってもらいながら正社員で働き、両立したい。
- ・ 子供が小さいうちは自分で育てる。子供が幼稚園、小学校の間はパートで仕事。子供が中学生くらいからフルタイム正社員（子供の為に有休を使える職場環境）で働く。

- ・ 私は、子供が少し大きくなるまで子育てに専念して、子供との時間を大切にしていきたいです。

## (5) 40代男性

- ・ 親が子供を育てることはあたりまえなので、小学校低学年くらいまでは子育てに専業。そのあとの両立支援をしてほしい。
- ・ 小さな時は一瞬、もっと楽しんで子育てを出来る様な環境を作る必要有（再就職の支援）。
- ・ 男女とも寿命がここまで延びている以上、祖父母の役割は大きくなっていると言って良いだろう。家事、出産、子育てに積極的補助をしていく事で、はては地域コミュニティまで活性化する良い循環になっていくと思う。

## (6) 40代女性

- ・ 出産を経験した女性が管理職に就く事。
- ・ 託児所のある会社を増やし、保育所も増やしてもらい仕事ができるの良い。
- ・ 出世が遅れたり、仕事がなくなったりする可能性がある。
- ・ 夫や親族の手伝いがあり、預け先もあり、子育てや介護は全員でやるものと一人で気負わなくても楽しんでやれる。
- ・ 出産、子育て、介護で中断することなく、それまで培ったキャリアを更に重ねたいという気持ちを持つ女性が増えてきた。それぞれスイッチを切り換えて取り組めることがベストだと思う。
- ・ 残業なしで帰宅できること。

## (7) 50代男性

- ・ 職場が女性を仕事面で理解して、平等意識を持つ。
- ・ 子育ての期間は気がねなく帰宅する。
- ・ 職場において、休業時、代替職員が手配できるような業種、職位ならばよいが、中小企業において困難と考える。仕事の責任の重さをどう考えるか。企業にその余裕はない。
- ・ 女性の能力開発により考え方、風習を変えていくことができるのでは。

## (8) 50代女性

- ・ 仕事も思いきり頑張れるような家庭が理想的だと言われるが、私としては家庭や、子育てに重きを置きながら、自分の力を発揮できる働き方（時短労働）を認めてくれる職場で働けること。
  - ・ 育児休暇を取ってまた仕事に復帰する。会社も時短等の制度を取り入れる。
  - ・ 両立するには家族の協力と出産、子育てしやすい地域の環境や、職場やまわりの人たちの理解が必要。
  - ・ 産休、育休の期間がもう少し長く取れば仕事と子育て両立できるかなと思う。
- 仕事も出産・育児も社会に必要不可欠なものと尊重され、ライフスタイルの選択肢がしっかりと認められると良い（家庭も社会の一部）。介護はされる側の意志もあるので、千差万別と心得たい。

## (9) 60代男性

- ・ 働きながら子育てをするために、働く場所と子育てする場所は近づける。働く場所の横に保育所を設ける。
- ・ 公務員や教師のように、出産・育児休暇が取得できて現場復帰できる制度や、休職中の仕事へのブランクを補う研修・訓練制度があれば男女社会参画は広がると思う。
- ・ 出産までは仕事をし、子育てが終わったら（小学校6年生まで）仕事に復帰できる。

## (10) 60代女性

- ・ 第三者の手助けがないと無理。子供連れでも働ける職場があると良い。
- ・ 両立出来る、出来ないは色々な場合があると思います。職場、家族など率直に話し合っ、理想に近づけばいいと思います。
- ・ 仕事しながら介護もきつい。介護施設等、もう少し充実して利用できると良い。
- ・ 女性が両立して生活できるための、家族の理解、協力が得られ、福祉制度等、政策としての支援が確立されていることが必要。

## (11) 70代以上男性

- ・ 少子化対策（労働力確保）、人材の多様化経済効果などを考えると、いろいろな場で環境の整備改善を進めるべきだと思う。
- ・ 両立させるよりも、専念出来た方が良いのではないかな。
- ・ 経済的、人力的、色々の面で福祉の向上など企業の制度などの後押しが必要だと思います。
- ・ 「両立することが絶対的価値と考える」ことに若干の違和感。人によって異なる。
- ・ 望ましい事だが一般家庭では無理と思う。両立出来る職種を選べればよいが、職種への支援が必要ではないかな。

## (12) 70代以上女性

- ・ 出来れば両立することは、とても良いのですが、男性も時と場合によっては、手伝っていただきたいです。
- ・ パートナーと分けあうと共に、子どもの成長に合わせて、仕事量を調整できること。
- ・ 子ども0才から預けて仕事に行くが、親の愛を知らない子が大きくなったら、どうなるだろう。
- ・ 1人で出来ることではないと思うので、理解し協力者がいなければ、両立はむずかしいと思う。

## 5 女性が仕事、出産、子育て、介護などを両立することについて（現実） （61件/274件）

### (1) 20代男性

- ・ 託児所にも費用がかかる。安心して子供を預けられない。

- ・ なかなか理想通りには、なっていないことをよく聞きます。
- ・ どんなに環境が良くても、両立は難しいと思う。
- ・ まず仕事をやめるという考えになる。やめざるをえない（迷惑になってしまうかもと考えてしまうから）。

## （２）20代女性

- ・ 仕事復帰すると、子どもが幼くても預けないといけないので、子どもといる時間が短い。
- ・ 両立が難しく、どちらか一方をあきらめる人もいる。また、厳しい環境の中で、両立しようとする人もいるが、ワークライフバランスが整っているとは言えないと思う。
- ・ 育休としてとれるのはよくても、その負担が誰か一人にいくことがある（職場が、「1年だけだから」と二人分の仕事をやらされ、1年がんばったがまた妊娠して延長という体験をした友人がいる）休んだ人も、負担した人もいい気分でないはず、きちんとカバーできるといいなと思う。
- ・ 早朝出勤、残業があり、出産後でも同じ条件が求められると両立ができず辞めざるを得ない。
- ・ まわりに迷惑がかかる。育児休暇は良いとするけど、子供が熱になるとか、急に休まれると迷惑と思う。

## （３）30代男性

- ・ 不測の事態に、勤め先が対応出来ない場合がある。
- ・ 両立できるような環境、及び経済事情が整っていない。
- ・ できるなら育児に参加したい。でも家計がという人が多いと思う。

## （４）30代女性

- ・ 核家族が多い。サービスを受ける費用の負担が大きい。
- ・ 子どもが小さくてもみんな同じ勤務時間。休みをとれば職場に迷惑がかかる。それは当然の権利であるにもかかわらず理解が少ない。
- ・ どうしても、働きたい時間は、みんな午前中、そして平日に集中しているため、なかなか仕事が見つかりません。両立することは、家族、職場の協力がなく、むりです。
- ・ 配偶者の収入だけでは、将来的に不安なので、産休育休を頂いて子供が0歳のうちから復職するしかない。また、共働きになっても、家事の比率は女性が多く、子供の病気で休みを取るなどが、増えるのも女性で働いている職場に、迷惑をかけてしまう後ろめたさもある。
- ・ 夫の給与だけでは生活できないため、女性も働かざるをえない。しかし、両立する環境が整っていない。
- ・ 男性は手伝ってくれないため、子育て介護を行うので、自動的に仕事を退職せざるをえない。
- ・ 私はパートなので、休みをとりやすく、子供が体調がわるくても休めるので、今ははたらきやすい。

## (5) 40代男性

- ・ 共働きがほとんどで、結局は、皆お金のことが、問題なのかなとも思える。
- ・ 日本は中途採用が、まだまだ厳しい世の中です。子供が手を離れるくらいからの、正社員採用をしてほしい。
- ・ 女性は家事をして当然、という考えが女性（潜在意識のなかで）にも男性にも、あるのできびしい。
- ・ 女性は子育てを理由に、責任のある仕事についていない。

## (6) 40代女性

- ・ 育休の間のブランクを埋める事が難しい。
- ・ ファミサポがあることを知っているが、利用したことはない。女性が我慢するしかない。
- ・ 託児所のある会社が少ない。保育所も少しずつ増やしてほしい。
- ・ 20年前に出産退職しました。当時、会社員で、育児休暇はありましたが、まだ、誰もとっていませんでした。育休を取って働き続けたかったのですが、家族、世間の声に負けて辞めてしまいました。あれから20年もたっているのに、当時と一部のめぐまれた人は働き続けられるが、やはりまだまだ、社会の環境と意識が変わっていないと思います。
- ・ 夫は独身時代と変わらず、妻だけ環境ががらりと変わり、両立をしようとする子供にしわ寄せがいつてしまう。
- ・ 実際に出産してみると、育児は思い通りに進まず、時間が読めない。仕事との両立は、周囲の理解と協力がないと本当に難しいと思う。
- ・ 女性の方が向いているので、こういう方面で女性が活躍していくべきだと思う。しかし、女性が家庭の中では中心に仕事はあいた時間で、ということになってしまうが、それも立派なことだと思う。

## (7) 50代男性

- ・ かなり広範囲な、社会的支援体制がなければ無理である。核家族化から、二世帯同居の有益性を見直しも大切です。近代以前の共家族制にも、利点が多くありました。
- ・ 勤務時間に帰宅しようとする、職場で心ない言葉を言われる。
- ・ 中小企業や地方、または職種（営業）での両立は無理と思う。女性が積極的でないと、出世したくないと思っている。
- ・ 男女どちらでもよいが、子育て、介護の自治体の支援、助成等が全く不足している。
- ・ 女性の地位を向上させたい。

## (8) 50代女性

- ・ 時間に追われている。家族内で体調等不良者がでると、身動きがとれなくなる。自分の両親に

も助けを求められない（働いていたり、言いにくい）。

- ・ 本人の希望よりも、家族や職場の事情が押し付けられる。経済的に男性優位の現状では、女性が家庭の全てを、担わざるを得ない。
- ・ 保育園、幼稚園の預けられる時間が限られている為、フルタイム（正社員）は、なかなか厳しい。また、子供の体調不良の時は、仕事を休まざるをえない。
- ・ 今現在、義母は元気ですが、寝たきりや、認知症などになった時、今の我が家の経済では私が離職するのは大変むずかしいので、リーズナブルな金額でサービスを利用できるようにしてほしい。
- ・ 子育ては終わりががあるので、計画が立てやすいが、介護は終わりがいつなのかわからないので、むずかしいと思う。
- ・ やはり保育所の問題、施設の問題もあり、どうしても預けられない人は、仕事を辞めざるをえないのが現実かと思います。

## （9）60代男性

- ・ それぞれの場面で、厳しく、苦しく、不本意な判断をせまられていることが多いのではないか。
- ・ 女は仕事を取るか、家庭を取るか結婚を機に、選択を迫られている。会社に出産休暇があっても0歳保育所が極めて少なく、退職せざるを得ない。子育てが一段落して、仕事を探してもやりがいのある仕事がない。
- ・ 育休の期間が2～3年では厳しいと思う。祖父母と同居ならば可能だが、子どもの面倒をみる人がいない。
- ・ 公務員は両立させているケースも有ると思うが、一般企業ではあまり見た事が無い。
- ・ 3世代以上の家族化が良い。

## （10）60代女性

- ・ 一時的に預かってもらう場所があっても、時間が短く、とても一人では見きれない。手伝ってくれる人がいればいいが、それはむずかしい。仕事を短縮してもらったり休んだりして結局、会社や同僚たちに気がねしてやめる事になる人が多い。
- ・ 会社の理解がない。夫以外に手伝ってくれる人がいない。
- ・ 仕事を短時間にして子育てを優先して、介護は専門の施設にお願いしているのだと思う。
- ・ 戦前生まれの父母たちは、出来てあたり前のように考えている。
- ・ 夫の協力がなければなかなか難しい。どこかにしわよせがくる。出産、子育ては仕事以上に大切。赤ん坊から預けて働く事にはハテナがつく。
- ・ 子育てをしている間は、女性の仕事はむずかしいと思います。早退、休み、その他の事で仕事に集中できない。会社もそれでは、仕事はまかせられない。
- ・ 専業主婦できましたので、ピン트가ずれているかもしれませんが、時間のある人が手伝いをすれば良いと思う。娘や嫁が大変ならば祖母の私は手伝います。10年以上前介護保険の始まった年、母の介護をしました。最後まで家でみる事ができ満足しています。認定5でした、ベッド

に車イス、毎日のお風呂屋さんに来てもらって助かりました。

- ・ “家事を女性がやってあたり前”といった考え方が、特に男性の中に強くあり、保育士、介護士等、支援する職の軽視される部分が現在強いので、制度的にも改善されていくべき。現状は家庭も職場も厳しい。

## (11) 70代以上男性

- ・ 男性の協力・職場の支援・子どもを預けられる環境などに問題あり、進展が遅い。
- ・ 子供がいるから働けない。保育施設が少ない。介護があるから施設に入れる。子育て、介護から逃げるためと思うことがある。
- ・ 女性に負担がかかってしまっていた。
- ・ 国のありかたが、言葉だけでそうっていない。若い人達の意見を、積極的に取り入れると共に、教育をしていかなければ、将来的にも無理。
- ・ どちらかを切り捨てなければ両立出来ない状況にあり、中途半端になっていると思う。

## (12) 70代以上女性

- ・ 女性に偏りがち。仕事の場の理解が少なく、男性との差が大きすぎる。
- ・ 家庭での仕事を助けてくれる者が必要と思うのが現実、家庭内での男女の完全な平等は実現していない。

## 6 その他男女共同参画に関して (55件/191件)

### (1) 20代男性

- ・ 男女を画一化するのではなく、各性別の良さを尊重し、存分に発揮し、お互いを助け合える方向に持ち込むべき。
- ・ 男性は働くことが人生(あたりまえ)と思いがちだが、女性は子育て(出産)の為にやめる(ゴール)という風潮がある。せっかく大卒で職に就いてもすぐにやめないといけないという環境になってしまう。(出産を機に)そして、おちついて、パートで働くというパターンが多い。出産するまで頑張っていたのに出産してからゴール(子育て専念)はもったいないと思う。

### (2) 20代女性

- ・ まず、情勢で8時間以上(実質)労働を止めるべき。それから男と女、それぞれが仕事と家事など1つ1つの事でどちらがしたいのか、するのか決めていけばいい。今の社会は遊びとか、余裕とかそういったモノがなくて、だから沢山(の人が)苦しんでいる。子どもの事を思うと、共働きは反対、でもちゃんと子育てしてくれる(祖父母など)人が居るのなら、別にしてもかまわない。
- ・ 差別をうけていると感じたことはない。男女ともに活躍できる所で、認めてもらえたらいい。
- ・ 男性が優位にならざるを得ない職種(パワフルワークなど)は、あっておかしくないと思う。

しかし、女性にも挑戦する機会はあるといいと思う。もちろん逆もさりで、合う・合わないとは関係なく、男女平等にいろんな職にチャレンジしたい人には機会はあるといいのではないかと思う。

- ・ 男と女は別の生き物なので、単純に男と同じステージに女を上げたただだと、多分つらい。
- ・ 男女共同参画は理想の考え方だが、現実的には男女で向き、不向きがどうしてもあると思う。「男女を平等に」するあまりに、どちらもが、ないがしろにされてはいけない（責任ある役職につきたくない男性や、つきたくないのに「平等に」のためにつかされる女性、などがいてはいけない）と思う。

### （3）30代男性

- ・ 女性の育休、産休時の、復帰後、短時間勤務の時の代替職員の確保。細かい時間でも働き続けられる環境作り。自宅で仕事ができる規制緩和。男性側にも女性と同等の権利を与えることで不満もでないと思う。女性の方が男性よりも適している職場職種があると思う。それを見つけ出し、やる気のある女性へ紹介してあげるマッチング。
- ・ 男女双方に偏り無く、意見を聞き、その上で協議し、双方が理解を得られる案を出す、事が出来る環境が理想だと思う。
- ・ 女性本人が男と同等の義務を負うことを、望んでいないのではないか。優遇されて当たり前と、思っているのでは。

### （4）30代女性

- ・ “男女共同参画”という言葉で、意味や内容を具体的にイメージしづらいので、一般向けアピールには、もう少しわかり易く、くずした言葉にしてはどうでしょうか。
- ・ 「男女」という言葉が、すでに時代遅れのような気がしてなりません。男女をこえた、1人の人として平等であるという、考えにシフトしていくことは大切だと思います。人と人は違う人間、考えや育ちも違う人とコミュニケーションをとり、温かい町を作っていくことは豊橋市の未来、日本の未来にとって重要なことであると思います。
- ・ 正直平等は難しいと思いますし、男性と女性の役割は違うと思います。ただ、女性の意見が言いつらい、通りづらい世の中だと思います。組織の上層部の方の意識改革、また女性へ意見を求める体制があれば、と期待します。
- ・ 公務員は、男女平等なところが多いと思いますが、会社（とくに中小企業）では、男性優位なところが多いと思います。法律は整ってきていると思いますが、それが実行される社会になってほしいです。設備や人々の認識がもっと高まらないといけないかと思います。外国に比べると低いと思います。
- ・ 男性がやるのは参加、女性は両立。男性も両立するべきだと思う。
- ・ 「女性だから登用しよう」ではなく、男女共に能力のある人を登用すべき。性別や年齢、学歴と能力の有無は全く別。
- ・ イクボスの理念は良いと思う。会社が変わらないと、子育て世帯を見守る環境が変わらない、と常々思っている。男は会社、女は家という考えの人達が管理職なので、今の理想のワーク

ライフバランスを理解してもらいにくい。

- ・ 年配の方の理解が必要。年配の方の考え方を考える。年配の方はやっぱり男性有利な考え方だと思う。

## (5) 40代男性

- ・ 法律や条例では、人の心までは変わりません。子どもの時からの教育が大切だと考えます。
- ・ 女性の管理職等がただ増えれば良いのではないと思う。男性も女性も能力を持った人が、上に立つようなシステムになればよいのだと思う。
- ・ もっと世の中の男性の意識が変わっていければよいと思う。
- ・ 男性女性でくくりつけるよりも、個人の資質能力でわけへだてなく社会にかかわれるとよい。
- ・ 子供の教育から長い年月をかけて社会を変えて行くしかないだろう。マイナスからプラスに変化させるには、女子の教育を徹底的に強化、改善して行くしかないだろう。つい近年にギャングロギアルやコギアルを輩出する教育レベルでは到底無理な気がする。あの状況を甘んじて受け入れざるをえない社会では課題が山積だろうな。現に民度は落ちている気がするし。
- ・ 女性だけを積極的に採用等することは、逆差別であると思います。常に平等という視点で物事を進めるべきだと思います。

## (6) 40代女性

- ・ 年配者には、女性は家庭にという考えが強いと思います。仕事と家庭の両立は、自分が行っていた時も、仕事を私は優先していると、夫は、家庭が一番だと言われていたけれど、ずっと仕事を私は優先し続けました。今も理解してもらえていないと思いますが、続けるしかないです。
- ・ 男、女が対等な立場で活動する、機会が増える事は良いと思います。
- ・ 責任を持って仕事をしようとするほど、家庭を犠牲にしてしまう。家族の助けが必要。
- ・ 昔と違い、今は学校の名簿も男女混同であり、男だから、女だから、とは言わないかもしれない。でも、現実、体格も体力もちがう。母性もちがう。何もかも平等というのは、ムリな話だと思う。でも、もう少し、女性が表に立てる機会が増えるといいかな、とは思う。女性にしからぬ気持ち、代弁してほしい。
- ・ 男だから、女だから、ではなく、自分の出来ることから、参加するというのを、子供の頃から教えていくことが大切だと思う。(もちろん、男、女により得意不得意があるのだから、その分は考慮すべき)。
- ・ 男女共同参画なら男性も家事をしないと無理では。仕事して子育てして介護も女性では、やっぱりおかしいと思います。女性が社会に出ましようというなら、だれが家事をするのか。男性も家の仕事(家事)をすべきです。
- ・ 男性には男性の、女性には女性のそれぞれの得意な分野があるので、全てに平等にするのは不可能だと思う。お互い尊重しあい、補いあい、職場でも家庭でも社会でも、全てにおいて平等という考え方より、もっと広い意味での考え方にした方がいいのではないかと思います。
- ・ 男性向け、女性向けの仕事があるので、お互いの負担のバランスが丁度よくなるようにしたい。

環境の整備や、周知活動、具体的にどうして行くかの方向づけも含め課題はいっぱいあると思う。フルタイムで働く母親は、時間に追われて、意見を述べる時間もおしい程、ギリギリの所で時間をやりくりしています。頑張る人が報われるといいと思います。

## (7) 50代男性

- ・ 女性が仕事を持たないといけない。社会進出しなければいけない。という考え方がおかしいと思う。家事も立派な仕事だと思う。本人の意思を尊重すべき。

## (8) 50代女性

- ・ 女性が男性のように働ける社会もあり、とは思いますが性的に男性に向く仕事、女性に向く仕事があると思う。女性が社会に進出し過ぎることで、子供は他人任せになってしまい、日本の将来が不安であることは否めない。
- ・ 確かに大切なことだが、言葉だけが一人歩きしていると感じることがある。男女平等や、男女共同参画は大切だが、そもそも男女の根本的な役割というか、性差はうめられない（例えば男の人は出産できない）、そのことをふまえた上での男女平等、男女共同参画を考えていかないといけないのではないか。
- ・ 昔と違って現代は随分男女平等になっていると実感する。理想を高く掲げすぎてもきりがなが、何もしなければ進歩はないので、発信し続ける事は大切だと思う。しかしその反面、女性が輝く社会、活躍できる社会と声高に言うが、結婚しないといけない、出産しないといけない、仕事も家事も育児も介護もすべて女性に押しつけてもできる人とできない人がいる。女性、皆が輝けるのではないのだという事。
- ・ 女の人がひとり親で生活していくには、わりといろいろな支援があつたりしますが、男の人がひとり親で生活していくには、お金の面では女性よりいいかもしれませんが、悩みはたくさんあると思うので、豊橋の相談窓口の充実に期待します。
- ・ 肉体は元々違いがあるので、特性を活かせればいいと思う。無理しても良くはならないと思う。同じ事を一緒にするのではなく、私の出来る事は私がやり私の出来ない事を他者がやる。互いの能力を認める事で良い関係になると思う。
- ・ 意識を高めるPRをもっとして欲しい。

## (9) 60代男性

- ・ 意識改革がはじめになければ、けっきょく環境がおいつかない。意識の高い人を育てていく。その教育と環境造りが市政の根本となるでしょう。
- ・ 男女関係なく、それぞれの特技をいかせるような社会に。
- ・ 自分の子どものためには、どのような形がいいのか考える必要がある。子どもが犠牲になってはいけない。
- ・ 女性が育児、家事があるという理由で同一の職場内においても、仕事の楽な方を選び、他の人に負担がかかることが見られた。

## (10) 60代女性

- ・ 私自身は専業主婦で、今まで過ごして来ましたが、女性も自覚を持って、働ける社会になって欲しいと思います。
- ・ 理想であるが難しい。職場でも家庭でもやはり協力してくれる人がいる事。皆がその意識を持つ事が大事だと思う。
- ・ まだまだ、生活に馴じんでいない。小・中学校での教育で広め、将来の若者に期待したい。
- ・ もっと市民に分かりやすく、中身が見えない物には向かない。

## (11) 70代以上男性

- ・ ジェンダー・ギャップ指数（注）は先進国で最低のレベルにあり、広い分野で改善の必要があると思われる。女性の活躍などに関する各種制度の周知徹底、運用の工夫はじめ、多くの場において意識的に、根気よく話し合いなどにより、男女と社会に協力を促す必要がある。
- ・ 町内会の事業など参画しやすいと思うが、参加する癖をつくることも大切。
- ・ 男性は終身雇用、そして年功序列が職能方へと変化しているが、外で働く事が主であり、女性は家庭を守る事が多かった。今後は女性も全ての面で社会進出が多くなると思われ、活躍される事により意識も変わって来る。
- ・ 男性は仕事、女性は家庭の考え方が強い年代です。時代に合った施策をお願いします。
- ・ 女性の研修は勿論だが、男性への役割も大きいので、男性への研修も必要と思う。

## (12) 70代以上女性

- ・ 男女それぞれの特性を活かした活動を、自由に参加出来たら、素晴らしい結果が望めるものだと思います。
- ・ 共同参画できるよう、制度の充実と男性で時間外労働があたり前の考え方を、改善することだと思います。
- ・ 反対。男は仕事。女は家庭を守る。男が働けるよう栄養を考える。最近では子供にしても夫にしてもパンと牛乳くらいと聞く。1日にどれだけ食べたらいいか、今の人は知らない。

(注) ジェンダー・ギャップ指数とは、各国における男女格差を測る指数のこと。経済・教育・政治・保健の4つの分野のデータから作成され、2016年の日本の順位は144カ国中111位でした。

だんじょうどうさんかく  
男女共同参画に関する市民意識調査

アンケートご協力をお願い

日頃から、豊橋市政に深くご理解とご協力をいただき、お礼を申し上げます。  
豊橋市では、誰もが個性や能力を自由に発揮でき、いきいきと活躍できる「男女共同参画社会」の実現をめざして、「豊橋市男女共同参画行動計画」を策定し、さまざまな取り組みを行っています。

このたび、社会情勢の変化に対応した効果的な事業を行えるよう、市民の皆様のお考えや実情を調べるためのアンケート調査を実施いたします。調査の実施にあたり、市内在住で20歳以上の方、3,000人を無作為に選ばせていただきました。

調査結果は3月までに取りまとめ、市ホームページや市役所内じょうほうひろばなどで公表する予定です。

お忙しいところ恐入りますが、調査の主旨をご理解いただくとともに、ご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、アンケートは無記名方式で、統計的に処理しますので、回答して下さった方にご迷惑をおかけすることはありません。

平成28年8月

豊橋市長 佐藤 光一

男女共同参画社会とは・・・

「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」と定義されています。

(男女共同参画社会基本法第2条より)

■ご記入にあたってのお願い

- この調査票は封筒の**あて名の方**に本人が記入してください。
- 質問への回答は、指示にそって番号に○をつけてお返しいただくものがほとんどですが、内容によっては、数字を記入していただくこともあります。  
回答で「その他」を選ばれた場合は、その内容を( )に記入してください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、指示にそってお答えください。
- 記入後の調査票は無記名のため、**封筒の返信用封筒(切手不要)**に入れて、**8月31日(水)まで**に返送してください。

※調査についてのお問い合わせは、以下の担当へお願いします。

担当：豊橋市役所文化市民部市民意識推進課

電話：0532-51-2188

FAX：0532-56-5128

男女の平等感について

(全員にお聞きします)

問1. 次の各場面および分野において、男女の地位は平等になつてきていると思いませんか。  
A～Fの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

項目	男性の力が 非常に優遇 されている		どちらかど いはいは男性 の力が優遇 されている		平等である の力が優遇 されている		どちらかど いはいは女性 の力が優遇 されている		女性の力が 非常に優遇 されている		わからぬ	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A 家庭	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
B 職場	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
C 学校	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
D 地域活動の場	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
E 法律や制度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
F しきたりや習慣	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

(全員にお聞きします)

問2. 社会全体でみた場合は、男女の地位は平等になつてきていると思いませんか。  
次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからぬ

男女の意思決定について

(全員にお聞きします)

問3. 次の各場面における男女の意見の反映のされ方について、どのように思いませんか。  
A～Eの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

項目	もっと男性の意見が反 映されるべき		男女の意見が平等に反 映されるべき		もっと女性の意見が反 映されるべき		わからぬ	
	1	2	3	4	5	6	7	8
A 家庭	1	2	3	4	5	6	7	8
B 職場	1	2	3	4	5	6	7	8
C 地域活動の場	1	2	3	4	5	6	7	8
D 市民の場	1	2	3	4	5	6	7	8
E 国政の場	1	2	3	4	5	6	7	8

《全員にお聞きします》

問4. 豊橋市では、現在、政策や方針決定の場への女性の参画状況が男性よりも低い状況にあります。その理由について次の中からあらはまると思うものを**すべて**選んで○をつけてください。

- |                                |  |
|--------------------------------|--|
| 1. 家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性別意識 |  |
| 2. 男性中心の組織運営                   |  |
| 3. 女性の能力開発の機会が不十分              |  |
| 4. 女性の活動を支援する体制の不足             |  |
| 5. 女性が積極的ではない                  |  |
| 6. 家族の支援・協力が無い                 |  |
| 7. その他（具体的に：_____）             |  |
| 8. わからない                       |  |

参考：豊橋市における女性の参画状況

項目	数値	年度
市の審議会等に占める女性委員の割合	29.7%	H26年度
市議員の常任監督者に占める割合	10.1%	H26年度
学校における女性教員の管理部門（校長・教頭）への登用率	22.3%	H26年度
自治会長に占める女性の割合	2.3%	H26年度
NPO法人における女性代表者数	34.5%	H26年度

### 家庭・仕事・地域活動のバランスについて

《全員にお聞きします》

問5. 現在、地域のどのような活動に参加していますか。

次の中からあらはまると思うものを**すべて**選んで○をつけてください。

- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| 1. 住民の困りごとを解決し、課題を解決する活動（自治会など） |  |
| 2. 子どもの支援にかかわる活動（子ども会など）        |  |
| 3. 高齢者の支援にかかわる活動（老人クラブなど）       |  |
| 4. 女性の支援にかかわる活動（女性団体など）         |  |
| 5. 環境美化活動                       |  |
| 6. 防災活動                         |  |
| 7. その他（具体的に：_____）              |  |
| 8. 参加していない                      |  |

《全員にお聞きします》

問6. 次のA～Gの項目について、1日平均でどのくらいの時間をあてていますか。

平日と休日、それぞれについて数字を記入してください。

（まったくしない場合は「0」を30分する場合は「0.5」のように記入してください。）

項目	平日	休日
A 仕事（収入の得られる労働）	時間	時間
B 家事（掃除・洗濯・食事など）	時間	時間
C ボランティア・NPO活動	時間	時間
D 地域活動（障5であげられている活動など）	時間	時間
E 子育て（乳幼児から学生まで）	時間	時間
F 介護・看護	時間	時間
G 趣味・レジャーなどの余暇活動	時間	時間

《全員にお聞きします》

問7. 生活の中の「家庭」「仕事」「地域活動」の優先度について、**希望に最も近いもの**はどれですか。次の中からあらはまるものを**1つだけ**選んで○をつけてください。

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 「家庭」を優先したい                |
| 2. 「仕事」を優先したい                |
| 3. 「地域活動」を優先したい              |
| 4. 「家庭」と「仕事」を優先したい           |
| 5. 「家庭」と「地域活動」を優先したい         |
| 6. 「仕事」と「地域活動」を優先したい         |
| 7. 「家庭」と「仕事」と「地域活動」すべてを優先したい |
| 8. わからない                     |

《全員にお聞きします》

問8、生活の中の「家庭」「仕事」「地域活動」の優先度について、現在の状況に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 「家庭」を優先している
2. 「仕事」を優先している
3. 「地域活動」を優先している
4. 「家庭」と「仕事」を優先している
5. 「家庭」と「地域活動」を優先している
6. 「仕事」と「地域活動」を優先している
7. 「家庭」と「仕事」と「地域活動」すべてを優先している
8. わからない

#### 男女の働き方について

《全員にお聞きします》

問9、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 賛成する
2. どちらかといえば賛成する
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば反対する
5. 反対する

《問9で「1.賛成する」、「2.どちらかといえば賛成する」と回答した方にお聞きします》

問9-1、そう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから
2. 家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから
3. 子どもの頃からそうした教育をされているから
4. 女性は仕事を休んでも不利な条件に置かれるから
5. 男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから
6. 社会全体にそうした風潮があるから
7. その他（具体的に： )

《全員にお聞きします》

問10、男性が育児や介護で休みをとることに、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 結構的にとったほうがよい
2. どちらかという、とったほうがよい
3. どちらかという、とる必要はない
4. とる必要はない
5. わからない

《問10で「1.結構的にとったほうがよい」、「2.どちらかという、とったほうがよい」と回答した方にお聞きします。》

問10-1、そう思われる理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。

1. 子どもに良い影響を与えるから
2. 女性が働きやすい環境につながるから
3. 男性自身も充足感が得られるから
4. 男女共同参画意識が高まるから
5. 男性の働き方を考えるきっかけとなるから
6. その他（具体的に： )
7. わからない

《問10で「3.どちらかという、とる必要はない」、「4.とる必要はない」と回答した方にお聞きします。》

問10-2、そう思われる理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。

1. 職場の理解が得られないから
2. 昇進や昇給に影響する恐れがあるから
3. 取替後の職場環境への不安があるから
4. 仕事の量や責任が大きすぎるから
5. 休業補償が十分ではなく、家計に影響するから
6. 女性のほうが育児・介護に向いているから
7. 男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから
8. その他（具体的に： )
9. わからない

《全員にお聞きします》

問 11. 女性が仕事をすることについて、どのように思いますか、

次の中からあてはまるものを**1つだけ**選んで○をつけてください。

1. 産休・育休などを取得しながらフルタイムで仕事を続けるのがよい
2. 子育てを機に進出し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい
3. 子育てを機に進出し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい
4. 子どもが産まれるまでは仕事を続けるのがよい
5. 結婚するまでは仕事を続けるのがよい
6. 女性は仕事をしない方がよい
7. その他（具体的に： )
8. わからない

《全員にお聞きします》

問 12. 女性が働き続けるために、家庭、仕事、地域などで必要と思うことについて、

次の中から**2つ**選んで○をつけてください。

1. 保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
2. 介護サービスの充実
3. 家事・育児などの支援サービス
4. 男性の家事などへの参加
5. 女性が働き続けることへの理解や意識改革
6. 長時間労働に対する職場環境の改善
7. 育児や介護を両立できる職場支援
8. その他（具体的に： )
9. わからない

《女性にお聞きします》

問 13. 退職した女性が、再就職を考えたとき何を基準にすると思いますか、

次の中からあてはまるものを**1つだけ**選んで○をつけてください。

1. これまでの知識や経験を生かして、正社員として働きたい
2. 仕事と家事・育児・介護が両立しやすい環境で正社員として働きたい
3. これまでの知識や経験を生かして、パート・アルバイトとして働きたい
4. 働く時間や場所を考え、パート・アルバイトとして働きたい
5. その他（具体的に： )
6. わからない

《全員にお聞きします》

問 14. 結婚や出産、育児を理由に仕事をやめる女性がいる。その理由について、

次の中からあてはまると思うものを**すべて**選んで○をつけてください。

1. 家事や育児との両立がむずかしいから
2. 家族の協力や理解が得られないから
3. 育児休業や介護休業などの制度が不十分だから
4. 職場が結婚・出産した女性をささう傾向があるから
5. 職場が責任ある仕事を女性に任せないから
6. 男性に比べて賃金が安く、職種も限られているから
7. 保育園や保育施設の数や内容が十分でないから
8. 高齢者などの介護の両立が難しいから
9. 子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから
10. その他（具体的に： )
11. わからない

《全員にお聞きします》

問 15. 生涯を通じて安心して暮らすために必要と思うものを次の中から**1つだけ**選んで○をつけてください。

《全員にお聞きします》

問 15. 生涯を通じて安心して暮らすために必要と思うものを次の中から**1つだけ**選んで○をつけてください。

1. 継続して働くことができる環境が整っていること
2. 自分や配偶者が健康でいること
3. 介護や医療、子育てなどの公的な支援制度が整っていること
4. 地域で安心して暮らせる環境が整っていること
5. あらゆる弱みに対応できる相談窓口が整っていること
6. その他（具体的に： )
7. わからない

《全員にお聞きします》

問 16. さまざまな困難を抱える方が安心して生活するために必要と思うものを次の中から **2**選んで○をつけてください。

1. ひとり親家庭等の親子が安心して生活できる支援が整っていること
2. 外国人が安心して生活できる支援が整っていること
3. 障害者が安心して生活できる支援が整っていること
4. 高齢者が安心して生活できる支援が整っていること
5. 生活上の困難を抱えた方が安心して生活できる支援が整っていること
6. 配属者からの暴力を受けた方への支援が整っていること
7. 性的指向や性同一性障害理由とする方が安心して暮らせる環境が整っていること
8. その他（具体的に： )
9. わからない

#### 子どもへの男女共同参画教育について

《全員にお聞きします》

問 17. 子育ての方針について、どのように考えますか。

次の中からあてはまるものを **1**つだけ選んで○をつけてください。

1. 男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい
2. 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい
3. その他（具体的に： )
4. わからない

《全員にお聞きします》

問 18. 男女平等の人間関係をつくるために学校教育の場で必要と思うものを次の中から **すべて**選んで○をつけてください。

1. 男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
2. 進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する
3. 教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する
4. 管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく
5. 学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす
6. その他（具体的に： )
7. わからない

#### 配偶者等からの暴力について

《全員にお聞きします》

問 19. これまでに、あなたの配偶者や交際相手から、次のような行為を受けた経験がありますか。あてはまると思うものを **すべて**選んで○をつけてください。

1. 命の危険を感じるくらいの暴力を受けた
2. 医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた
3. いやがっているのに性的な行為を強要された
4. 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた
5. 何を言っても無視され続けた
6. 交友関係や電話を細かく監視された
7. 「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしょうなし」などと言われた
8. 大声でおかげで生活できたり、暴言を吐かれたりした
9. 生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた
10. 今までなかった

《問 19 で、1 から9を選んだ方にお聞きします》

問 19-1. これまでに配偶者や交際相手から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。

次の中からあてはまると思うものを **すべて**選んで○をつけてください。

1. 家族に相談した
2. 友人・知人に相談した
3. 行政機関に相談した（愛知県女性相談センター、豊橋市女性相談室、市役所、はいっふ など）
4. 警察に連絡・相談した
5. 弁護士に相談した
6. 医師に相談した
7. 民間のカウンセリングルームに相談した
8. その他（具体的に： )
9. だれにも相談しなかった

《問 19-1 で「9. だれにも相談しなかった」と答えた方のみお聞きします》

問 19-2. だれにも相談しなかった理由として、次の中からあてはまると思うものを すべて選んで○をつけてください。

1. どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから
2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
3. 相談しても解決できなと思ったから
4. 相談した相手の言動により、かえって不快な思いをと思ったから
5. 自分さえ我慢すればよいと思ったから
6. 世間体が悪いから
7. 他人を巻き込みたくなかったから
8. そのことについて思い出しなくなかったから
9. 自分にも悪いところがあると思ったから
10. 相談するほどのことでもないと考えたから
11. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

《全員にお聞きします》

問 20. 男女間における暴力を防止するために必要と思うものを すべて選んで○をつけてください。

1. 家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える
2. 学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う
3. 地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う
4. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
5. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
6. 警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う
7. 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
8. 加害者への罰則を強化する
9. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を規制する
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
11. わからない

《全員にお聞きします》

問 21. 豊橋市に DV 相談窓口（電話相談・面接相談）があることを知っていましたか。

1. はい
2. いいえ

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは・・・

配偶者など密着な関係にある相手から受ける暴力のことで、身体的な暴力だけでなく、暴言を吐く、生活費を渡さないなどの精神的・精神的な暴力も DV に含まれます。

豊橋市 DV 相談窓口とは・・・

豊橋市は、DV の被害者にとって身近で安心して相談できる窓口として、女性相談員による相談窓口を平成 26 年 6 月に開設しました。

電話番号	0532-33-9980	月～土曜日	祝日・第 3 月曜日・年末年始を除く
面接相談（予約制）	前後相談の予約は電話相談の	9:00～15:00	
	実施時間と同時電話に受付	火曜日、木曜日	祝日・年末年始を除く
		9:30～15:30	

豊橋市男女共同参画センター「バルモ」について

《全員にお聞きします》

問 22. 豊橋市男女共同参画センター「バルモ」を利用したことがありますか。

1. はい
  2. いいえ
- 問 22-1 へ
- 問 23 へ

豊橋市男女共同参画センター「バルモ」とは・・・

ライフポートとはし内にある男女共同参画推進のための拠点施設です。さまざまなテーマの講座や女性のための相談事業などを行っています。また、定員 100 名の研修室をはじめ図書室、調理実習室、美術工芸室、フィットネスルームなどを備え、女性だけでなく男性や企業の方にもご利用いただける施設となっています。

《問 22 で「1. はい」と答えた方のみお聞きします》

問 22-1. 今後、男女共同参画センターの事業として、どんなことを充実してほしいと思いますか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

- |                                |  |
|--------------------------------|--|
| 1. 女性のための講座・催し物                |  |
| 2. 男性のための講座・催し物                |  |
| 3. 家族が一緒に参加できる講座・催し物           |  |
| 4. 事業の企画・運営などを市民とともに行う市民参画型の講座 |  |
| 5. 特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座         |  |
| 6. 特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座        |  |
| 7. 情報収集・発信設備、図書の充実             |  |
| 8. その他（具体的に： )                 |  |
| 9. 特にない                        |  |

《全員にお聞きします》

問 23. 男女共同参画センターではさまざまな講座を開催しています。男女共同参画に関係のある項目のうち、参加してみたいと思う講座をすべて選んで○をつけてください。

- |                          |                |            |
|--------------------------|----------------|------------|
| 1. 子育て・子育て               | 2. 料理          | 3. 介護      |
| 4. 生き方・人生設計              | 5. 仕事や就職に役立つ技術 | 6. 婚活・結婚生活 |
| 7. コミュニケーション             | 8. 美容・健康づくり    | 9. DV・人権問題 |
| 10. その他（具体的に： )          |                |            |
| 11. 参加してみたいテーマはない（興味がない） |                |            |

男女共同参画社会について

《全員にお聞きします》

問 24. 次の用語について知っていますか。

A～F のそれぞれの項目について、あてはまるものを 1つだけ選んで○をつけてください。

項目	言葉も内容も知っていた	言葉だけは知っていた	知らなかった
A 男女共同参画社会基本法	1	2	3
B 豊後市型な共同参画推進条例	1	2	3
C 仕事に生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）	1	2	3
D 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）	1	2	3
E デートDV	1	2	3
F LGBT（性的少数者）	1	2	3

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）とは・・・

やりがいのある充実感を感じながら働くとともに、子育て、介護、自分自身の時間なども充実している状態のことです。実現のためには、働き方などを見直していく必要があります。

デートDVとは・・・

特に交際中の相手から受ける暴力のことで、高校生、大学生など若年層の間にも被害が広がっています。メールを頻りに送るなど恋人を監視、束縛する行為もデートDVです。

LGBTとは・・・

性の在り方が典型的な男女間とは異なる人々の総称。「L」を女性同性愛者（レズビアン）、「G」を男性同性愛者（ゲイ）、「B」を両性愛者（バイセクシャル）、「T」を自らの性同一性に違和感を感じる者（トランスジェンダー）として、それぞれの直文字で示した言葉。

《全員にお聞きします》

問 25. 男女共同参画社会の実現のために、行政（国・県・市）はどのようなことにか  
 を入れればよいと思いますか。次の中から**主要なもの**を3つ選んで○をつけてく  
 ださい。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う</li> <li>2. 女性を政策決定の場に積極的に登用する</li> <li>3. 各種団体の女性リーダーを養成する</li> <li>4. 職場における男女の均等を取り戻すについて周知啓発を行う</li> <li>5. 女性の採用拡大や離職拡大を進める</li> <li>6. 男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する</li> <li>7. 保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する</li> <li>8. 学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充<br/>                 実する</li> <li>9. 女性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する</li> <li>10. 悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する</li> <li>11. 各国の女性との交流や情報提供などの国際交流を推進する</li> <li>12. 広報紙やパンフレットなどによる男女の平等と相互の理解や協力についてPRする</li> <li>13. その他（具体的に：<br/>                 ）</li> <li>14. 特になし</li> </ol> |
|---|

《自由意見》

■以下のことについて、ご意見をお書きください  
 LGBTなどの性的少数者  
 の認識について

男性が家事や育児、介護 などに参加することにつ いて	理想	
	現実	
女性が仕事、出産、子育 て、介護などを両立する ことについて	理想	
	現実	
その他男女共同参画に関 して		

**あなた自身のことについて**

※アンケートを統計的に分析するために、平成28年8月1日現在の状況を必ずご回答ください。

A あなたの性別はどちらですか。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

B あなたの年代（年齢）を教えてください。

1. 20代	2. 30代	3. 40代
4. 50代	5. 60代	6. 70代以上

C あなたの職業は、次の中のどれにあたりますか。1つだけ選んで○をつけてください。

自営業・自由業	会社・組織へ勤務	無職・学生
1. 農林漁業 2. 商・工・サービスの自営業主 3. 自由業（作家、芸術家など） 4. 上記「1～3」の家族従業員者	5. 正社員・正職員 6. 派遣・契約社員 7. パートタイム・アルバイト 8. 内職・在宅就業 9. その他（ ）	10. 専業主婦・専業主夫 11. 学生 12. その他（年金生活者、失業者の方など）

D あなたに配偶者はいますか。

1. いる（事実婚や別居中を含む）	2. いない（死別や離婚を含む）
-------------------	------------------

《Dの質問で「1. いる（事実婚や別居中を含む）」と答えられた方のみお聞きします》

D-1 あなたと配偶者の方は、共働きをしていますか。

1. 共働きをしている	2. 共働きをしていない
-------------	--------------

E あなたの世帯の家族構成はどれに該当しますか。1つだけ選んで○をつけてください。

1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ（一世帯家族）
3. 親と子（二世帯家族）	4. 親と子と孫（三世帯家族）
5. その他（具体的に： ）	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

この用紙は「**回封の返信用封筒（切手不要）**」に入れて、**8月31日（水）まで**に返送してください。

# 男女共同参画に関する市民の意識調査報告書

平成29年3月



豊橋市のマスコット  
トヨッキー

発行 豊橋市文化市民部 市民協働推進課

〒440 - 8501

豊橋市今橋町1番地

電話 (0532) 51 - 2188 FAX (0532) 56 - 5128

E-mail: [shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp](mailto:shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp)

企画分析 株式会社 名豊

※この冊子は、再生紙を使用しています。